

特記仕様書

工事名称	三原市新斎場建設工事（外構工事）
工事場所	三原市高坂町許山
工事内容	次のとおり、三原市新斎場の外構工事を行う。 <ul style="list-style-type: none">・囲障工事・構内舗装工事・屋外給排水工事・植栽工事・その他工作物工事・既存改修工事
関係法令等	公共建築工事標準仕様書(平成28年版)、公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)、建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)に基づき施工する。 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法, 同施行令, 同施行規則・消防法, 同施行令・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・石綿障害予防規則・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監督員と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工期	本工事は請負契約締結の後、令和2年9月30日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。なお、建築基準法及び消防法等の法令検査については、建築主体工事と同時に受けること。
別途工事	<ul style="list-style-type: none">・三原市新斎場建設工事(建築主体工事)・三原市新斎場建設工事(電気設備工事)・三原市新斎場建設工事(空調換気設備工事)・三原市新斎場建設工事(給排水衛生設備工事)・三原市新斎場建設工事(火葬炉設備工事)・その他、備品、造成工事、給水引込工事ほか
その他	<ul style="list-style-type: none">・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。・本工事は、近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により理解と協力を得ながら実施すること。・建築主体工事、火葬炉設置工事、電気設備工事、空調換気設備工事、給排水衛生設備工事は別途工事とする。・屋外ブロー室及び浄化槽躯体については、杭工事は別途建築主体工事の範囲とし、根切り、杭頭処理、

躯体、仕上げ工事等の工事は本工事範囲とする。

- ・別途工事間では互いに協力しあい、相互の工期を考慮したうえ、各工事の工程を計画すること。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音、振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・工事用出入口には誘導員を常時配置すること。
- ・工事期間中は付近の交通安全を図ると共に、必要な場合には交通整理誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・コンクリート打込み時の締固めについては、気泡、豆板、不充填部等の欠陥を生じさせないため、コンクリート棒形振動機(バイブレータ)をポンプ1車につき3本以上使用し、また、その他の用具を併用しながら十分な締固めを行い、密実なコンクリートとすること。
- ・工事に支障を及ぼす雨水及び湧水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえ、適切に排水すること。特に濁り水は敷地外へ排水しないようにすること。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・台風等の強風が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。
- ・交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいます。
- ・沸水発生時は、ノッチタンクを準備し上水を放流すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・本工事は別途契約の工事等と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整をおこない、工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・以下の設計図面は、A2版をA3版に縮小している。(縮小率約70.7%)
- ・周辺道路の保全及び清掃については、常に注意を払い定期的に清掃をおこなうこと。
- ・工事車両等により周辺の道路を汚したり損傷させた場合は、清掃及び補修を行なうこと。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、わくその他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については引渡しの日から10年間責任を負うこと。
- ・仮設外部足場は本工事に見込んでおり、別途工事業者は無償で使用できるものとする。
(維持管理上必要な費用は各業者で協議の上分担すること)
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、現場の巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。

三原市新斎場建設工事（外構工事）

1. 設 計 概 要
建物名称: 三原市畜場
建築主: 三原市
工事種目: 新築・増築・改築・改修 ○その他(外構)
用途地域: 都市計画区域外
防火地域: 指定なし

建築概要(別途工事)
各階床面積
階数: 2階
最高の高さ: 14.00m
基礎下地: 図示

電気設備
方式: 受電設備, 発電設備, 電力貯蔵設備, 幹線設備, 通信・情報設備, 誘導支援設備, 自動火災報知設備, 警報設備, 監視制御設備, 上水供給方式, 排水方式, 給湯方式, 排水方式, 消防設備, ガス設備, エネルギー, 熱源方式, 熱源機器, 配管方式, 空調方式, 換気方式, 昇降機設備, 機械駆動車

設備概要
給排水衛生設備
空気調和設備
昇降機設備
機械駆動車

設計条件
外気温湿度: 夏: 34.2℃, 57.1%
積雪量: 0.30 m
凍結深度: cm
最多降水量: 31.9 mm/10min
風向年総頻度: NNE
風圧力: 建築基準法に基づき定められた風速(Vo) = 32 m/s
耐風性能分類: 「官庁施設の基本的性能基準」に準ずる
構造体: I(1.3W, 200年), II(1.15W, 100年), III(1.0W, 50年)
建築非構造部材: I(1.3W, 200年), II(1.15W, 100年), III(1.0W, 50年)
建築設備: I(1.3W, 200年), II(1.15W, 100年), III(1.0W, 50年)

第3種地域
昼間: 60 dB以下
朝・夕: 60 dB以下
夜間: 50 dB以下

施設分類等
建物(棟名)
①本棟
②機械室棟
③フロア室棟
I・II・III
A・B
甲・乙

場所
建物(棟名)
①本棟
②機械室棟
③フロア室棟
上層階, 屋上及び塔屋
2階
1階及び地階

II. 工事発注形態
・本体建築、電気設備、機械設備
・造成工事は別途工事とする。
・屋外施設(機械室棟、フロア室棟、オイルタンク、浄化槽)は別途工事とする。
・本棟、屋外施設の雨水排水は第一会所までは別途工事とする。
・雨水貯留槽の流入用、オーバーフロー用配管は別途工事とする。

III. 工事区分
注: 該当項目は番号に○印の付いたものを適用する。区分は○印か、●印のない場合は※印の付いたものを適用する。

1 共通
項目
1. 工用電力、上下水道、ガス引込み工事(引込み負担金を含む)
2. 工用電力、上下水道、ガス使用料金(基本料金を含む)
3. 本設電力引込み工事
4. 本設上水引込み工事
5. 本設下水引込み工事
6. 本設ガス引込み工事
7. 本設電力引込み負担金
8. 本設上水引込み負担金
9. 本設下水引込み負担金
10. 本設ガス引込み負担金

2 機械基礎
1. 大規模な機器類の基礎の製作及び設置
2. 同上アンカーボルトの箱入れ、埋込み設置
3. 小規模な機器類の基礎や架台の製作及び設置
4. 外架基礎の製作及び設置
5. 設備機器類の取付け用インサート及びりボルトの製作及び設置
6. S造の設備機器類吊り下げ取付け金物の製作及び設置

3 躯体共通
1. 地中梁の連通管、通気管及び人孔の製作、設置及び補強
2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置
3. S、SRC造梁貫通管スリーブの製作、設置及び補強
4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置
5. 同上補強
6. 床や壁の貫通及び半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置
7. 同上補強
8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修
9. 梁貫通予備スリーブの孔塞の製作、設置及び耐火保護
10. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理

4 躯体以外の開口・貫通
1. 工場製作の床パネル、磨き切り壁等の開口、取付け枠の製作、設置及び補強
2. 現場製作の床、磨き切り壁等の開口、取付け枠の製作、設置及び補強
3. 磨き切り壁開口部の空隙充填及び補修
4. 天井付各種機器類の取付け用の開口、取付け枠の製作、設置及び補強(吹出口、吸込口等を含む)
5. 床や壁の直付各種器具類の取付け枠の製作、設置及び補強
6. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び補強
7. ALU版、押し出し成形セメント板、PC版等の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び補強
8. 床や壁の石材間の設備機器取付け用開口の製作

5 ビット・マンホール・水溝等
1. 湧水槽、蓄熱槽等の各種水槽の躯体断熱層、内外の防水及び仕上げ
2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置
3. 屋内の排水溝、配管ピット及び配線ピットの内外の防水及び仕上げ
4. 同上付属蓋類の設置
5. 屋内の電気引込み用マンホール及びタラップの設置
7. 電気設備用ハンドホール及びマンホール蓋の設置
8. 屋内マンホールの躯体、錆防止及び化粧蓋の設置
9. 屋外マンホールの躯体、錆防止の設置
10. 屋外マンホールの化粧蓋の設置
11. 同上化粧蓋の仕上げ
12. 浄化槽設備の躯体、内外防水及び仕上げ
13. 同上用マンホール蓋及びタラップの設置
14. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置
15. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置
16. 同上各種液面電極、液面電極取付け
17. 同上用電気配管配線

6 点検口・ガラリ
1. 設備機器及び配管配線用の床、壁及び天井の点検口の製作及び設置
2. 外壁に取りつく給排水ガラリの製作及び設置(接続用アングル、防鳥ネットを含む)
3. 同上外壁ガラリのウェザーカバー及びチャッパンの製作及び設置
4. 内壁等に取付け吹出口、吸込口のガラリ等の製作及び設置
5. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置
6. 各室建具ガラリの製作及び設置

7 雨水排水工事
1. ルーフドレン類、軒樋及び縦ごいの設置
2. 同上凍結防止ヒーター装置の設置
3. 同上縦ごいの第一階への配管接続
4. 同上第一階の製作及び設置
5. 雨水利用時、貯留槽への流入配管接続
6. 同上貯留槽への流入遮断弁の設置
7. 同上貯留槽からのオーバーフロー管の設置
8. 同上貯留槽以降の雨水利用設備

8 便所・浴室・湯沸室等
1. 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置
2. 同上給排水管及び排水金物の接続
3. 同上フードへのダクト接続
4. 洗面化粧台の製作及び設置
5. 同上給排水管接続
6. 同上陶器洗面器の設置
7. 既設浴槽の設置
8. ユニットバス・ユニットシャワー類の設置
9. 同上給排水管接続
10. 同上ダクト接続
11. 同上二次側電気配管配線
12. 既設化粧鏡の設置
13. 特注化粧鏡の設置
14. 大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置
15. 手すり、ペーパーベットの、ペーパーチェア

9 防火設備(防火戸等)
1. 防火(煙)シャッターの製作、設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置
2. 同上用連動制御器と感知器との製作と設置及び配管、配線工事
3. 防火戸の扉、枠の製作、設置(自動閉鎖装置用切り込み補強共)
4. 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の製作と設置及び配管、配線工事
5. 可動式防煙壁の製作、設置及び自動降下装置設置の製作及び設置
6. 同上用連動制御器、感知器の製作、設置及び配管配線工事
7. 電動式排煙窓の開放装置の製作、設置及び二次側配管配線工事
8. セキュリティー区画等に用いる扉の配管配線用ボックスの製作及び設置
9. 同上用配管工事
10. 同上用配線及び設置の製作及び設置
11. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理
12. 機械排煙口、排煙ダンパーの製作、設置及び手動閉鎖装置の製作及び設置
13. 同上用配管、配線工事(受信機〜機械排煙口)
14. 同上用配管、配線工事(機械排煙口〜手動閉鎖装置)
15. 防煙ダンパーの製作、設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置
16. 同上用連動制御器、感知器の製作、設置及び配管配線工事

10 設備工事等
1. 自家発電設備用オイルタンク及びサービスタック迄の油配管工事
2. サービスタック用防油電線管及び仕上げ
3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事
4. 自家発電運転給排水設備工事
5. ユニットバス・ユニットシャワーの換気扇の設置
6. 一般換気扇の設置
7. 同上用の取付け枠の製作及び設置
8. 機器類付属制御盤とその二次側配管配線工事
9. 自動制御などの現場機への電源接続
10. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事
11. 生産設備用機器、付属制御盤などの取付け及び二次側配管配線工事
12. 電動ブラインド、電動カーテン、電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側配管配線工事
13. ガス漏れ警報設備
14. 制御用の電線槽の設置
15. 制御用のフロートスイッチの設置
16. 光天井などの照明器具用箱付及び下面仕上材料(ルーバー等)の設置

11 昇降機
1. 機械室の床開口設置及び補強
2. 機械室の床配管ピット及び蓋の製作及び設置
3. 巻掛機用のチェッカープレートの製作及び設置
4. 昇降路内ピットの防水、兼水溝及び点検用タラップの製作及び設置
5. 各階出入り口開口の設置及び補強
6. 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置
7. 出入り口三方枠の製作及び設置
8. 三方枠取付け枠と枠間空隙の充填及び補修
9. 軌条、中間ビーム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作及び設置
10. 9のうち中間ビームの製作及び設置
11. 9のうち軌条取付け用下地鉄骨の製作及び設置
12. 機械室天井フックの製作及び設置
13. ホール押し筋、インジケーター、鋼索等の躯体開口の設置及び補強
14. 昇降路、ピット内の保守用コンソートの設置
15. 昇降路外の遠方操作又は警報監視インターホン用配管配線工事
16. 遠方操作盤、警報監視盤及びインターホンの設置及び調整(監視盤DC電源共)
17. 一次側電源供給工事
18. 機械室内非常電源と商用電源切替用閉鎖装置の製作及び設置
19. 同上インターホン本体及び取り付け

12 機械設置設備
1. 機器類設置用フックの製作
2. 機器類設置用フックの設置
3. タンテールビット内の防水と仕上げ
4. タンテールビット内の排水工事
5. 一次側電源供給工事
6. 非常用電源設備工事(バッテリー)
7. 消防設備工事
8. カメラの製作及び設置

13 外構関係
① 外構範囲の整地、舗装、マーキング工事
② 外構範囲の雨水排水設備(軒、配管等)第一階まで
③ 外構範囲の雨水排水設備(軒、配管等)第一階以下以降
④ 外構範囲の汚水、雑排水設備工事(併、配管)
⑤ 外灯設備、弱電設備(11Vその他)の配線工事
⑥ 外灯設備、弱電設備(11Vその他)の基礎工事
⑦ 外灯設備、弱電設備(11Vその他)の埋設配管
⑧ 外構範囲の散水栓設置(埋設管含む)
⑨ 外構範囲のサイン工事(基礎含む)
⑩ 上記サイン工事までの電気設備工事
⑪ 門扉設置工事(基礎含む)
⑫ 先行土木工事部分の仕上げ復旧工事

14 太陽光
1. 太陽電池アレイの製作及び設置
2. 接続箱の製作及び設置
3. 太陽電池アレイ架台の基礎の製作及び設置
4. パワーコンディショナー及び系統連係保護装置の製作及び設置
5. データ計測装置の製作及び設置
6. 表示装置の製作及び設置
7. 日射計・気温計の製作及び設置
8. 電気配線・配管工事(太陽電池アレイ〜接続箱)
9. 電気配線・配管工事(接続箱〜パワーコンディショナー)
10. 電気配線・配管工事(パワーコンディショナー〜データ計測装置、日射計、気温計、表示装置、受電設備等)

15 その他
1. 屋外キュービクル等のネットフェンスの設置
2. 煙突工事(内部ライニング、タラップ、掃除口扉及び水抜き管、煙突接続口の設置を含む)
3. 同上煙突の製作及び設置
4. クレーン及びホイストの製作及び設置
5. 同上クレーンレールの製作及び設置
6. 同上電源盤以降の配管配線工事
7. 消防設備の設置(諸官庁手続き共)
8. 同上設置用ボックス
9. 高調波対策
10. 貯用油タンク
11. 貯用油タンクの躯体
12. 貯用油タンクから建物までの側溝

設計者: 小林 直彦, 難波 壮一, 両口 猛
法適合確認: 外山 博文
設計番号: 158918
図面番号: G-002
三原市新畜場建設工事(外構工事)
建築工事特記仕様書(1)

Ⅳ. 建築工事特記仕様書

① 共通仕様

② 特記事項

③ 適用基準等

④ 設計図書の特記事項

項目 特記事項

1章 一般共通事項

① 建築材料等

② 特別な材料の工法

③ 施工条件

④ 発生材の処理等

5. 着工時・中間時及び完成時の提出書類

⑥ 竣工写真等

⑦ 完成時の提出図書

完成図の種類及び記入内容 (補1,7,1)

区分	種類	記入内容(下記及び監理者の指示する内容)
構造図	・各伏図	杭、基礎、柱、梁、床、必要寸法・符号
	・軸組図	杭、基礎、柱、梁、床、必要寸法・符号
	・断面表	寸法、鉄筋、鉄骨
	・架構造	配筋、必要寸法
	・詳細図	必要寸法・符号、配筋
	・床荷重表	
施工図等	・床荷重伏図	
	・特記仕様書	
	・	
	・	

安全に関する資料 ※1,7,3(a)による(提出部数 ※1部 部) (1,7,3)(補1,7,4)
数量調査書 ※作成する(提出部数 ※1部 部) ・作成しない
作成する範囲及び項目
外装: 開口部:
内装: その他:
屋根:

※ディスクによる竣工データファイル(ディスク: セット) (補1,7,2)
※作成する範囲は完成写真、完成図及び安全に関する資料とする。(対象書類及びデジタル化仕様などについては、「特記設計工事監理要領」による。)

⑧ 工事区分等

⑨ 総合図等

10. 起工式・上棟式等に要する費用

⑪ 契約

⑫ 建設工事保険等

⑬ 施工者による自主的な品質管理

⑭ 現場情報の電子的な情報交換

15. 電気保安技術者

⑯ 技能士

作成図面の種類 (補1,5,1)

種類	作成図・総尺			
	○平面図	・天井伏図	・天井内伏図	・展開図
○総合図	※1/50 ・1/100	※1/50 ・1/50(指定室)	※1/50(指定室)	・
・総合施工図	・1/50 ※1/20	※1/50(指定室)	※1/50(指定室)	・

各工場の相互調整完了後の総合図、総合施工図(詳細寸法等を記述した図面)の監理者による取扱い。
※確認を行う ・承認を行う

※工事請負金額を含む(起工式 式 式) ・含まない

本工事の契約は民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款による。
民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款に規定する工事現場が発生した場合は、すみやかに修繕する。
○三原市建設工事請負契約約款による。

受注者は本工事の全ての物件に対して、建設工事保険等に加入し、それらの証書の写しを契約後すみやかに監理者を経て建築主へ提出する。
建設工事保険会社 ※工事費見積書による。

受注者は当該工事の施工管理にあたり、日常工事に直接係わる現場作業所職員の構成とは別に、施工品質の自主的管理を目的とする自主施工管理者を選任し、の者を含めた自主施工管理体制を組織し、品質管理を徹底すること。当該自主施工管理者は、品質管理上の重要な事項と時期及び監理者の指示する事項について、施工品質の確保のための指導、監督を実施すること。尚、指導、監督を実施した事項は、記録し監理者に報告すること。(補1,7,5)

工事期間中、施工品質の管理と現場の円滑な運用を目的として、工程表・工事写真・議事録・その他、現場情報をインターネットを使用して情報交換が可能とすること。

※適用する ・適用しない (1,3,3)

適用工事種目 (1,5,2)

工事種目	技能職種	工事種目	技能職種
鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	金属工事	・内装仕上げ施工
コンクリート工事	○型枠施工	(鋼製下地工)作業	
鉄骨工事	・とび	左官工事	・左官
ブロック及びALC	・ブロック建築	建具工事	・サッシ施工
EFパネル工事	・ALCパネル施工	○ガラス施工	
防水工事	防水施工	カーテンウォール	・カーテンウォール施工
	・アスファルト防水工事作業	塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
	・合成ゴムシート防水工事作業	内装工事	内装仕上げ施工
	・シーリング防水工事作業		・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業		・ボード仕上げ工事作業
石工事	○石材施工(石張り作業)		・表装(壁装作業)
タイル工事	・タイル張り		・カーペット系床仕上げ工事作業
木工工事	○建築大工	舗装工事	○造園
屋根及び	・建築板金(内外装板金作業)		
とい工事	・かわらぶき		

※各工事種目の技能士資格は1級を原則とする。
※タイル工事施工計画書作成にあたり、左官工事との整合を図ると共に1級技能士による内容確認を行う。

17. 性能試験

⑮ 試験及び検査の立会い

⑰ 設計6.L

⑱ 作品の対外発表

21. 化学物質を発生する建築材料等

⑳ 合法木材の証明書等

23. 技術検査

2章 仮設工事

① 仮囲い

2. 監理者事務所

3. 監理者事務所の備品

④ 工事用水

⑤ 工事用電力

⑥ 障害物の処理

⑦ 工事用看板

⑧ 仮設計図書

性能試験の範囲及び内容は、各工事特記仕様書の性能試験の項目による。
(要する費用は工事請負金額を含む。)
構造関係の試験は、建築工事特記仕様書(10)(11)<構造関係(1)(2)>の各項目による。

試験及び検査の立会いに要する費用(交通費及び宿泊費)で工事負担金額に含まれるもの。
※工事現場外での試験及び検査

※図示 ・設計6.L=現状6.L ()

施工業者又は関係者が、本工事に関する内容を新聞雑誌等に発表する際には、工事期間中及び建物完成後を問わず、事前に発表の企画内容を建築主及び特記設計に通知して、その了承を得ること。また、仕上り原稿について建築主及び特記設計の最終承認を得るものとする。

本工事に使用する建築材料等の選定にあたっては、環境への配慮を行う。(1,4,1)
化学物質の濃度測定は特記による。(1,5,9(a))
仕上げユニットの材料選定にあたっては、環境への配慮を行う。(1,4,1)
仕上げユニットの化学物質濃度の測定は特記による。(1,5,9(a))

本工事に使用する木材は、持続可能な森林から産出された合法木材であることとし証明書等を監理者に提出する。

工事施工中の技術検査 ・実施する (1,6,2(a))
・実施回数()
・実施段階()
・実施しない

2章 仮設工事

① 仮囲い 危険防止及び保安上支障のないものとし、工事現場周囲に体裁よく設ける。
○鋼板製(※ベント仕上)・塗装なし 高さ ※3m ・ m程度)
・有刺鉄線網(高さ m程度)

2. 監理者事務所 ※設ける 規模 ・10㎡・20㎡ ○35㎡・65㎡・100㎡・㎡程度 (2,3,1(a))
・設けない

3. 監理者事務所の備品 (2,3,1(b)(1))
備品 ○机、椅子、書棚、黒板、製図板、時計、寒暖計
○ゴム長靴、雨合羽、防寒服、保護帽、懐中電灯、安全带、安全靴
○電話機、ファクシミリ、コピー機(通信費、複写費、工事連絡便を含む)
○衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除機
○パソコン機器一式(○外付け記憶装置 ○アプリケーションソフト ○印刷装置 2台
・LAN設備 ○インターネット設備 ・を含む)
数量 ○監理者人数と必要に応じた数量とする。

④ 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

⑤ 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

⑥ 障害物の処理 ※現場説明事項によるほか、工地上撤去移設を要する軽微なものも本工事の範囲とする。

⑦ 工事用看板 ※特記設計工事用看板を設ける。仕様は「補仕」とし、製作者は下記による。(補2,5,1)
○監理者の指示による。

⑧ 仮設計図書 建物位置と敷地との相対関係、撤出方法及び敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し監理者に提出する。(建設省官監第13号(平成7年5月25日)「建築工事安全施工技術指針」・建設省経建第1号(平成5年1月12日)「建設工事公衆災害防止対策要綱」を遵守すること。)

3章 土工事

① 埋戻し及び留土

② 建設発生土の処理

3. 山留めの撤去

埋戻し及び留土 種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 建築汚泥から再生した処理土 ③
C種の場合建設発生土受入量() m³発生場所 (3,2,3(b))(表3,2,1)

建設発生土の処理 ※構外に撤出し関係法令等に準い適切に処理する。
(残土処理事業許可通知書の写しを提出すること)
・構内指示の場所に敷均す。
・構内指示の場所に堆積する。
・構外指定場所に処分(撤出調査等を監理者に提出する。)

山留めの撤去 山留め ・撤去
・存置 (3,3,3)

4章 地業工事

1. 床下防湿層等 (4,6,5(a))

種別	防湿層材料	断熱層材料	適用箇所
・A種	ポリエチレンフィルム厚0,15mm		配管ピット土間下
・B種	ポリエチレンフィルム厚0,15mm	ポリスチレンフォーム厚 25mm	1階土間下
・C種	—	木綿セメント板 厚 mm	

注) 木綿セメント板は寒冷地、凍結の恐れのある箇所では使用しないこと。

*ここに記載以外は建築工事特記仕様書(10)<構造関係(1)>参照

5章 鉄筋工事

建築工事特記仕様書(10)<構造関係(1)>参照

6章 コンクリート工事

① コンクリートの仕上り

② 型枠

3. 耐震スリット

4. 土間コンクリート

7章 鉄骨工事

1. 耐火被覆耐火構造 (1,8,2)

構造区分	耐火性能	適用箇所	種類	【認定番号】	厚さmm
屋根	30分	屋根下地	—	[例示仕様]	
床	1時間	1階床～2階床	—	[]	
	2時間	階床～階床	—	[]	
	1時間	1階床～2階床	—	[]	
梁	2時間	階床～階床	—	[]	
	3時間	階床～階床	—	[]	
	1時間	1階床～2階床	—	[]	
水平材	2時間	階床～階床	—	[]	
	1時間	1階～2階	—	[]	
斜材	1時間	1階～2階	—	[]	
	2時間	階～階	—	[]	
	3時間	階～階	—	[]	
柱	1時間	1階～2階	—	[]	
	2時間	階～階	—	[]	
	3時間	階～階	—	[]	
外壁	延焼恐れ	1時間	階～階	[]	
	上記以外	30分	1階～2階	対策:PL1,6+ロックウール吹付 [例示仕様]	25
非耐火壁	耐火壁	1時間	[]	[]	
	耐火壁	1時間	1階(防火区画形成部)	L65+6B(F)+12,5+12,5(両面) [FPA60W-0114]	[]

注) 外壁壁の「延焼恐れ」とは、「延焼の恐れのある部分」を表し、又「上記以外」とは「上記以外の部分」を表す。

*ここに記載以外は建築工事特記仕様書(11)<構造関係(2)>参照

8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1. 建築用コンクリートブロック
補強コンクリートブロック造 (表8.2,2(a))
材料 ブロック 種類 ※空洞ブロック16 (○種普通ブロック)・図示 (表8.2,2(b))

コンクリートブロック横壁及び縦壁 (表8.3,1)
材料 ブロック 種類 ※表8.3,1による (表8.3,1)
正味厚さ ・100mm ・120mm ・150mm ・190mm

各部の配筋 ※別図[各部配筋]9節[コンクリートブロック横壁及び縦壁の配筋]による (表8.3(b))

Table with 4 columns: 区分, 表面形状, 単位荷重 N/m², 厚さ mm. Rows include 外壁パネル, 外壁大型パネル, 間仕切壁パネル, 屋根パネル, 床パネル.

Table with 3 columns: 壁種別, 建物高さ18m以下, 建物高さ18m超31m以下. Rows include 縦壁, 横壁, 風圧力.

Table with 3 columns: 壁種別, 層階が連続する場合, スラブ層に用いる場合. Rows include 縦壁, 横壁.

屋根パネル構造 ※敷設筋構造 (表8.4,3)
床パネル構造 ※敷設筋構造 (表8.4,3)
外壁パネルの伸縮調整目地幅 ※300mm (表8.4,3(d))

外壁パネルの出隅・入隅部の伸縮調整目地幅 ※20mm (表8.4,3(g))
パネルコーナ部の処理 外壁パネル ※図示
間仕切壁パネル ※図示

間仕切壁パネルの伸縮調整目地 設ける (図示) ・設けない
パネル接合部シーリング ※特記仕様書9.12による
耐火目地材 ※ロックワール ・セラミックファイバー (表8.4,3(h))

取付け金物の耐火被覆 ※半湿式ロックワール吹付け (表8.4,4(c))
溶接接合者 ※JIS Z 3801の基本級以上
ALCパネルにタイル張りをする場合 ※特記仕様書11.2による

Table with 4 columns: 施工箇所, 種類, 表面形状, 単位荷重 N/m², 厚さ mm, 取付工法. Rows include 外壁, 間仕切壁.

外壁パネル相互の目地幅 ※長辺8mm 短辺15mm以上 (表8.5,3(f))
外壁パネルの出隅・入隅部の伸縮調整目地幅 ※15mm (表8.5,3(g))
パネルコーナ部の処理 外壁パネル ※図示
間仕切壁パネル ※図示

パネル開口の限度を超える開口部の補強 ※補8.5.5による (表8.5,5(d))
開口部の箇所数 ・図示
開口部の補強 ・図示
パネルの取扱い ※表8.5.3及び補8.5.3による (表8.5,3)
施工図 ※補8.5.7による (表8.5,7)
耐火性能 ※図示 (表8.5,6(a))

中空充填材 (外壁を除く) ※ロックワール (表8.5,6(b))
耐火目地材 ※ロックワール ・セラミックファイバー (表8.5,6(c))
耐火構造以外の目地材 ※製造所の仕様 (表8.5,6(d))
取付け金物の耐火被覆 ※半湿式ロックワール吹付け (表8.5,6(d))
パネル接合部シーリング ※特記仕様書9.11による

Table with 2 columns: 材料, 種類. Rows include CFRC, GRC.

Table with 2 columns: 表面仕上げ材, 表面形状, 添加剤, 添加量 (%), 複合材圧縮強度 (N/mm²), 複合材曲げ強度 (N/mm²), かさ比重, 製法, 適用箇所.

タイル・石型枠先付工法における耐久性 (補8.6,3)
低アルカリ性セメント ・適用する ・適用しない

耐火性能 ・1時間 (適用箇所) (補8.6,5)
・2時間 (適用箇所)

耐火目地材 ※ロックワール ・セラミックファイバー
耐火構造以外の目地材 ※製造所の仕様
取付け金物の耐火被覆 ※半湿式ロックワール吹付け
パネル接合部シーリング ※特記仕様書9.11による

5. 穴あきPC版

Table with 6 columns: 種類, 板厚, 呼称, 板長, 配筋種別, 表面形状, 表面仕上, 区分. Rows include 壁板, 床板.

Table with 3 columns: 部位, 工法, 層間変位量. Rows include 外壁, 間仕切, 床.

パネル接合部シーリング ※特記仕様書9.11による (補8.7,3(d))
開口部の箇所数 ・図示 (補8.7,7(a))
開口部の補強方法 ・図示 (補8.7,7(b))
耐火性能 ・図示 (補8.7,8(a))
耐火目地材 ※ロックワール (補8.7,8(b))
取付け金物の耐火被覆 ※半湿式ロックワール吹付け ・成形板張付け (補8.7,8(c))
コーナ部の材種 ・RC ・SUS304

9章 防水工事

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所. Rows include 改質アスファルトルーフィングシート, 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート, 露出防水工法の端部押え金物, 保護防水工法の端部押え金物.

改質アスファルトルーフィングシート ※非露出層防水用R種 厚さ mm以上 (表9.2,2(a))
露出層防水用R種 厚さ mm以上 (表9.2,2(b))

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート ※非露出層防水用R種 厚さ mm以上 (表9.2,2(c))
露出防水工法の端部押え金物 材種 ※アルミニウム製 (表9.2,2(d))
形状寸法 ※L-30×15×2,0 (表9.2,2(d))

保護防水工法の端部押え金物 設ける 材種 ※アルミニウム製 ・SUS製 (表9.2,4(d)(3)(1))
形状寸法 ※FB-20×2,5 (アルミニウム製) ・L-30×12×2,0 (SUS製)
設けない (表9.2,4(d)(3)(2))

保護防水断熱工法用断熱材 (表9.2,2(h))
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A (スキヤ付付) (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
東西アスファルト事業協同組合R Bボード及び日本アスファルト防水工業協同組合B Kボード又は同等品以上 (厚さ mm)

露出防水断熱工法用断熱材 (表9.2,2(i))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

絶縁用シート (表9.2,2(j))
保護防水断熱工法 ※フラットヤーンクロス (70 g/m²程度)
保護防水工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0,15mm
保護コンクリート (平場) の厚さ (表9.2,5(d)(2))
※80 mm ・図示
保護コンクリート以外の平場保護材料 ・図示

立上り部の保護材料 (表9.2,2(m))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

絶縁用シート (表9.2,2(n))
保護防水断熱工法 ※フラットヤーンクロス (70 g/m²程度)
保護防水工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0,15mm
保護コンクリート (平場) の厚さ (表9.2,5(d)(2))
※80 mm ・図示
保護コンクリート以外の平場保護材料 ・図示

立上り部の保護材料 (表9.2,2(m))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

D種・D1種の脱気装置 (表9.2,3(b))
平場 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層平場70m²程度毎に1箇所
立上り部 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 ・塩ビ製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層立上り部長さ10m程度毎に1箇所

立上り部の保護材料 (表9.2,2(m))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

D種・D1種の脱気装置 (表9.2,3(b))
平場 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層平場70m²程度毎に1箇所
立上り部 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 ・塩ビ製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層立上り部長さ10m程度毎に1箇所

立上り部の保護材料 (表9.2,2(m))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

D種・D1種の脱気装置 (表9.2,3(b))
平場 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層平場70m²程度毎に1箇所
立上り部 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製 ・塩ビ製 (表9.2,3(b))
数量 ※防水層立上り部長さ10m程度毎に1箇所

立上り部の保護材料 (表9.2,2(m))
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 (厚さ mm)
JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ mm)

3. 合成高分子ルーフィングシート防水

Table with 4 columns: 種別, 工法, 種別, 施工箇所. Rows include 接着工法, 機械的固定工法, 断熱工法.

仕上塗料 種類 ・ 使用量 (表9.3,3(1)(2)(3))
絶縁工法 ・絶縁断熱工法の脱気装置 (表9.3,3(2)(3))
種類 ・ 設置数量 ・ 設けない (表9.3,3(3))
絶縁断熱工法の防湿層 ・設ける ・設けない

ALCパネル下地の場合には接着工法とする
ルーフィングシートの種類・厚さ ※表9.4,1,表9.4,2,表9.4,3 (表9.4,2(a)(1))
2mm以上
モルタル塗り 厚さ mm (表9.4,3)
断熱シート ※発泡ポリエチレンシート (表9.4,2(b))
固定金具の材質及び寸法形状 ※表9.4,2(c)(2) (表9.4,2(c)(2))
断熱工法に用いる断熱材・材質 ※表9.4,2(c)(3) (表9.4,2(c)(3))
厚さ mm

立上り部のシート厚さ ※15mm (表9.4,3)(表9.4,1)(表9.4,2)
仕上塗料 種類・高付耐摩耗性能付EPDM系樹脂保護塗料 使用量 (表9.4,3)(表9.4,1)(表9.4,2)
モルタル塗り 厚さ mm (表9.4,3)
PCコンクリート部材下地の目地処理 ※図示 (表9.4,4(d))
PCコンクリート部材の隅部の増張り (S-F1, S1-F1) ※図示 (表9.4,4(e)(2))
機械的固定工法の設計風圧力 (表9.4,4(f)(2)(1))
※建築工事特記仕様書(1)の設計気象条件による

脱気装置 ※設ける (材種・ステンレス 数量・1箇所に1箇所 (表9.4,4(d))
PCコンクリート下地及びALCパネル下地種別S-C1の場合の目地処理 ※図示 (表9.4,4(e)(2))
PCコンクリート部材ALCパネル下地及びPCコンクリート部材の増張り (S-C1) ※図示 (表9.4,4(e)(1)(1))
床塗り工法 ※表15.2,5[工法] (b)(2)及び(3) (表9.4,4(f)(1)(1))
タイル張り下地等の下地モルタル塗り ※表15.2,5(c)(1) (表9.4,4(f)(1)(1))
保護コンクリートの厚さ mm (表9.4,4(f)(2))
立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 (表9.4,4(f)(3))

Table with 4 columns: 種別, 施工箇所, 種別, 施工箇所. Rows include X-1, X-2.

仕上塗料 種類 ・ 使用量 (表9.5,3(a)(1))
X-1種の脱気装置 (表9.5,3(a)(2))
平場 材種 ※SUS製 ・鍍鉄製
数量 ※防水層平場50m²程度毎に1箇所

Y-2種の保護層材料 (表9.5,3(b)(2))
絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム ・フラットヤーンクロス
保護材 ・保護コンクリート (厚 mm) ・保護モルタル (厚 mm)

Table with 2 columns: 種別, 適用部位. Rows include X-C-U1, X-C-U2.

特殊な下地処理 ※図示 (表9.6,4(b))

Table with 2 columns: 種別, 適用部位. Rows include X-C-U1, X-C-U2.

特殊な下地処理 ※図示 (表9.6,4(b))

Table with 4 columns: 種別, 仕様, 施工箇所. Rows include 塗膜+FRP系, 改質アス+FRP系, 改質アス+塗膜系, 改質アス+塗膜系, シート+FRP系.

特殊な下地処理 ※図示 (表9.6,4(b))

Table with 4 columns: 材料, 厚さ mm, 仕上げ, 下置き材・厚さ mm, 下地材・厚さ mm. Rows include SUS304, SUS316.

特殊な下地処理 ※図示 (表9.6,4(b))

Table with 4 columns: 種別, 仕様, 施工箇所. Rows include ポリマーセメントペースト系 (水気凝固型), モルタル防水.

Table with 4 columns: 種別, 仕様, 工法, 施工箇所. Rows include アクリルゴム系, アクリルシリコン系.

Table with 3 columns: 種別, 仕様, 施工箇所. Rows include ポリマーセメントペースト系 (水気凝固型), モルタル防水.

受注者、施工業者及び材料製造者は保証期間中に施工上の過失又は使用材料の不良などにより事故を生じた場合、無償にて補償復旧をなすものとする。

12. シーリング

Table with 4 columns: 防水の種類, 竣工後保証期間, 防水の種類, 竣工後保証期間. Rows include アスファルト防水 (露出防水), 合成高分子系ルーフィングシート防水, 金属シート防水, 塗膜防水.

※屋上緑化部分には耐根層を設け、屋上緑化部分防水の保証期間は耐根層を設けた場合を原則とする。

材料 (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 工法・部位・構成材, シーリングの種類. Rows include ガラス・マリオン形式, 金属パネル形式, PC板形式・タイル打込みPC形式・吹付け塗装PC形式.

各種外装パネル (表9.7,2(a))(表9.7,1)

Table with 4 columns: 試験の方法, 試験箇所. Rows include 漏水試験, 塗膜厚試験, 金属シート防水漏水試験, 金属シート防水真空試験, シーリングの接着性試験・引張接着性試験.

※「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に該当する場合のシーリング防水の保証条件は、日本シーリング工業協会・日本シーリング材工業会発行の「品質保証法に対するシーリング防水の保証条件と補償範囲について」による

10章 石工事

1 一般事項
2 材料
石材の割付け
石材の品質
天然石の種類・表面仕上げ
テラゾブロック及びテラゾタイルの種別・表面仕上げ
テラゾタイルの寸法
取付け金物
石の形状及び寸法
テラゾブロックの形状・寸法
テラゾタイルの寸法
取付け金物
外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物
乾式工法用金物
特殊部位用金物
石材の形状及び寸法
テラゾブロックの形状・寸法
テラゾタイルの寸法
取付け金物
外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物
乾式工法用金物
特殊部位用金物
石材の形状及び寸法
テラゾブロックの形状・寸法
テラゾタイルの寸法
取付け金物
外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物
乾式工法用金物
特殊部位用金物

3. 壁の石張り工法
外壁石張り
工法及び下地ごしらえ
下地ごしらえ
ドレインパイプの材質
乾式工法（高さ31m以下の建物の外壁）
石裏面処理
石裏打ち処理
白樺防止用混和材
乾式工法の耐衝撃
乾式工法の巾木上端部分
内壁石張り
工法及び下地ごしらえ
内壁空積工法（高さ4m以下の内壁）
石材厚さ
下地ごしらえ
石裏打ち処理
行方
目地
工法
目地種類
目地位置
目地材料
目地幅mm
外壁湿式工法
伸縮調整目地
内壁空積工法
伸縮調整目地
乾式工法
目地
目地種類
目地位置
目地材料
目地幅mm

4 床及び階段の石張り

床及び階段の石張り
目地
目地種類
目地位置
目地材料
目地幅 mm
一般目地
伸縮調整目地
屋内床本階きのワックス
特殊部位の石張り
部 位
石材の種類
表面仕上げ
形状・厚さmm
取付け工法
伸縮調整目地
石裏面処理
石裏打ち処理
一般目地及び伸縮調整目地の位置及び寸法
目地
目地種類
目地位置
目地材料
目地幅 mm
適用箇所
一般目地
伸縮調整目地
笠木、甲板等の乾式工法の場合の取付けしる
笠木、甲板等の乾式工法の場合の石裏補強用モルタル
石及び仕上げの種類
石の種類
形状・寸法
仕上げの種類
工法
適用箇所
試験の方法
試験箇所
試験の方法
試験箇所

11章 タイル工事

1. 材料
タイルの種類
形状 寸法
きしの質
成形法
色調
軸葉
役物
耐凍害性
耐滑り性
耐摩耗性
試験の方法
試験箇所
試験の方法
試験箇所
耐滑り性有の場合の基準
C・S・R ≥ C・S・R・B ≥
※有機系接着材による外壁陶磁器タイル張り用タイルは専用タイルとする。
※タイルは社団法人全国タイル業協会加入のメーカーの製品とする。
伸縮調整目地及びびひ割れ誘発目地
適用箇所
目地の材料
目地の位置
目地の寸法
伸縮調整目地及びびひ割れ誘発目地に使用するタイルの側面の形状及び仕上げ
目地
目地種類
目地位置
目地材料
目地幅mm
内装タイル
外装タイル
外装タイル（ユニットタイル）
外装タイル

ALCパネルにタイル張りを行う場合は、下記に準拠すること。

ALCパネルにタイル張りを行う場合は、下記に準拠すること。
※「ALCパネル工場タイル張り工法指針（家）- 同解説（改定版）」（日本建築士会）
壁タイル張りとは、落防止工法
工法
※目尻工法（超高压水洗150pa以上）・MCR工法
床タイル張り工法
工法
適用箇所
壁タイル張り工法
タイルの種類
タイルの大きさ
工法
裏面高さ
裏面反り
備考
内装タイル
外装タイル
内装タイル以外のユニットタイル
内装タイル
外装タイル
タイルの種類
タイルの寸法
工法
裏面高さ
裏面反り
備考
小口タイル
大形タイル
種類
タイルシート法
目地削り法
タイル単体法
仕様の適用基準
タイル工事陶磁器タイル型枠先付けPC部材に準拠する。
タイルの種類
形状 寸法
きしの質
成形法
色調
軸葉
役物
用途
耐凍害性
耐滑り性
耐摩耗性
試験の方法
試験箇所
試験の方法
試験箇所
※接着力試験
内外共100㎡毎に1箇所かつ全体で3箇所以上

12章 木工事

1. 表面仕上げ
A種
B種
C種
手加工仕上げかんな削り
適用箇所
2. 木材
含水率
A種
B種
「製材の日本農林規格」による製材
区分
樹種
寸法
等級
形状
含水率
下地用針葉樹製材
造作用針葉樹製材
広葉樹製材
「製材の日本農林規格」以外の製材
区分
樹種
寸法
材面の品質
防虫処理
難燃処理
含水率
下地
造作
仕上げ

代用樹種禁止

代用樹種禁止
樹種
禁止箇所
(11,2,1(b)(2))
造作用集成材のホルムアルデヒド放散量
※12,2,1(c)
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
区分
樹種
寸法
見付け材面の等級
化粧薄板の厚さ
化粧ばり
造作用集成材
化粧ばり
構造用集成材
「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
区分
樹種
寸法
見付け材面の品質
化粧薄板の厚さ
含水率
単板積層材のホルムアルデヒド放散量
※12,2,1(d)
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
厚さ
表面の品質
防虫処理
「単板積層材の日本農林規格」以下の造作用単板積層材
厚さ
表面の品質
含水率
防虫処理
床張り用合板等のホルムアルデヒド放散量
※12,2,1(e)
普通合板
厚さ
表板の樹種
接着の程度
板面の品質
備考
構造用合板
厚さ
表板の樹種
接着の程度
等級
板面の品質
備考
構造用合板の防虫処理
構造用合板の強度等級
パーティクルボード
厚さ
表裏面の状態による区分
曲げ強さによる区分
接着剤による区分
難燃性による区分
構造用パネル
等級
厚さ
mm
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
下地木材への防菌・防蟻処理
防菌・防蟻処理が不要な樹種による製材
製材の加工注入による防菌・防蟻処理（適用部位）
製材の塗布等による防菌・防蟻処理（処理方法※12,3,1(3)(E)）
木ド原料接着剤への薬剤混入による防菌・防蟻処理（処理方法）
防虫処理
鉄筋コンクリート等の内部断熱仕切
輪廻及び床組
出入口その他
床板張り
壁及び天井下地
性能試験
産出地
1. 長尺金属板
材料
塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯の屋根用コイル
溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯の屋根用コイル
塗装溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯の屋根用コイル
溶融55%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯の屋根用コイル
ポリ塩化ビニル被覆鋼板及び鋼帯の屋根用コイル
冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
塗装ステンレス鋼板
その他



2. 表面処理
ステンレスの表面仕上げ (14,2,1)(補14,2,1)
種別 施工箇所 備考
○HL仕上げ
・No28程度
・エッチング仕上げ
・鏡面エッチング仕上げ
・鏡面仕上げ (No.8) ・パフ仕上げ (No.7)
・カラーステンレス (仕上げ)
○バイレーション仕上げ
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14,2,2(a))(表14,2,1)
・陽極酸化皮膜 JISH8601
表面処理 種別 皮膜厚μm 色合 施工箇所
無着色陽極 ・A-1種 ※15 ※標準
酸化皮膜 ・C-1種 ※6 ・標準 ・標準外
着色陽極 ・A-2種 ※15 ※標準
酸化皮膜 ・C-2種 ※6 ・標準 ・標準外
・陽極酸化塗装複合皮膜 JISH8602
色合 ※標準 (・無着色: B-1種 ・着色: B-2種) ・標準外 (・ホワイト)
塗装の艶 ・あり ※なし
表面仕上げ (ダイスライン) ※標準 (ダイスラインあり) ・標準外 (ダイスラインなし; 製地処理)

14章 金属工事
1. あと施工アンカー
設計用引張強度は下の表による
※引抜き耐力確認試験 (14,1,3(b)(4))(補1,8,1(b)(11))
あと施工アンカー種別 施工箇所 設計用引張強度 備考
○機械式 ○石・内壁・空積部 ・ N/c㎡ ・
・ ・ ・ N/c㎡ ・
・ ・ ・ N/c㎡ ・

2. 表面処理
ステンレスの表面仕上げ (14,2,1)(補14,2,1)
種別 施工箇所 備考
○HL仕上げ
・No28程度
・エッチング仕上げ
・鏡面エッチング仕上げ
・鏡面仕上げ (No.8) ・パフ仕上げ (No.7)
・カラーステンレス (仕上げ)
○バイレーション仕上げ
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14,2,2(a))(表14,2,1)
・陽極酸化皮膜 JISH8601
表面処理 種別 皮膜厚μm 色合 施工箇所
無着色陽極 ・A-1種 ※15 ※標準
酸化皮膜 ・C-1種 ※6 ・標準 ・標準外
着色陽極 ・A-2種 ※15 ※標準
酸化皮膜 ・C-2種 ※6 ・標準 ・標準外
・陽極酸化塗装複合皮膜 JISH8602
色合 ※標準 (・無着色: B-1種 ・着色: B-2種) ・標準外 (・ホワイト)
塗装の艶 ・あり ※なし
表面仕上げ (ダイスライン) ※標準 (ダイスラインあり) ・標準外 (ダイスラインなし; 製地処理)
JISH8602 改正規格の種類 (性能規格)
A1 過酷な環境で、かつ、紫外線露光量の多い地域の屋外
A2 過酷な環境の屋外
※B 一般的な環境の屋外
C 屋内
・過酷な環境とは、腐食・劣化の激しい地域で海浜及び沿岸
・一般的な環境とは、工業地域、都市地域及び田園地域
・海浜とは、海岸線から300m以内の地域
・沿岸とは、海岸線から300mを超えて2km以内の地域
・紫外線露光量の多い地域とは、亜熱帯海洋性気候に類似した地域 (南西諸島等)
・着色塗装皮膜
表面処理 種別 塗装厚 仕上がり 施工箇所
・B-FE(P) ・ μm ・ソリッド・メタリック
着色塗装皮膜 ・B-FE(F) ・ 20 μm ・ソリッド・メタリック 図示
注) B-FE(P) : 高温焼付形ふっ素樹脂エナメル塗り B-FE(F) : 中温焼付形ふっ素樹脂エナメル塗り
着色陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 (14,2,2(b))
・自然発色
・その他の電解着色 ()
鉄鋼の垂鉛めっき (14,2,3)(表14,2,2)
表面処理方法 種別 施工箇所
・A種 (HD255)
・B種 (HD245)
・C種 (HD235)
・D種 5級
・E種 4級
・F種 3級
表面処理 ・JIS 0 3002*1
垂鉛めっき鋼板 ・JIS 0 3013*2
常温垂鉛めっき ・ZRC工法 ※3
注) ※1 : 溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯
※2 : 電気垂鉛めっき鋼板及び鋼帯
※3 : ZRC乾燥皮膜厚76 μm以上塗布
亜鉛めっき鋼面及びステンレス面の焼付塗装仕上げ (補14,9)
塗装種別 業地材料 仕上がり 表面処理 塗装厚 (μm) 施工箇所
・高温焼付形ふっ素樹脂エナメル(B-FE(P)) ・ ・ ・ 化成皮膜 ・ ・
○中温焼付形ふっ素樹脂エナメル(B-FE(F)) ・ ・ ・ ・ ・ ○サイン
天井材の単位面積当たりの質量が20kg/m²を超える天井、水平でない天井、システム天井 ※図示
天井高6m以上で面積200㎡を超える天井 ※図示
野縁の種類 屋内 ※19形 ・25形 (14,4,2(b))(表14,4,1)
屋外下地の形式及び寸法 (14,4,3(a)(b))
※「耐震・耐風圧 天井補強 特記・要領図」による。
吊りボルトの間隔が900を超える補強方法 ※図示 (14,4,4(a)(1))
天井ふところ1.5m以上の補強方法 (14,4,4(b))
※「耐震・耐風圧 天井補強 特記・要領図」による。
天井ふところ3.0m以上の補強方法 ※図示 (14,4,4(b))
耐震性を考慮した補強 (14,4,4(j))
※「耐震・耐風圧 天井補強 特記・要領図」による。
屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 (14,4,4(k))
※「耐震・耐風圧 天井補強 特記・要領図」による。
特殊軽量鉄骨天井下地 製造所、工法 (同等品、使用部位:) ※図示
スタッド及びランナーの種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 (14,5,3(a))(表14,5,1)
高さ5.0mを超えるスタッド ※図示 ・100形#303(炉前ホール折上料め天井部)
特殊軽量鉄骨壁下地 製造所、工法 (同等品、使用部位:) ※図示
天井の金属成形板 (14,6,2(a))
種別 ・スパンドレル形 ・パネル形 ・
製法 ・押し出し ・ロール ・プレス ・
材種 ・ ・ ・ ・
表面処理・仕上げ ・ ・ ・ ・
寸法 mm ・ ・ ・ ・
板厚 mm ・ ・ ・ ・
施工箇所 ・ ・ ・ ・
取付け用下地 ※14,4 (軽量鉄骨天井下地) による ※図示 (14,6,3(a))
長尺もの伸縮調整継手 ・設けない ※設ける (施工箇所は図示による) (14,6,3(e))

16章 建具工事
建具工事特記仕様書・建具表(1) 参照

壁の金属成形板
種別 ・折板 ・サイディング類 ・金属断熱パネル ・
製法 ・ ・ ・ ・ ・
材種 ・ ・ ・ ・ ・
表面処理・仕上げ ・ ・ ・ ・ ・
寸法 mm ・ ・ ・ ・ ・
板厚 mm ・ ・ ・ ・ ・
施工箇所 ・ ・ ・ ・ ・
外装パネル工法 多雪区域の指定風圧力 ※建築工事特記仕様書(1)の設計気象条件による。
笠木本体の材料 ※アルミニウム押出材材 ・アルミニウム合金押出材材 (14,7,2(a))
笠木材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 ○図示 (表14,7,1)
伸縮調整継手 ○設ける (4 m以内) ・設けない (14,7,2(b))
役物の種類及び工法 ※主材製造所の仕様 ・ ・ ・ (14,7,2(c))(表14,7,1)
表面処理 ・A-1種 ○B-1種 ・ (14,7,2(c)(1))(表14,7,1)
風圧力 建築工事特記仕様書(1)の設計気象条件による。 (14,7,3(a)(1))
多雪地域と指定された地域における笠木の固定金具の取付方法 ※図示
材料の種類 ※図示 ・鉄鋼 ・SUS304 ・アルミニウム (14,8,2(a)(1))
材料の種類・表面処理 ※SUS304 (※HL ・) (14,8,3(a)(1))(14,8,3(a)(2)) ・鉄鋼 (※C種 ・)
E×P×Jカバー可動量 (X, Y方向)
※下表による ・図示
可動量
屋根 外壁 床 内壁 天井
※50% ※50% ※50% ※50% ※50%
※100% ※100% ※100% ※100% ※100%
可動量50%の場合であっても、耐震安全性分類のA類は、屋根の止水帯と各部位の耐火帯は、可動量100%に追従すること。
安全機構
※可動量を100%としない場合は安全機構を設ける。 (補14,11,1)
床カバーの安全機構の設置 ※図示
構造クリアランス、仕様 (補14,11,2)
※下表による ・図示
(構造全体の層間変形角 ・RC造, SRC造: 1/200 ・S造: 1/100 ・計算: 1/)
階 階高 mm 1Fからの床クリアランス床高さ mm 床可動量 mm以上 耐火帯 mm以上 止水帯 (床) 断熱材 遮音帯
パラベット 階 階高 mm 1Fからの床クリアランス床高さ mm 床可動量 mm以上 耐火帯 mm以上 止水帯 (床) 断熱材 遮音帯
耐火帯 ※特記なき限り有り
耐火帯は防火区画の壁、床においては建築基準法施行令第107条2項に規定する「1時間遮熱性能」、外壁、屋根部分においては同第107条3項に規定する「30分遮熱性能」(延焼のある部分については1時間)とし、仕様は製造所の仕様による。
止水帯 ※止水帯は外壁、屋根部分に施し、仕様は製造所の仕様による。また、その他の部分で止水帯を施す場合は上表による。
断熱材 ※特記なき限り無し
・断熱材 (仕様)
遮音帯 ※特記なき限り無し
・遮音帯 (仕様)
主材料・仕上
※下表による ・図示
部位 屋根 外壁 床 内壁 天井
主材料 ・ ・ ・ ・ ・
仕上 ・ ・ ・ ・ ・
耐震性能
床 ※下表による ・図示
適用箇所
・軽歩行用
・重歩行用
・車両用 T-5
・車両用 T-14
・車両用 T-25
屋根・外壁の耐風圧力・耐積雪量
※建築工事特記仕様書(1)の設計気象条件による。
材料 打抜型 板厚 (mm) 孔径 (mm) 芯々距離 (mm) 施工箇所
種類 品番 施工箇所
スチール溶融亜鉛メッキ X024 2階+5,000 排ガス処理室上部
スチール溶融亜鉛メッキ X024 (指定色) 炉前ホール吹抜ルーバー上部
工法 ※普通曲げ ・角出し曲げ (・A角 ・B角 ・C角) (補14,10,1)
試験の方法 (補1,8,1(c)(6))(補14,9,7(b))
試験箇所
・アルミニウム表面処理の皮膜及び塗装の品質試験 ○符合ホール他、現場にて要協議
・溶融亜鉛めっきの垂鉛の付着量試験
・電気垂鉛めっきの皮膜厚試験及び塩水噴霧試験
・金属系地上の焼付け塗装の塗膜厚試験
・金属系地上の焼付け塗装の品質試験

15章 左官工事
1. 防火材料
防火材料 ※室内の壁及び天井の仕上塗材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。
2. モルタル塗り
既製目地材 ※使用する 形状・図示 (15,2,2(k))
適用箇所 (15,2,5(b)(3))
床の目地 ・設置する 目地工法 ※押し目地 施工箇所
外壁タイル張り下地等の下地モルタル接着力試験 ・行う ・行わない (15,2,5(c)(2))
3. セルフレベリング材塗り
材料 ・せつこう系 ※セメント系 (15,4,2(a))(表15,4,1)
塗り厚 ※10 mm
施工箇所
仕上塗材の種類、仕上げ形状及び工法 (15,5,2(a)(3))(表15,5,1)(15,5,6)
種類 呼び名 仕上げ形状 工法 施工箇所
・薄付け仕上塗材 JIS A 6909 ・外装薄塗材E ・砂壁状・着色骨材砂壁状 吹付け
・内装薄塗材E ※砂壁状じゅらく 吹付け
・可とう形外装薄塗材E ※砂壁状 吹付け
・外装薄塗材E ・ゆず肌状・さざ波状 ローラー
・外装薄塗材E ・ゆず肌状・さざ波状 ローラー
・外装薄塗材S ※凹凸状 吹付け
・内装薄塗材M ※京壁状じゅらく 吹付け
・厚付け仕上塗材 JIS A 6909 ・外装厚塗材G ・吹出し ・凸部処理 吹付け
・内装厚塗材O ・吹出し ・凸部処理 吹付け
・外装厚塗材E ・吹出し ・凸部処理 吹付け
・根層仕上塗材 JIS A 6909 ・根層塗材DE ※ゆず肌状 ローラー
・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・可とう形根層塗材 ・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・根層塗材S1 ※ゆず肌状 ローラー
・根層塗材E ・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・根層塗材RE ・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・防水形根層塗材OE ※ゆず肌状 ローラー
・防水形根層塗材E ・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・防水形根層塗材RS ・凸部処理・凹凸模様 吹付け
・軽量骨材仕上塗材 JIS A 6909 ・吹付け用軽量塗材 ※砂壁状 吹付け
・こて塗用軽量塗材 ※平たん状 こて塗り
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (15,5,2(a)(1))
内装薄塗材、内装厚塗材の吸気湿性 ・有 () ・無 () (15,5,2(a)(4))
根層仕上塗材の耐水性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種 (15,5,2(a)(7))
根層仕上塗材の耐水性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種 (15,5,2(a)(8))
溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 (表15,5,2)
樹脂 ※アクリル系・アクリルシリコン系 (低汚染型) ・ふっ素系 (低汚染型) ・シリカ系 ・ポリウレタン系
外観 ※やあり ・つやなし ・メタリック
防水形の増設材 ※行う (15,5,2(a)(15,5,11))
下地処理 ALCパネルの内壁目地の形状 ※V形 (15,5,4(d)(1))
装飾仕上塗材 ※下表による ・図示による
仕上塗材の名称 施工箇所 使用材料 (商品名)
・左官仕上 エトラス・ル・取骨・ル・待合・ル・フコノマン・ツクコト・IN (指定色) 同等品とする
・ 同等品とする
・ 同等品とする
5. マスチック塗材塗り
種類 ・A種 ・B種 (15,6,2(a))(表15,6,1)
仕上材塗り種別 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント (15,6,2(b))
6. ロックウール吹付 (半乾式及び乾式工法)
仕上げ吹付け厚さ (15,6,3(b))
施工箇所 吹付け厚さ 備考
○屋根裏 S1R-16層内側 ○25 mm
○屋根裏面75%以上 ※25 mm
・ ・ ・
ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (15,6,2(a)(4))
7. 薄塗り工法
工法の種別 (補15,8,2)(補表15,8,1)
種別 A種 B種 C種
施工箇所 ・ ・ ・
C種の種類 ・1種 ・2種 ・3種 (補15,8,3(b)(1))(補表15,8,2)
8. 特殊仕上げ
・耐摩耗床 材料 工法 厚さ mm
・耐薬品床 材料 工法 厚さ mm

17章 カーテンウォール工事
1. 見本の製作
2. 実大試験
3. 性能
4. 性能試験
5. メタルカーテンウォール

6. PCカーテンウォール
・鋼材
・ステンレス鋼材
・耐蝕性鋼材
・シーリング材の種類
・ガラス取付け材料
・断熱材料
・許容差
・アルミニウム合金鋼物カーテンウォール製品の寸法許容差
・ガラスの寸法、形状
・躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
・接合部工法
・コンクリート
・鉄筋の種類
・補強鉄線の寸法
・シーリング材の種類
・断熱材
・耐火目地材
・建具枠ゴンドラ用ガイドレール
・PCカーテンウォール製品の寸法許容差

7. 大型ガラスの支持方式
18章 塗装工事
1. 材料
2. 塗装業者
3. 素地ごしらえ
4. 錆止め塗料塗り
5. 合成樹脂調合ペイント塗り
6. クリヤラッカー塗り
7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
8. 耐候性塗料塗り
9. アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
10. 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
11. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

12. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り
13. 合成樹脂エマルジョン調合塗料塗り
14. ウレタン樹脂ワニス塗り
15. ラッカーエナメル塗り
16. 木材保護塗料塗り
17. アクリルシリコン樹脂クリヤ塗り
18. 常温乾燥形ふっ素樹脂クリヤ塗り
19. 防塵用塗料塗り
20. 性能試験
19章 内装工事
1. 防火材料
2. 健康障害への対策
3. ビニル床シート張り
4. ビニル床タイル張り

5. 特殊機能床材
6. ビニル幅木
7. ゴム床タイル
8. カーペット敷き
9. 合成樹脂塗床
10. フローリング張り

帯電防止床シート、床タイル
視覚障害者用床タイル
耐動荷重性床シート
防滑性床シート、床タイル

11. 畳敷き
12. セッコウボード
13. 吸音材・遮音材
14. 合板
15. ボード類の工法
16. 壁紙張り

畳敷き
セッコウボード
吸音材・遮音材
合板
ボード類の工法
壁紙張り

17. 断熱材・防露材
18. 浴室天井材
19. ポリスチレンフォーム床下地材
20. 住宅用乾式遮音二重床下地材
21. 弾性床
22. 遮音性能
23. 性能試験

断熱材・防露材
浴室天井材
ポリスチレンフォーム床下地材
住宅用乾式遮音二重床下地材
弾性床
遮音性能
性能試験

20章 ユニット及びその他の工事
1. ユニット工事に使用する材料等
2. フリーアクセスフロア
3. 可動間仕切り

ユニット工事
フリーアクセスフロア
可動間仕切り

4. 移動機仕切

開閉形式 ・引き戸式（スライディング）・折れ戸式（フォールディング）
・伸縮式（アコーディオン）

品質・性能 (20,2,4)

性能による区分	厚さ	表面材	表面仕上げ	施工箇所
一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装・壁紙張り	
遮音タイプ (遮音性能・図示)	100	※鋼板	・焼付け塗装・壁紙張り	待合室

表面仕上げの壁紙張りの品質
ハンガーレール取付け下地補強 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの (20,2,4(c)(3))
ハンガーレール取付け下地の防振・防音 ※行う 方法 ※図示 ・防振ゴム
※行わない
※図示

あと施工アンカー 材質
寸法 ※図示

製造所 (製品名:)

パネル圧接装置の操作方法

5. トイレブース

表面仕上げ材 ・メラミン樹脂系化粧板（標準色アルミ製コーナーエッジ付） (20,2,5)
・ポリエチレン樹脂系化粧板（標準色アルミ製コーナーエッジ付）
ブースパネル形状 ※図示 ※非常時外側より開錠付
足形状 ※幅木型・足金物型
※製造所仕様

工法
製造所 (製品名:)

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

6. 洗面カウンター

表面仕上げ材 ・メラミン樹脂板ポストフォーム ・人造大理石（品質 ※図示）
形状・寸法 ※図示

製造所 (製品名:)

7. 滑り止め
コーナービート
その他

階段滑り止め 材種 ※SUS304 ・硬質アルミニウム ・磁器製 (20,2,6(a))
形状 ※ビニルタイヤ入り ・図示
両端フラットエンド ・なし・あり (※ビニル製・SUS304)
幅 ※35 mm ・ mm
工法 ※接着工法 ・埋込工法 (20,2,6(b))

床目地絨 材種 ※SUS304 ・塩化ビニル (20,2,7)
寸法 ※6×12

コーナービート 材種 ※SUS304 ・塩化ビニル
高さ ※天井まで ・床から まで

コーナーガード 壁(柱)・床

天井回り縁 材種 ・アルミニウム ・塩ビ
形状寸法 ※図示

ビクチャーレール 材種 ・アルミニウム ・SUS304
形状寸法 ※図示

黒板 材種 ※焼付け ・研ぎ出し (20,2,8(a))
形状 ・平面 ・曲面 ・上げ下げ ・内部映写スクリーン内蔵型
枠等 ※アルミニウム製枠 (チョーク溝、チョーク入れ、チョーク紛入れ付)
色 ※緑色 ・黒色

ホワイトボード 枠等 ※アルミニウム製枠 (マーキングペン受け付) (20,2,8(b))

掲示板 材種 ・形状 ・色彩 (20,2,9)
枠 ・形状寸法 ※図示
厚さ ※5 mm ・ 6 mm

衝突防止表示 形状、寸法、材質 ※図示 (20,2,10(a))
・市販品 (※SUS304 径約30)

非常用進入口表示 形状等 ※消防法適合の市販品 (20,2,10(b))
取付箇所 ※図示 ・ヶ所

室名札、ピクトグラフ、案内板等 (20,2,10(c))

名称	材種及び仕上げ	長さ×幅×厚さ	設置箇所	数量	備考
室名札	・アクリル樹脂板 文字シルク印刷				・受金物(SUS) ・遮込み式(片持出) ・正面付
室名文字	・ペイント書 ・アクリル板 ・ステンレス切板 文字鏡面仕上げ				・貼付け ・貼付け
階数表示			・各階踊場		
銘板	・ステンレス板 厨師以上文字鏡面仕上げ				
定礎板	・花こう岩 (程度)				・定礎箱鋼板0.8 内箱は鋼製 銘板入り
案内板					
看板					
屋外案内板					
屋外掲示板					

注) 上記に使用される文字は何れも指定書体とする。
・免震建築物であることの表示「平成12年建設省告示第2009号第4の五」
形状、寸法、材質 ※図示
・免震エキスパンションジョイント注意喚起表示
形状、寸法、材質 ※図示

9. 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 形状、寸法 ※図示 (20,2,11(a)(1))
材質 ・ソノトライト系い酸カルシウムライニング材
・心材付き繊維積層ライニング材
適用安全使用温度
製造所 (製品名:)

10. ブラインド

・キャスト耐火材 (製品名:) (20,2,11(a)(2))
製造所

・ブラインド (20,2,12)

形式	材料	開閉方式	スラット幅	適用箇所
※縦形	※アルミニウム合金 ・硬質塩化ビニル	※ギヤ式 ・コード式・電動式	・15 ※25 ・35	
・縦形	・アルミ(焼付け塗装) ・ガラス繊維 ・クロス(化繊、麻)	・2本操作コード式 ・操作棒式 ・電動式	・100・80	
・ロール ブラインド	・ガラス繊維 ・クロス(化繊、麻)	・手動式 ・電動式		
・特殊 タイプ				

・ヘッドボックス 材種 ※鋼製 ・アルミニウム(押出し型材)・
内法寸法 深さ ・ mm 幅 ・ mm
仕上げ

・ボトムレール 材種 ※鋼製 ・アルミニウム(押出し型材)・
・ヘッドレール 材種 ※アルミニウム合金製

11. ロールスクリーン

形式	材種・品質	開閉方式	幅及び高さ	適用箇所
・ロール スクリーン	・ガラス繊維 ・クロス(化繊、麻)	・手動式 ・電動式	幅 mm 高さ mm	

巻き取りパイプ、操作コードその他材料 ※図示
製造所 (製品名:)

12. カーテン及びカーテンレール (20,2,14)(表20,2,1)

施工箇所	形式			装置			きれ地の品質、柄、色合、組織	ひだの種類
	片引	引分	電動	ひも	手引			
	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・	・		

製造所 (製品名:)

○カーテンレール 強さによる区分 ※10-90 (20,2,14(b)(2))
材種 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材(アルマイト)・SUS304
形状 ※角型 ・ C型 ・ D型
種別 ・ シングル掛け ・ ダブル掛け
・ レール交差掛け(シングル・ダブル)
取付け方法 ・ 直付け ・ 中空吊り下げ
引分け装置 ・ 手動 ・ 電動

・暗幕用カーテン 両端及び召合わせの重ねかけ ※300以上 (20,2,14(c)(1))

・カーテンボックス 材種 ・鋼板 ・アルミニウム(押出し型材)
内法寸法 深さ ・ mm 幅 ・ mm
仕上げ

誘導用床材・注意喚起床材

材 料	寸法等	適用箇所	製造所
・ビニル床タイル	・既製品・特注品		
・コンクリート平板	・既製品・特注品		
○金属鉄	○既製品・特注品 300×300 アパル+強化樹脂(10-10) /スリッパ(石・コンクリート用)	車寄せ	

点字表示

適用箇所	寸法	内 容
・案内板		
・手すり		・階数表示 ・上り下り
・室名		
・押しボタン		

その他の誘導装置
誘導鈴 設置場所 (製造所:)
音声ガイド 設置場所 (製造所:)
音声触知案内板 設置場所 (製造所:)

14. 流し台ユニット

種 類	寸法L=	材 質	規格・品質等	適用内容
・流し台	・1200	※SUS	※優良住宅部品(BL型)	※ドラムトラップ付
・コンロ台	・600	※SUS		※バックガード付
・吊り戸棚	・1200	※SUS		※耐震取っ手付き
・水切り棚	・1200			耐火性 ※有り ・無

製造所 (製品名:)

材種 ・SUS304 ・ほうろう ・ガラス繊維強化ポリエステル
形態 ・単層 ・ユニット ・ハーフユニット
寸法

15. 浴槽

形状、寸法 ※図示
付属設備 ※図示
製造所 (製品名:)

16. ユニットバス

形状、寸法 ※図示
付属設備 ※図示
製造所 (製品名:)

17. ユニットシャワー

形状、寸法 ※図示
付属設備 ※図示
製造所 (製品名:)

18. ユニットトイレ

形状、寸法 ※図示
付属設備 ※図示
製造所 (製品名:)

19. 配管化粧カバー(配管用ライニング)

天板材種 ・メラミン樹脂化粧板ポストフォーム ・人造大理石 ・ステンレス板 ・大理石
立上り仕上 ・メラミン樹脂化粧板 ・耐水合装仕上げ ・化粧フィルム板

20. 防災器具等

種別

名称	形式・寸法・仕上げ等	設置箇所
・非常用救命袋	・傾斜式 ・鉛直式	
・緩降器		
・バルコニー用避難器具	※マンホール組込伸縮式金属避難吊り下げハンゴ	
・埋込み消火器ボックス	材種 ・鋼板 ・SUS304	

注) 上記防災器具等は、消防法規定格品とする。

材種 ※SUS304
形状、寸法
製造所 (製品名:)

21. 郵便受け

材種 マット本体 ・SUS304 ・硬質アルミ ・ゴム ・合成樹脂
受枠 ・SUS304 ・硬質アルミ
寸法
排水 ・設ける ・設けない

22. 靴拭きマット

材種 ・塩化ビニル製 ・水脚張ゴムシート
適用箇所 ・基礎躯体土に面する部分の打越部

23. 止水板

材種 ・塩化ビニル製
寸法 ・ 150mm

24. 換気孔

材種 ・図示 ・下表

材 種	寸法	適用箇所
・鋼鉄製 錆止め塗装 防虫網付 (SUS304)		
・硬質塩化ビニル管 防虫網付		

25. 家具書架・実験台書架その他什器等

26. 屋内溝ふた

種別 ・図示 ・下表

種 類	寸法	形式・品質・仕様	設置箇所
・鋼鉄板			
・SUS304			
・グレーチング		・鋼板 ・SUS製	

マンホールふた種別 ・図示 ・下表

種 類	寸法	安全荷重kN	設置箇所
・密閉形	完全防水、防臭形 600φ	・15	
・簡易密閉形(バックキン式)	簡易防水、防臭形	・15	
・断熱形	完全防水、防臭形	・15	

化粧ふた(充填用)種別 ・図示 ・下表

種 類	目 地	寸法	安全荷重kN	設置箇所
・一般形	・SUS目地 ・L型SUS目地		・15	
・二重ふた形	・SUS目地 ・L型SUS目地	※600×600	・15	

種別

区分	材 種	形式・仕様	寸法	数 量
天井用	※アルミニウム	※鎖縁タイプ枠 ・目地タイプ枠	※600×600	ヶ所・図示
床 用	※アルミニウム ・SUS304	・充填用 ・貼物用 ・裏面断熱	※600×600	ヶ所・図示
二重 壁用	※GRC	・縫付 ・防水型 ・防臭型	※400×400	ヶ所・図示
壁 用	※図示(建具表)			

28. 点検口

29. 丸環

材種 ※SUS304
吊下げ強度 ・荷重 N

30. 簡易ゴンドラ

固定用受金物 材種 ※SUS304
箇所数・図示 ・ヶ所
形状、寸法 ※図示

吊下げ用金物 材種 ※SUS304
吊下げ用金物及びゴンドラ(1人用)
形状、寸法 ※図示
設置台数 ・ セット
製造所 (製品名:)

31. 旗竿

・旗竿 材種 ※アルミニウム合金製 ・鋼製(仕上げ:
形式 ※テーパー型 ・同一断面型)
滑車 ・内装形 ・外装形
高さ ・ m 数量 ・ 本
・竿受け金物 材種 ※SUS304 数量 ・ 箇所
形式 ※着脱式 ・固定式

32. 特殊内外装材

材料

材 種	形式、寸法	仕様・品質	適用箇所
・結晶化ガラス			
・大型陶板			
・			
・			
・			

33. トップライト

形状、仕様 ※図示
製造所 (製品名:)

34. プレキャストコンクリート(小規模)

適用部位 ・手すり ・段板 ・ルバ (20,3,1)
適合 断面圧縮強度 ※12N/mm²以上 (20,3,3(a))
28日圧縮強度 ※30N/mm²以上
強度上の水セメント比※55%以下
単位セメント量 ※300kg/m³以上

補強鉄線 ・JIS G 3532(補強鉄線) ・JIS G 3551(溶接金網) (20,3,2(c))
※径3.2mm以上

型枠 ※鋼製 ・木製 (20,3,4(c))
取付け方法 ※図示

原寸試作品 ・作成する ・作成しない
配筋 ※計算書を提出

35. 欄干石及びコンクリート欄干ブロック積み

欄干石 材種 ・面寸法 ・300×300 mm (20,4,2(a))
コンクリート欄干ブロック 面寸法 ・300×300 mm (20,4,2(c))
重量 ・300〜350 kg/m² ・350 kg/m²以上

工法 積み方 ※谷積み ・布積み (20,4,3(c)(1))
目塗り ・行う ・行わない (20,4,3(c)(9))
伸縮調整目地 材種 厚さ ・ mm (20,4,3(c)(10))

36. 敷地境界石

石種の種別 ・A種(花こう岩類) ※B種(コンクリートブロック製)
・異製製 ・鉄打ち

37. 外構フェンス

高さ ・ m ○図示
金網 ・ビニル被覆10#56 mm目
支柱 ・H=1500以上は支柱付、支柱間隔は柱1本おき
種別 ・樹脂鋼板加工、合成樹脂塗料焼付既製品

38. 性能試験

・後付けアンカー引抜き試験 (補1,8,1(c)(11))
試験箇所

21章 排水工事 (21,2,1)(表21,2,1)

排水管用材料 (21,2,1)(表21,2,1)

材 種	管の種類	管形状(接合方法)
※埋心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種)	◎B形(ゴム接合)
◎硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU	
・リリカ硬質ポリ塩化ビニル管	※RS-VU ・RS-VP	

形状、寸法 ※図示

側溝、排水脚及びふた 形状、寸法 ※図示 (21,2,1)

鋼鉄製マンホールふた (21,2,1(e))

種 類	種 類				形状寸法(○)	施工箇所
	・T-2用	・T-6用	・T-14用	・T-20用		
・木封形						
・密閉形(テーパー付)						
・簡易密閉形(バックキン式)						
・中ふた付密閉形						
・断熱型						

グレーチングふた (21,2,1(f))

材 質	形 式	種 類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状	
					※細目	※凹凸形
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※普通目	※凹凸形	
・SUS製	・ポルト固定 ※無し ・図示	・かさ上げ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	・凹凸形	

床化粧マンホールふた

種 類	安全荷重 kN
・簡易密閉形(バックキン式) ・密閉形(ポルト・バックキン式)	・50 ・15

インターロッキング用化粧マンホールふた

種 類	安全荷重 kN
◎簡易密閉形(バックキン式) 花崗岩仕上	◎60

地盤の材料 ※21,2,1(g)による (21,2,1(g))
コンクリート ※6章14節による(設計基準強度18N/mm²) (21,2,1(h))
凍上抑制層 ※砂 (21,2,1(j))
増戻し土 表3,2,1 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G (21,2,1(m))

管路敷設の工法 (21,2,2)

※21章2節21,2,2施工による ※図示
上記以外の地盤

遠心力鉄筋コンクリート管 厚さ ・ mm 種類 (21,2,2(g))
硬質ポリ塩化ビニル管 厚さ ・ mm 種類 (21,2,2(h))
※マンホールなどのコンクリート構造物に接続する場合は構造物から1m以内に
ゴム輪接合部を設ける (21,2,2(h)(4))

3. 街きよ、縁石及び側溝

縁石の形状 ※図示 ・材料 ・寸法 ・形状 (21,3,1(a)) (表21,3,1)
側溝の形状 ※図示 ・材料 ・寸法 ・形状 (21,3,1(a)) (表21,3,1)
側溝の蓋

種別	形状・寸法	強度	設置箇所
・鋼鉄板			
・PC板			
・グレーチング			
・鋼鉄製			

コンクリート ※6章14節による(設計基準強度18N/mm²) (21,3,1(b))
地盤の材料 ※4,6,2(a)による (21,3,1(c)) (表4,6,2(a))
砂利地盤の厚さ ※100 (21,3,2(a))



22章 舗装工事																																				
1. 路床	<p>・盛り土用材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土③ (22,2,3(a))表2,3(1)</p> <p>・凍上抑制層 材料 ・砂 ・火山灰 ・火山礫 ・切込み砂利 (22,2,2(a)(1))(22,2,3(b)) 厚さ ・mm</p> <p>・透水性舗装に用いるフィルター層 (22,2,2(a)(2)) 材料 ・砂 ・火山灰 ・火山礫 ・切込み砂利 (22,2,3(a))(21,2,1(j)) 厚さ ・mm</p> <p>・路床安定処理 方法 ※添加材料による安定処理 (22,2,3(c))表22,2(1) 材料 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)</p> <p>添加量 ・kg/m³ 厚さ 300mm(目標CBR 5以上) (22,2,2(a)(3)) ・ジオテキスタイル 品質 (22,2,3(c)(2))</p>																																			
2. 路盤	<p>路盤 厚さ ※図示 (22,3,2(a)) 材料 ・クラッシュラン (22,3,3(a))表22,3(1) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ◎再生クラッシュラン◎</p>																																			
3. アスファルト舗装カラー舗装	<p>舗装の構成、厚さ、仕上がり (22,4,2(a))(22,5,2(a))表22,5(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎アスファルト舗装</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・加熱系</td> <td>・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・樹脂系混合物 ・ニート工法 ・ゴムチップ混合物(弾性) ・スラリー混合物 ・塗布工法</td> </tr> </tbody> </table> <p>カラー舗装用材料 原料 ※無機系 ・有機系 (22,6,3) 着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂皮覆)</p> <p>カラー舗装厚さの許容差 ※22,4,2(c) (22,6,2(c)) 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22,4,2(d)) アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22,4,3)</p> <p>再生加熱アスファルト混合物及び加熱アスファルト混合物の種類 (22,4,4)表22,4(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>※寒冷地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> </tbody> </table> <p>骨材 ※JIS A5001によるもの (22,4,3(c)(1)) ・アスファルトコンクリート再生骨材◎ ・再生クラッシュラン◎ ・道路用鉄鋼スラグ◎</p> <p>シールコート ※行わない ・行う(施工範囲) (22,4,5(a)) カラー舗装の配合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の原料の添加量 (22,6,4(a)(2)) ・常温系工法の配合その他 ※図示 (22,6,4(b))</p>	舗装の種類	厚さ	◎アスファルト舗装	※図示	・カラー舗装	※図示	・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・常温系	・樹脂系混合物 ・ニート工法 ・ゴムチップ混合物(弾性) ・スラリー混合物 ・塗布工法	区分	※一般地域	※寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・細粒度アスファルト混合物(13)																	
舗装の種類	厚さ																																			
◎アスファルト舗装	※図示																																			
・カラー舗装	※図示																																			
・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物																																			
・常温系	・樹脂系混合物 ・ニート工法 ・ゴムチップ混合物(弾性) ・スラリー混合物 ・塗布工法																																			
区分	※一般地域	※寒冷地域																																		
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																		
	・細粒度アスファルト混合物(13)																																			
4. コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装の構成及び厚さ 車道部 ※150mm (22,5,2(a)) 歩道部 ※70mm</p> <p>寒冷地の縁部立下がり寸法 (22,5,2(a)) コンクリート舗装に使用するコンクリート ※6章14節による (22,5,3(a))表22,5(1) 転圧コンクリート舗装に使用するコンクリート (22,5,3(a)) ・設計基準強度 N/mm² ・所要スランプ cm</p> <p>冬期施工での早強セメントの使用 ※使用しない ・使用する (22,5,3(b)) 注入目地材料 ※加熱施工式低弾性タイプ (22,5,3(4))表22,5(3) ・加熱施工式高弾性タイプ</p> <p>コンクリート目地 種類 ・間隔 ※表22,5,3 (22,5,4(a)) 構造 ※図22,5,1</p> <p>コンクリート版の厚さ試験(コア採取) ※行わない ・行う (22,5,6(a))</p>																																			
5. 透水性アスファルト舗装	<p>舗装の厚さ ※図示 ・30mm (22,7,2(a)) 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないこと (22,7,2(b)(2))</p>																																			
6. ブロック系舗装	<p>・コンクリート平板舗装 (22,8,3(a))(22,8,2(a)(1))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 mm</th> <th>厚さ mm</th> <th>目地材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通平板(N) ・カラー平板(O)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・流出平板(M) ・縦石平板(S)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎インターロッキングブロック舗装 (22,8,3(b))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ mm</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック(N-) 車道部 ※80</td> <td>・</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック(P-) 歩道部 ※60</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・植生用ブロック(G-) ※80</td> <td>・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者誘導用ブロック</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>製造所 (製品名:)</p> <p>◎鋪石舗装 (22,8,3(c))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ mm</th> <th>施工方法</th> <th>規格品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※小鋪石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>◎図示</td> <td>※2等品</td> </tr> </tbody> </table> <p>ブロック系舗装の仕上がり面の平坦性 (22,8,2(b)) ※歩行に支障となる段差がないこと。舗装材間の段差3mm以内とする。</p> <p>ジオテキスタイルの適用 ・適用する(品質) (22,8,3(f)) ・適用しない</p>	種類	寸法 mm	厚さ mm	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(O)	※300角	※60	※砂	・流出平板(M) ・縦石平板(S)			・モルタル	種類	厚さ mm	色彩及び表面加工等	※普通ブロック(N-) 車道部 ※80	・	※標準品	・透水性ブロック(P-) 歩道部 ※60	・	・	・植生用ブロック(G-) ※80	・100		・視覚障害者誘導用ブロック			種類	厚さ mm	施工方法	規格品	※小鋪石(花こう岩)	※80~100	◎図示	※2等品
種類	寸法 mm	厚さ mm	目地材																																	
※普通平板(N) ・カラー平板(O)	※300角	※60	※砂																																	
・流出平板(M) ・縦石平板(S)			・モルタル																																	
種類	厚さ mm	色彩及び表面加工等																																		
※普通ブロック(N-) 車道部 ※80	・	※標準品																																		
・透水性ブロック(P-) 歩道部 ※60	・	・																																		
・植生用ブロック(G-) ※80	・100																																			
・視覚障害者誘導用ブロック																																				
種類	厚さ mm	施工方法	規格品																																	
※小鋪石(花こう岩)	※80~100	◎図示	※2等品																																	

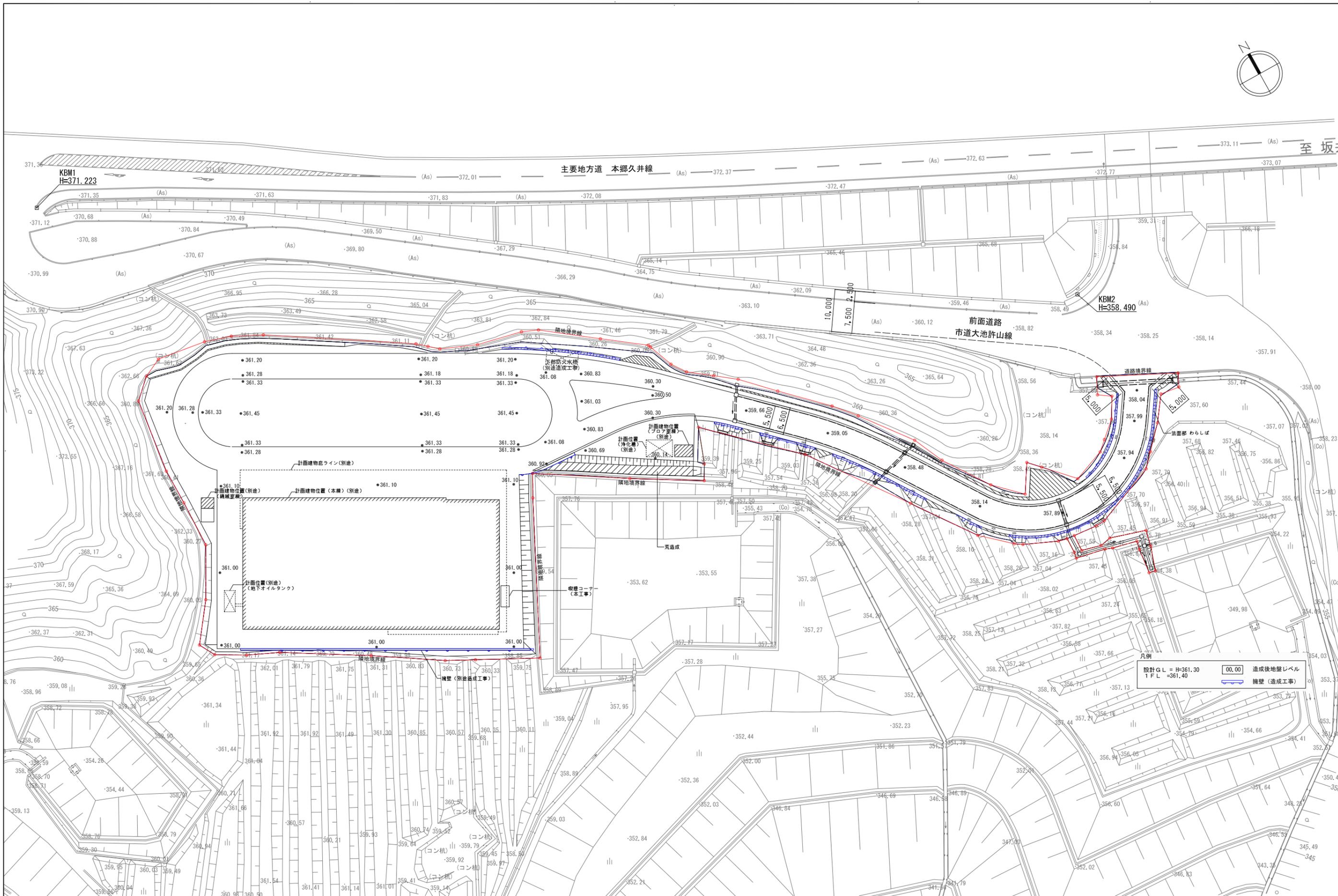
7. 砂利敷き	<p>砂利敷き使用材料、種別 (22,9,2)表22,9(1)</p> <p>通路 ※A種 ・材料 建物周囲その他 ※B種 ・材料</p>																
8. 区画線	<p>材料 ・路面表示用塗料(トラフィックペイント、JIS K 5665)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>・1種(常温)</th> <th>・2種(加熱)</th> <th>※3種(溶融)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規格</td> <td>※1号 ・2号</td> <td>※1号 ・2号</td> <td>※1号 ・2号</td> </tr> </tbody> </table> <p>色彩 ※白色 ・黄色 ライン引きの幅 ※150mm ・図示 塗布厚さ ※1.0mm</p>	種別	・1種(常温)	・2種(加熱)	※3種(溶融)	規格	※1号 ・2号	※1号 ・2号	※1号 ・2号								
種別	・1種(常温)	・2種(加熱)	※3種(溶融)														
規格	※1号 ・2号	※1号 ・2号	※1号 ・2号														
9. 車止め	<p>材料 ※図示 ・ 形状 ※図示 ・ 寸法 ※図示 ・ 数量 ※図示 ・</p>																
10. 性能試験	<p>(22,2,5(a)(b)(c)(d))(22,3,5)(22,4,6(c))(22,7,6(c))表22,4(6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験の方法・摘要</th> <th>試験箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路床土の支持力比(CBR)試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・行う(※乱した土 ・乱さない土) ・行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床締固め度の試験</td> <td>※行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>路盤締固め度の試験</td> <td>※行う</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物の抽出試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装 ・行う ※行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性舗装 ・行う ※行わない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験の方法・摘要	試験箇所	路床土の支持力比(CBR)試験		・行う(※乱した土 ・乱さない土) ・行わない		路床締固め度の試験	※行う ・行わない	路盤締固め度の試験	※行う	アスファルト混合物の抽出試験		・アスファルト舗装 ・行う ※行わない		・透水性舗装 ・行う ※行わない	
試験の方法・摘要	試験箇所																
路床土の支持力比(CBR)試験																	
・行う(※乱した土 ・乱さない土) ・行わない																	
路床締固め度の試験	※行う ・行わない																
路盤締固め度の試験	※行う																
アスファルト混合物の抽出試験																	
・アスファルト舗装 ・行う ※行わない																	
・透水性舗装 ・行う ※行わない																	

23章 植栽工事																					
1. 植栽基礎整備	<p>※行う ・行わない (23,2,2)(23,2,3)(23,2,4)表23,2(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹高</th> <th>有効土層の厚さ cm</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・12m以上</td> <td>※100 ・120 ・150</td> <td>※A種</td> <td>※植込み部分</td> </tr> <tr> <td>・7~12m</td> <td>※80 ・100</td> <td>・B種</td> <td>・葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・3~7m</td> <td>※60 ・80</td> <td>・C種</td> <td>(植高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>・3m以下</td> <td>※50 ・60</td> <td>・D種</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>・芝、地被類 ※20 ※B種・C種・D種 ※植栽範囲</p> <p>注)工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>雨水排水の工法 ※図示 ・暗きょ ・開きょ ・排水層 (23,2,2(c)) ・縦穴排水</p>	樹高	有効土層の厚さ cm	工法	整備範囲	・12m以上	※100 ・120 ・150	※A種	※植込み部分	・7~12m	※80 ・100	・B種	・葉張りの範囲	・3~7m	※60 ・80	・C種	(植高7m以上)	・3m以下	※50 ・60	・D種	・図示
樹高	有効土層の厚さ cm	工法	整備範囲																		
・12m以上	※100 ・120 ・150	※A種	※植込み部分																		
・7~12m	※80 ・100	・B種	・葉張りの範囲																		
・3~7m	※60 ・80	・C種	(植高7m以上)																		
・3m以下	※50 ・60	・D種	・図示																		
2. 材料	<p>植込み用土 ◎現場発生土の良質土 (23,2,3(a)) ◎客土 種類 ※畑土 ・黒土 範囲 ※植込み部分 ◎図示</p> <p>土壌改良材 適用 ※する ・しない (23,2,2(e))(23,2,3(b)) 種別 ◎バーク堆肥◎ ・発酵下水汚泥コンポスト◎ 施工範囲 ※植込み部分 ◎図示</p>																				
3. 植栽	<p>支柱の形状 ※図示 ・派え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形 (23,3,3(4)) ・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形</p> <p>材料 ※杉焼丸太(園伏材)◎ ・竹 ・金属 ・ワイヤー(防錆処理品)(23,3,2(c)) ・加圧防腐処理丸太</p> <p>支柱の耐風強度 ※風速30m/s程度に充分耐える強度とする。 (23,3,2(4)) 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも</p> <p>新植樹木の枯損償の枯損処理の期間 (23,3,4) ※引渡しの日から1年間</p> <p>移植樹木の枯損償の枯損処理の期間 (23,3,6) ※引渡しの日から1年間</p>																				
4. 芝張り、吹付けは種及び地被類	<p>・芝の種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23,4,2(a)) 芝張り工法 平地 ※目地張り (23,4,3(a)) 法面 ※べた張り</p> <p>客土 ※行わない ・行う(※畑土 ・黒土) (23,4,2(c)) ・吹付けは種 種子の量 ※25 g/m² 種子の種類 ※洋芝類</p> <p>被覆養生 ・行う ・行わない (23,4,2(4)) ・地被類 樹種 ・芽立数 ・コンテナ径 ・ コンテナ数 ・ /m²</p>																				
5. 屋上緑化◎	<p>屋上等の植栽 (23,5,1) 植栽基礎 ・屋上緑化システム (23,5,2(a)) 土壌層の厚さ cm ・図示 ※防水保護層</p> <p>排水層 ・屋上緑化軽量システム (23,5,3(a)(3)) ・軽量骨材(厚さ mm) ・板状成形品</p> <p>植栽工法 ※耐風圧性能 (23,5,4) 性能値 ※建築基準法施行令第22条の5及び建設告示第1458号に定められた風圧力に対して安全であること。</p> <p>耐風圧対策 ・ 見切り材 ※図示 (23,5,3(e)) 舗装材 ※図示 排水孔 ※図示 マルチング材 ※図示 (23,5,3(e)) 支柱 ※図示 (23,5,4(e)) 自動灌水 ・行う(※図示) ・行わない (23,5,4(f))</p>																				
6. 性能試験	<p>土壌の水素イオン濃度指数(pH)及び電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない(23,1,3(a))</p>																				
7. 既存樹林調査	<p>・行う(樹勢、根回り) ・行わない</p>																				

24章 ゴンドラ設備工事	
1. 設置目的	<p>※外壁清掃用、点検及び補修等</p> <p>・その他の目的 ()</p>
2. 種別	<p>形式 ・電動式台車型アーム俯仰型 ・電動式台車型アーム固定型</p> <p>走行方式 ・軌道式 ・片軌道式 ・無軌道式</p>
3. 仕様	<p>ゲージ積載重量 ・ N/台 サクシオンファン ・あり ・なし</p>
4. 安全性	<p>耐風圧性能 作業時風速 ※水平方向16m/s 垂直方向8m/s 格納時風速 ・風圧力 ※建築工事特記仕様書(1)の気象条件による</p> <p>耐震性能 ※水平加速度1.0G(作業時、格納時共) 風速計 ※設置する</p>
5. 材料、仕上げ	<p>ゴンドラ本体 ・鋼板焼付塗装 ・ ゲージ ・鋼板焼付塗装</p> <p>レール ※溶接部亜鉛めっきA種 ・塗装() ※走行部の処理は適切に行う ・下階への騒音対策()</p>
6. 避雷設備	<p>避雷設備 ・あり ・なし</p>
7. 規格基準	<p>※ゴンドラの構造及び安全装置は以下の法令等に適合すること 「労働安全衛生法・同施工及び規則」 「ゴンドラ安全規則(厚生労働省令を含む)」 「ゴンドラ構造規格(厚生労働省告示)」 「その他の関係法令等」</p>
8. 製造の許可及び検査、届出	<p>※製造所は設計図書に示されたゴンドラの製造及び労働安全法に關し、所轄の都道府県労働安全局長の製造許可・製造検査を受け、検査済証の交付を受ける。また、労働安全法による設置届けを監督官の指示により行う</p>
9. 承認	<p>※工事着手前に施工計画書・旅行図・製作図を作成し、監督官の承認を得る</p>
10. 調整試験・検査報告	<p>※据付完了後の試験運転調整及び工事完了時の試験及び検査の計画書を作成し、その試験報告書を監督官に提出する</p>

V. 建築工事指定業者及びメーカーリスト・参考品番		
工事区分	材料・施工部門	製造所名及び施工業者名
石工事	花こう岩類・大理石	関ヶ原石材、矢橋大理石、安藤大理石、和田大理石北陸
金属工事	製作金物	三和タジマ、井上定、新高製作所、日新建材
ユニット及びその他の工事	サイン・看板	日本サイン、コアキューブ
囲障工事	受水槽置場フェンス	朝日スチール工業/UNフェンスA型
囲障工事	門扉	ヒガノ
排水工事		東洋ヒューム管
舗装工事		
植栽工事		
※メーカー及び品番については、上記リスト同等以上のものとする		

 <p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants</p>	設計者		法適合確認欄		検査者		三原市新斎場建設工事(外構工事)		設計番号	図面番号
	第25252号	第291746号	第35684号					158918	G - 010	
小林 直彦	難波 壮一	両口 猛				外山 博文	建築工事特記仕様書(9)		縮尺	日付
									1/	2011.1.28

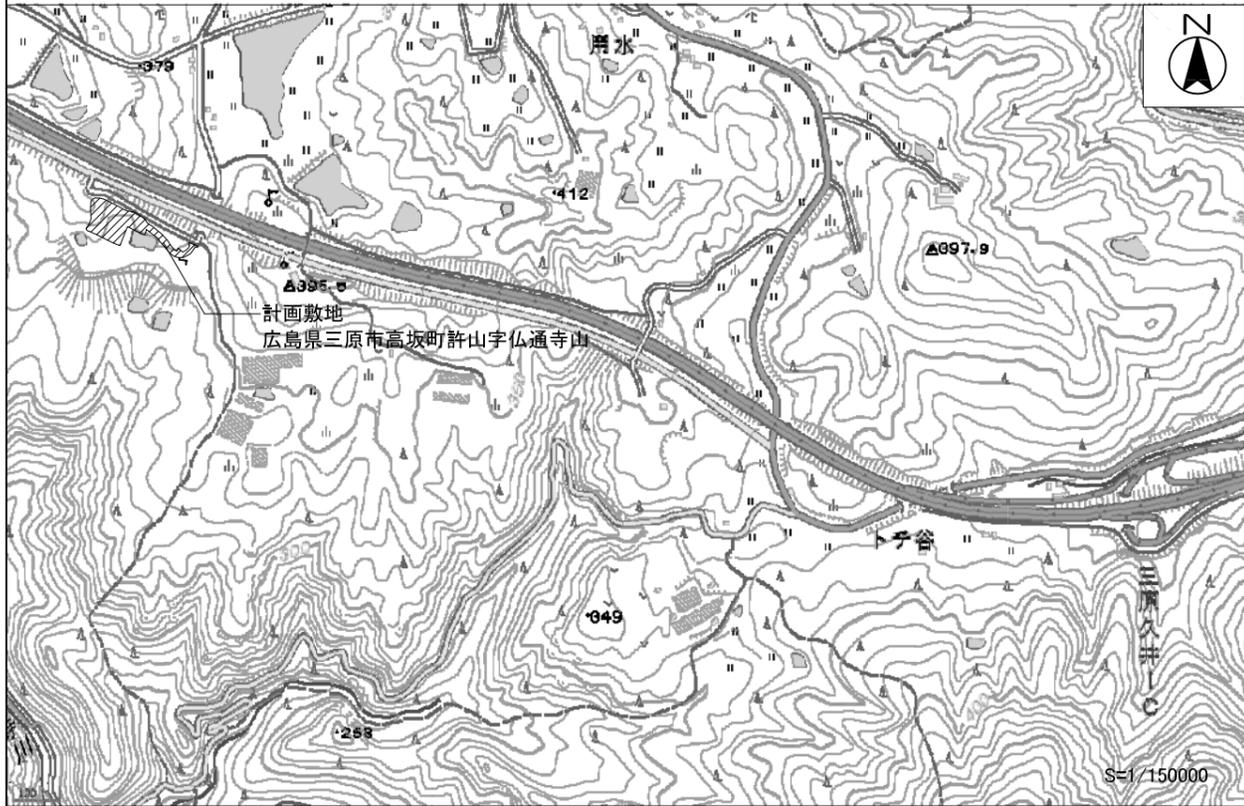


設計GL = H=361.30
 1FL = 361.40
 00.00 造成後地盤レベル
 擁壁 (造成工事)



設計者			法適合確認欄	検証者	三原市新斎場建設工事 (外構工事)	設計番号	図面番号
一級建築士 第25252号 小林 直彦	一級建築士 第29174号 難波 壮一	一級建築士 第35684号 両口 猛		外山 博文		158918	G - 011
敷地現況図					縮尺	日付	N°
					1/11:400 A3:800	2011.1.28	

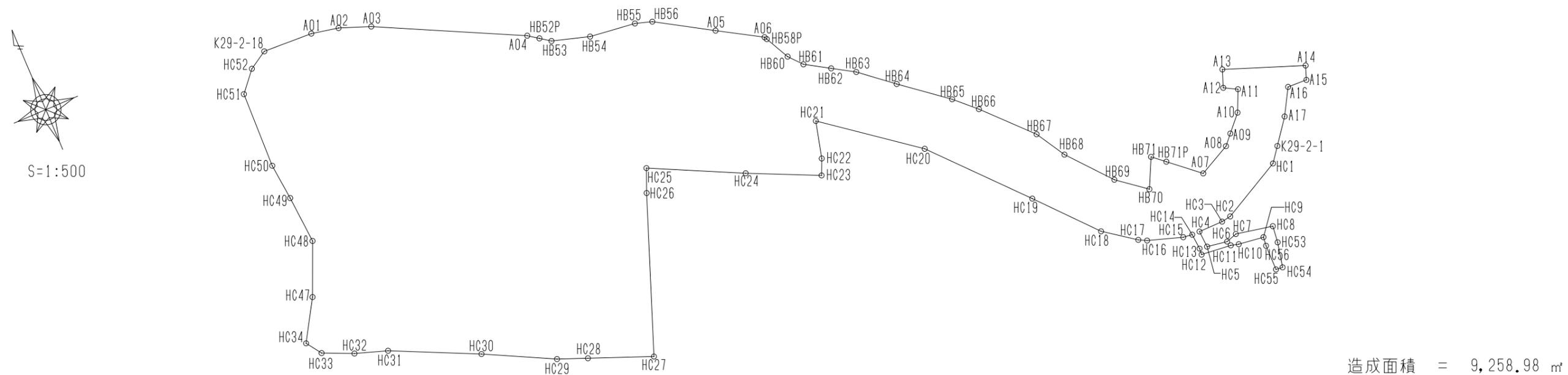
付近見取図

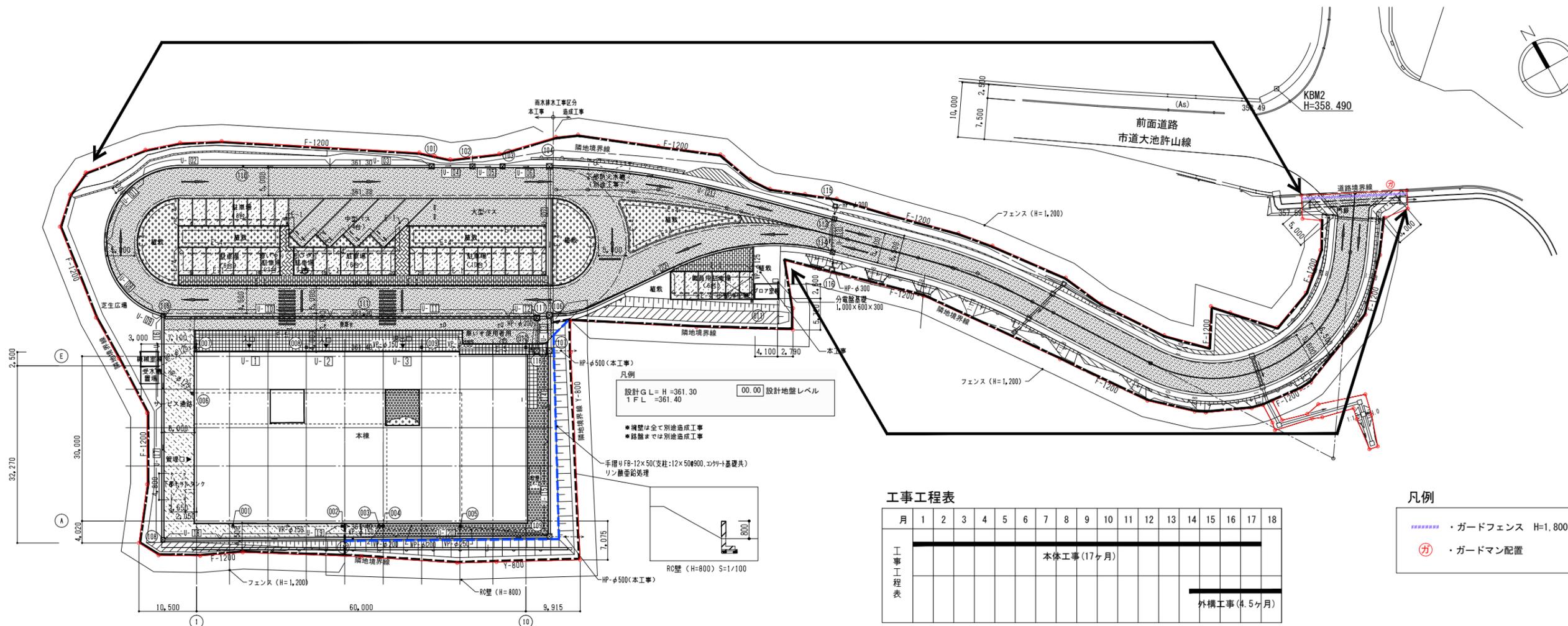


敷地求積表

点名	X座標	Y座標	Xn · (Yn+1 - Yn-1)	距離	点名	X座標	Y座標	Xn · (Yn+1 - Yn-1)	距離
K29-2-1	-169535.537	79303.588	1137583.453269	4.164	HC50	-169448.952	79087.893	78285.415824	17.804
HC1	-169538.862	79301.081	2780606.875662	15.744	HC51	-169431.153	79088.323	-750071.714333	6.157
HC2	-169546.267	79287.187	2728677.621100	2.232	HC52	-169426.469	79092.320	-1390991.310489	4.943
HC3	-169546.648	79284.987	1339588.065850	5.701	K29-2-18	-169423.883	79096.533	-2680963.524591	11.620
HC4	-169546.713	79279.286	923690.492422	3.921	A01	-169424.353	79108.144	-3036253.830113	6.437
HC5	-169550.626	79279.539	-841310.206214	4.765	A02	-169425.627	79114.454	-2269286.848038	7.564
HC6	-169551.356	79284.248	-1229416.882354	2.676	A03	-169428.281	79121.538	-6684962.255137	36.123
HC7	-169550.518	79286.790	-1886079.962231	8.744	A04	-169444.311	79153.910	-5882767.589297	2.875
HC8	-169552.198	79295.372	-1382019.965900	3.891	HB52P	-169445.974	79156.256	-792668.266372	2.857
HC53	-169556.066	79294.941	278071.948240	5.894	HB53	-169447.626	79158.588	-1855790.399953	8.989
HC54	-169561.835	79293.732	475112.261672	1.599	HB54	-169450.178	79167.208	-3275810.841095	10.785
HC55	-169561.686	79292.139	266890.093765	5.928	HB55	-169451.435	79177.920	-2472126.985216	4.052
HC56	-169555.758	79292.158	-42219.383744	2.075	HB56	-169452.614	79181.797	-2799557.183281	14.766
HC9	-169553.695	79292.388	960521.682174	5.940	A05	-169460.244	79194.440	-3808449.523654	11.429
HC10	-169552.958	79286.493	1306066.435475	1.868	A06	-169466.073	79204.271	-1718216.514146	0.677
HC11	-169552.485	79284.685	1498843.967399	7.064	HB58P	-169466.677	79204.579	-536700.966059	6.285
HC12	-169551.805	79277.653	1173298.490600	1.458	HB60	-169472.275	79207.438	-936842.736201	4.077
HC13	-169550.351	79277.765	33231.868798	3.630	HB61	-169475.358	79210.107	-1389697.935602	6.470
HC14	-169546.734	79277.457	414880.858098	2.157	HB62	-169478.716	79215.638	-1786644.624072	5.858
HC15	-169546.454	79275.318	1718353.311289	8.393	HB63	-169481.752	79220.649	-2123945.316063	9.754
HC16	-169543.900	79267.322	1663564.746801	2.045	HB64	-169487.964	79228.170	-3042139.465835	13.303
HC17	-169542.959	79265.506	1519274.455598	8.826	HB65	-169496.224	79238.598	-2580410.514176	6.590
HC18	-169537.777	79258.361	3192226.803133	17.609	HB66	-169500.745	79243.394	-2511153.537175	14.545
HC19	-169524.602	79246.677	5098113.355947	27.405	HB67	-169511.290	79253.413	-2389770.166420	7.974
HC20	-169504.282	79228.288	6620667.750637	25.990	HB68	-169518.142	79257.492	-2107449.541344	12.915
HC21	-169488.525	79207.618	3862982.461800	8.778	HB69	-169527.993	79265.845	-2535799.719294	8.400
HC22	-169497.043	79205.496	625444.088670	3.921	HB70	-169533.183	79272.450	-1674987.848041	7.491
HC23	-169500.637	79203.928	2971346.166610	17.562	HB71	-169526.445	79275.725	-1032076.997161	3.703
HC24	-169493.313	79187.966	6206845.122059	22.978	HB71P	-169528.854	79278.538	-1629850.402356	8.953
HC25	-169483.250	79167.308	3875742.961000	5.767	A07	-169534.678	79285.339	-2390438.959801	8.204
HC26	-169488.577	79165.098	2613344.368765	37.837	A08	-169530.932	79292.638	-1587826.709111	8.196
HC27	-169524.034	79151.889	4646314.723871	15.260	A09	-169528.636	79294.705	-929695.039823	10.397
HC28	-169518.443	79137.690	3535985.202536	7.157	A10	-169524.841	79298.122	-954255.329989	6.615
HC29	-169515.821	79131.030	3775286.849492	17.492	A11	-169519.894	79300.334	134598.795838	5.815
HC30	-169507.929	79115.419	5967526.640445	21.620	A12	-169518.273	79297.328	260549.585600	4.249
HC31	-169498.790	79095.825	4574941.840889	7.791	A13	-169514.285	79292.638	-3311970.100330	19.266
HC32	-169496.342	79088.428	2432442.004041	7.600	A14	-169520.972	79316.866	-2871685.265678	3.329
HC33	-169493.275	79081.474	1588321.480025	4.234	A15	-169524.104	79315.737	960523.573264	4.539
HC34	-169489.798	79079.057	-529994.598345	10.794	A16	-169523.943	79311.200	1347037.251077	6.871
HC47	-169480.536	79084.601	-1799883.292319	12.975	A17	-169529.909	79307.791	1290461.667307	7.024
HC48	-169468.595	79089.677	-709056.601481	11.186	借面積			18517.964304	
HC49	-169457.444	79088.785	302312.080096	8.538	面積			9258.982152	
					地積			9258.98	

敷地求積図





設計GL = H = 361.30
1 F.L. = 361.40

00.00 設計地盤レベル

● 構壁は全て別途造成工事
● 路盤までは別途造成工事

手摺りFB-12×50(支柱:12×50φ800,コンクリート基礎共)
リン酸亜鉛処理

RC壁 (H=800) S=1/100

HP-φ500(本工事)

工事工程表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
工事工程表	本体工事 (17ヶ月)																	
															外構工事 (4.5ヶ月)			

凡例

- ガードフェンス H=1,800
- ガードマン配置

■外構仕上げ凡例

記号	仕様
	アスファルト舗装 (9-21-1)路盤t=150 (路盤まで造成工事)
	アスファルト舗装 (9-21-1)路盤t=150
	アスファルト舗装 T-25 (路盤まで造成工事)
	アスファルト舗装 T-25
	インターロッキングブロック舗装 (一般部)
	インターロッキングブロック舗装 (車庫乗入れ対策部)
	コンクリート舗装
	玉砂利 (縦載計画図(1)化粧砂利敷A)
	花崗岩700×700 t=30 JB仕上(土間コンクリート、地業共)
	整地(植栽用)
	駐車スペースおよび止り止め 白線引きW=150
	緑石
	フェンス(H=1,200)
	構壁(別途造成工事)
	誘導・注意喚起用床材
	トラフィックペイント
	内数値は地盤高さを示す

■雨水計画凡例

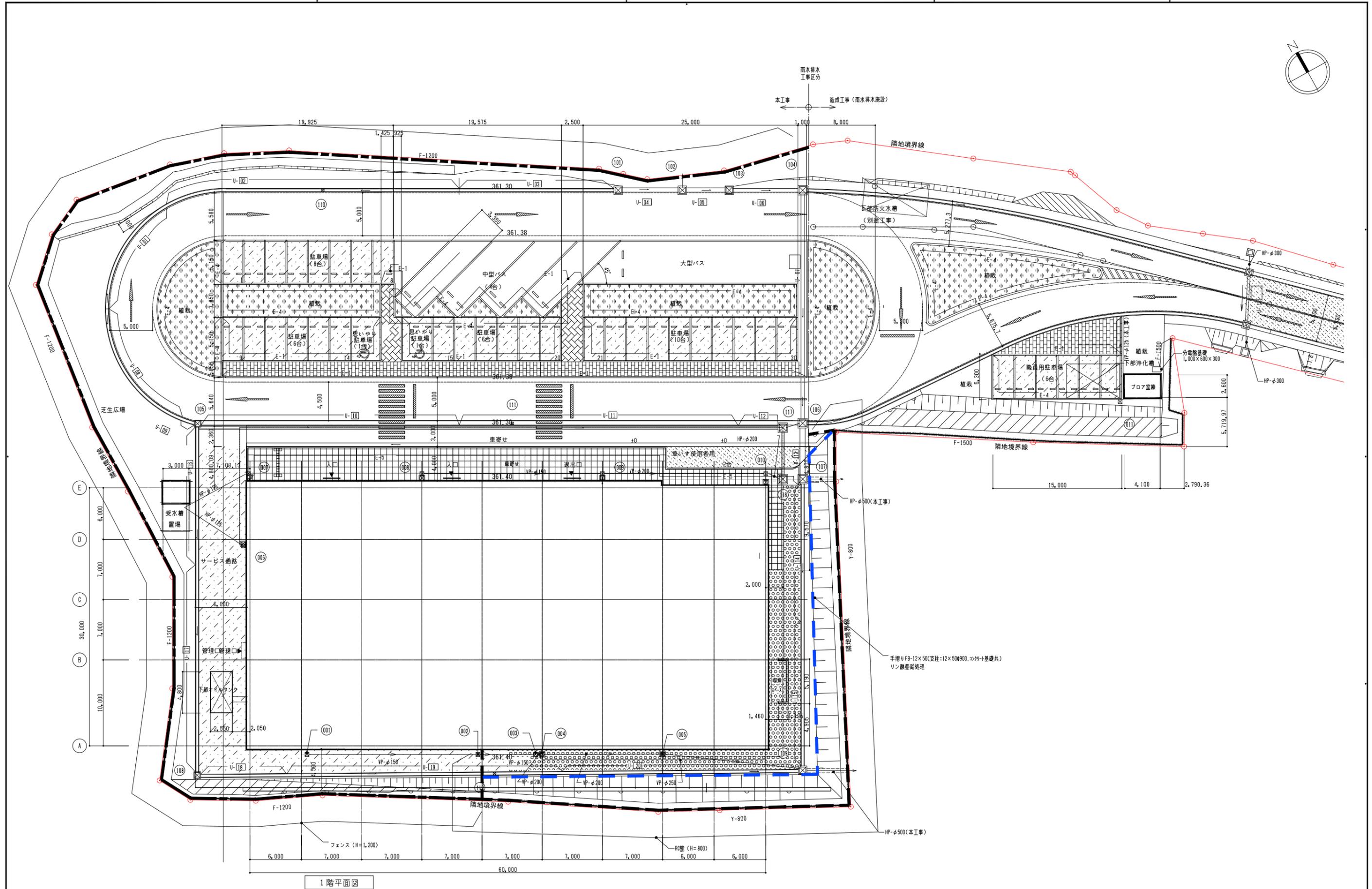
記号	仕様
	GU-W350 現場打ち側溝
	U型トラフ
	V型トラフ
	L型トラフ
	雨水排水管 V.P管 特記なき限り勾配1/200
	排水管 ヒューム管 特記なき限り勾配1/200
	コンクリート
	内数値は地盤高さを示す
	緑石
	RC壁(H=800)
	手摺りFB-12×50

■樹リスト

名称	種類	材質	荷重	地盤高さ (m)	管底 (mm)	樹の深さ (mm)	樹の大きさ	備考
001	一般会所	コンクリート	T-25	361.35	350	500	450角	
002	一般会所	コンクリート	T-25	361.35	475	625	450角	
003	一般会所	コンクリート	T-2	361.35	532	682	450角	
004	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-2	361.35	559	709	450角
005	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-2	361.35	350	500	450角
006	一般会所	コンクリート	T-25	361.35	350	500	450角	
007	一般会所	化粧蓋	SUS目地タイプ	T-6	361.40	350	500	450角
008	一般会所	化粧蓋	SUS目地タイプ	T-6	361.40	350	500	450角
009	一般会所	化粧蓋	SUS目地タイプ	T-6	361.40	483	633	450角
010	一般会所	化粧蓋	SUS目地タイプ	T-6	361.40	601	751	450角
011	一般会所	コンクリート	T-6	-	300	450	450角	
012	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	1150	600角
013	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	992	1200	600角
014	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	1200	600角
015	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	1051	1200	700角
016	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	600	600角
017	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	1185	1200	700角
018	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	650	500角
019	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	1850	600角
020	PU舗	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	600	300角
021	PU舗	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	800	300角
022	PU舗	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	361.30	-	800	300角
023	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	359.37	360	900	500角
024	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	359.32	600	1150	500角
025	一般会所	-	-	-	-	-	600	500角 別途造成工事
026	一般会所	-	-	-	-	-	700	500角 別途造成工事
027	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	-	1185	1200	700角
028	一般会所	ケレチンク	スチ-ル細目	T-25	-	1206	1450	700角

■側溝リスト

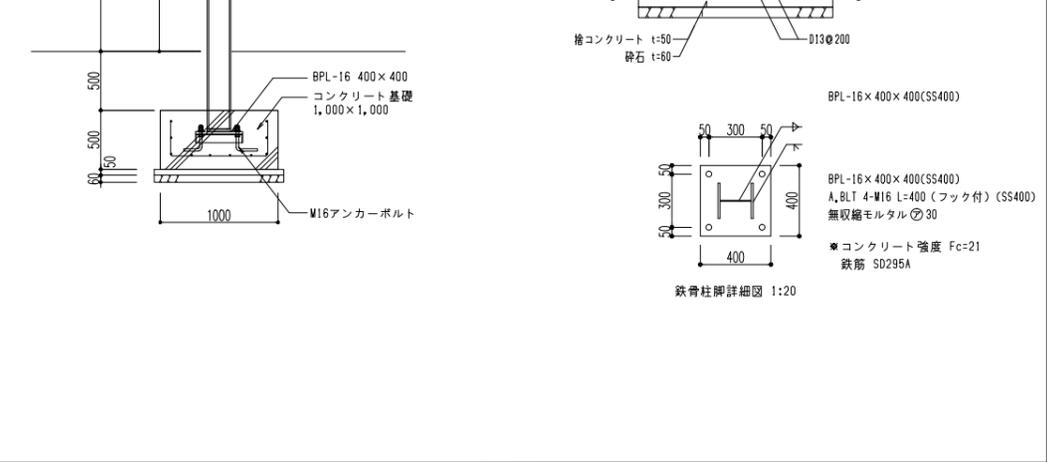
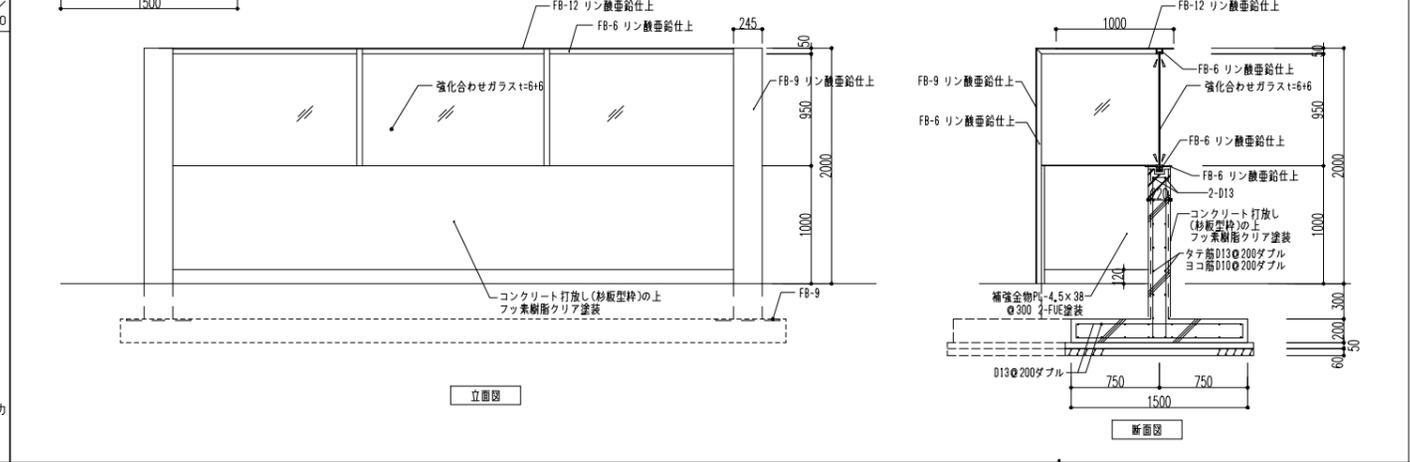
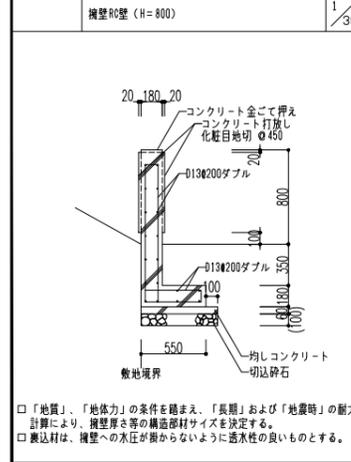
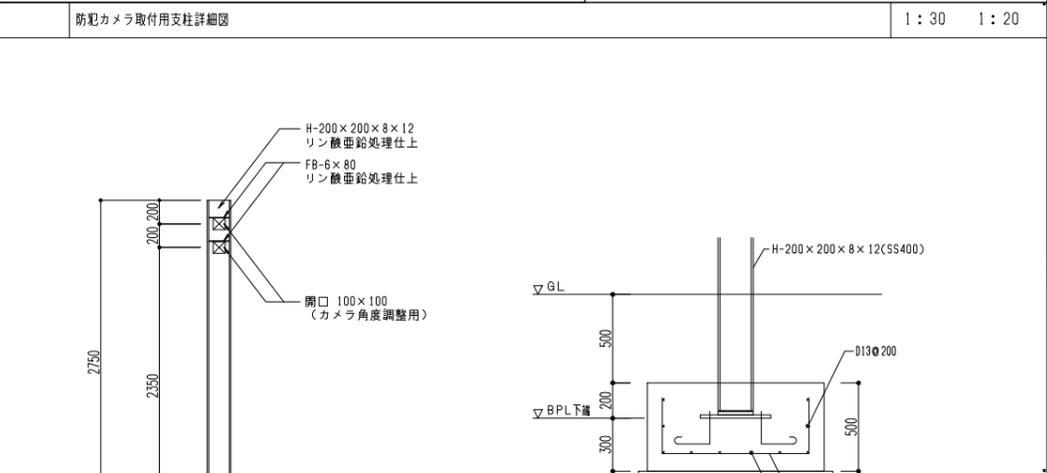
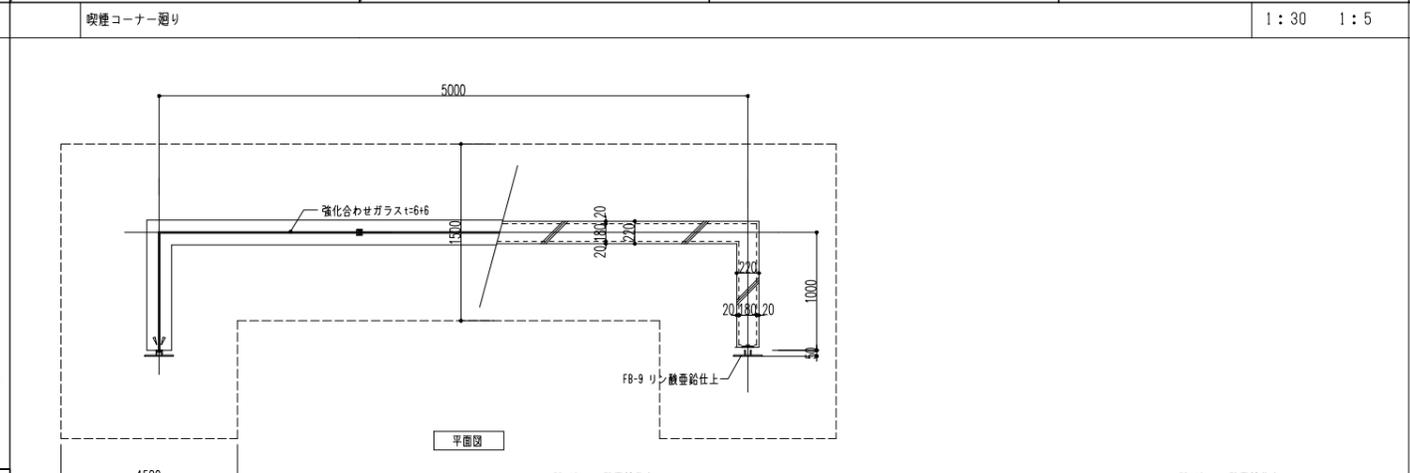
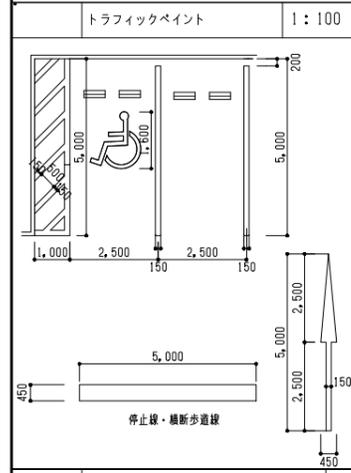
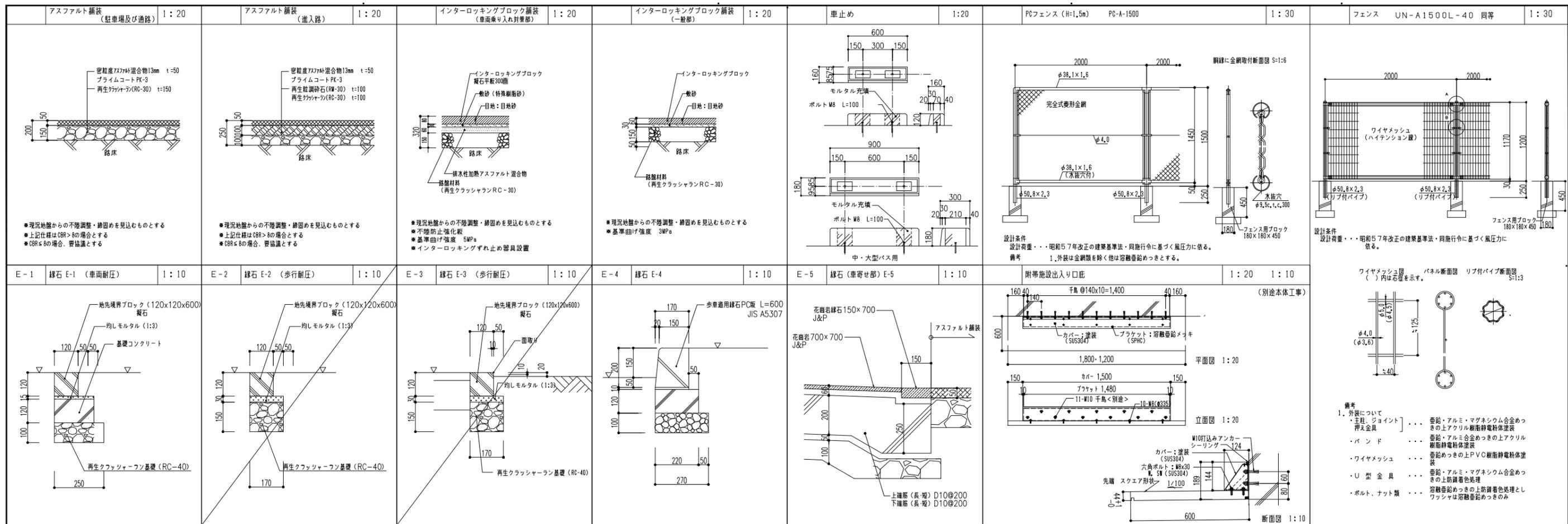
名称	種類	材質	W	荷重	地盤高さ (m)	側溝W (mm)	側溝深さ (mm)
U-01	U字溝W240	スリット蓋 ステンレス製	60	T-14	361.40	240	240
U-02	U字溝W240	スリット蓋 ステンレス製	60	T-14	361.40	240	240
U-03	U字溝W240	スリット蓋 ステンレス製	60	T-14	361.40	240	240
U-04	PU可変-300×400	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	400
U-05	PU可変-300×500	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	500
U-06	PU可変-300×600	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	600
U-07	VS-300×900(B)	コンクリート蓋 車道用	300	-	361.30	300	900~1000
U-08	VS-300×900(B)	コンクリート蓋 車道用	300	-	361.30	300	900~1000
U-09	VS-300×900(A)	コンクリート蓋 車道用	300	-	361.30	300	1050
U-10	重圧管500	-	-	-	-	φ500	-
U-11	PU可変-300×400	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×1枚	300	-	361.30	300	400
U-12	PU可変-300×500	コンクリート蓋	300	-	361.30	300	500
U-13	PU可変-300×500	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×5枚	300	T-25	361.30	300	500
U-14	PU可変-300×600	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×7枚	300	T-25	361.30	300	600
U-15	PU可変-300×700	コンクリート蓋	300	T-25	361.30	300	700
U-16	VS-300×1100	コンクリート蓋 車道用	300	-	361.30	300	1100
U-17	PU可変-300×400	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×1枚	300	-	361.30	300	400
U-18	PU可変-300×500	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	500
U-19	PU可変-300×400	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×1枚	300	-	361.30	300	400
U-20	PU可変-300×500	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	500
U-21	PU可変-300×600	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×3枚	300	-	361.30	300	600
U-22	PU可変-300×700	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋1m×2枚	300	-	361.30	300	700
U-23	PU-300×300	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋φ10m	300	-	360.91~359.37	300	600
U-24	PU-300×300	コンクリート蓋 ケレチンク'蓋φ10m	300	-	360.91~359.32	300	700

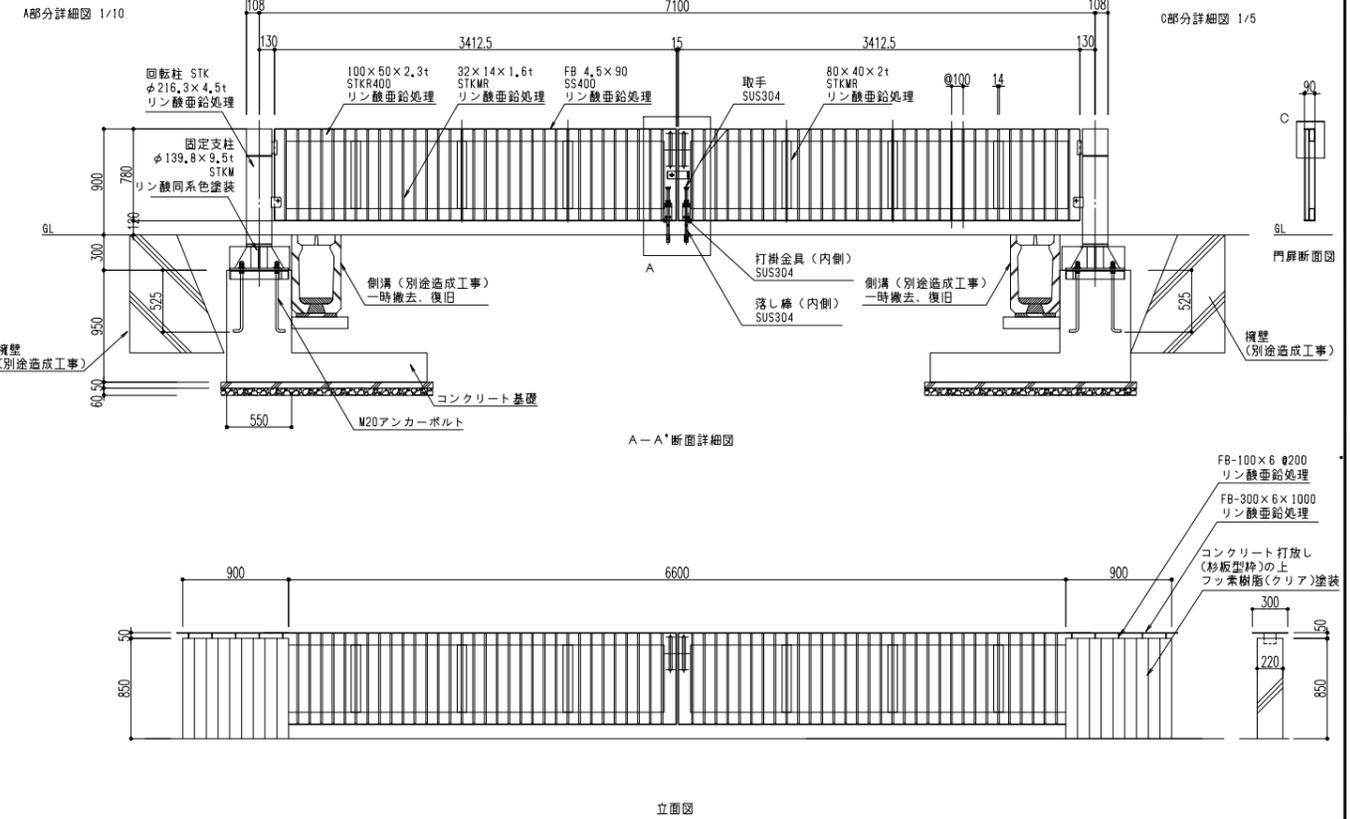
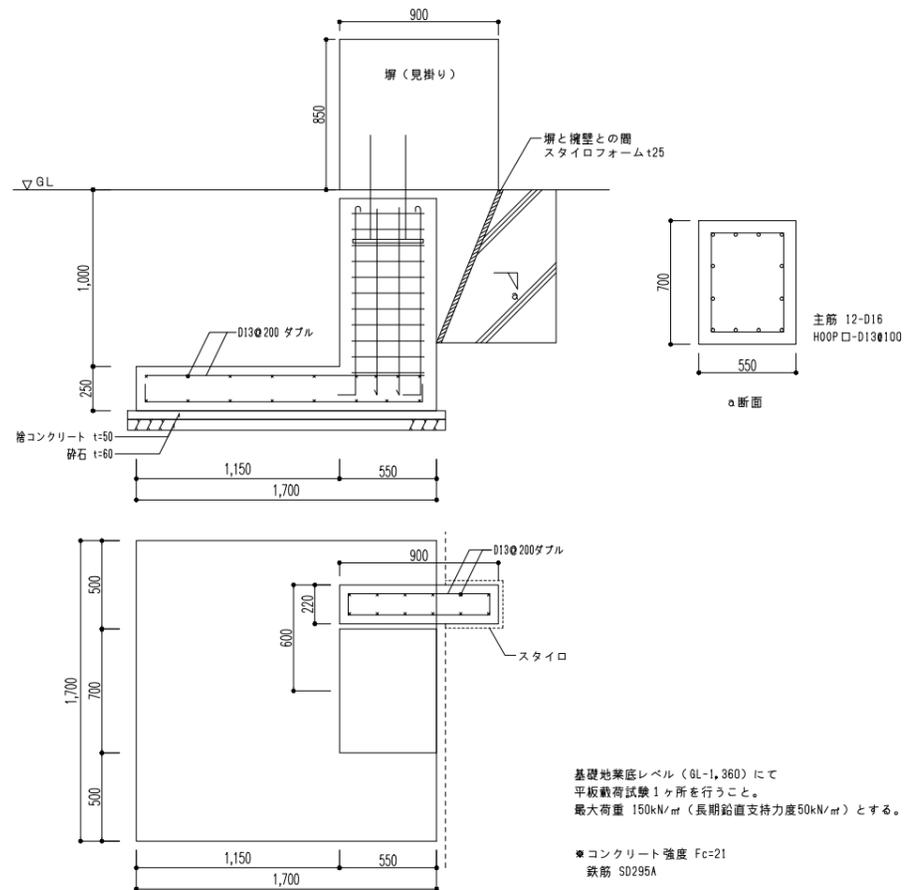
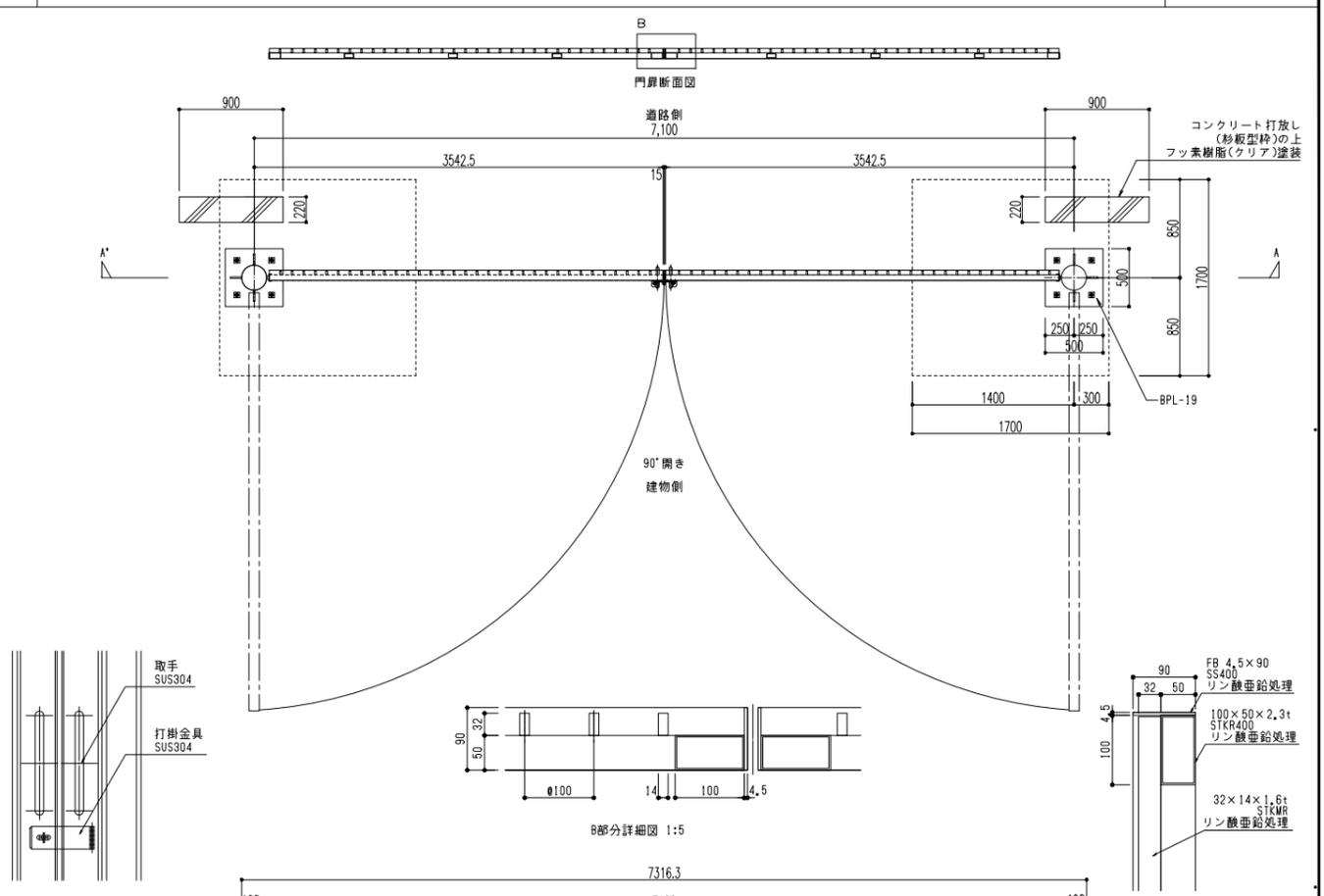
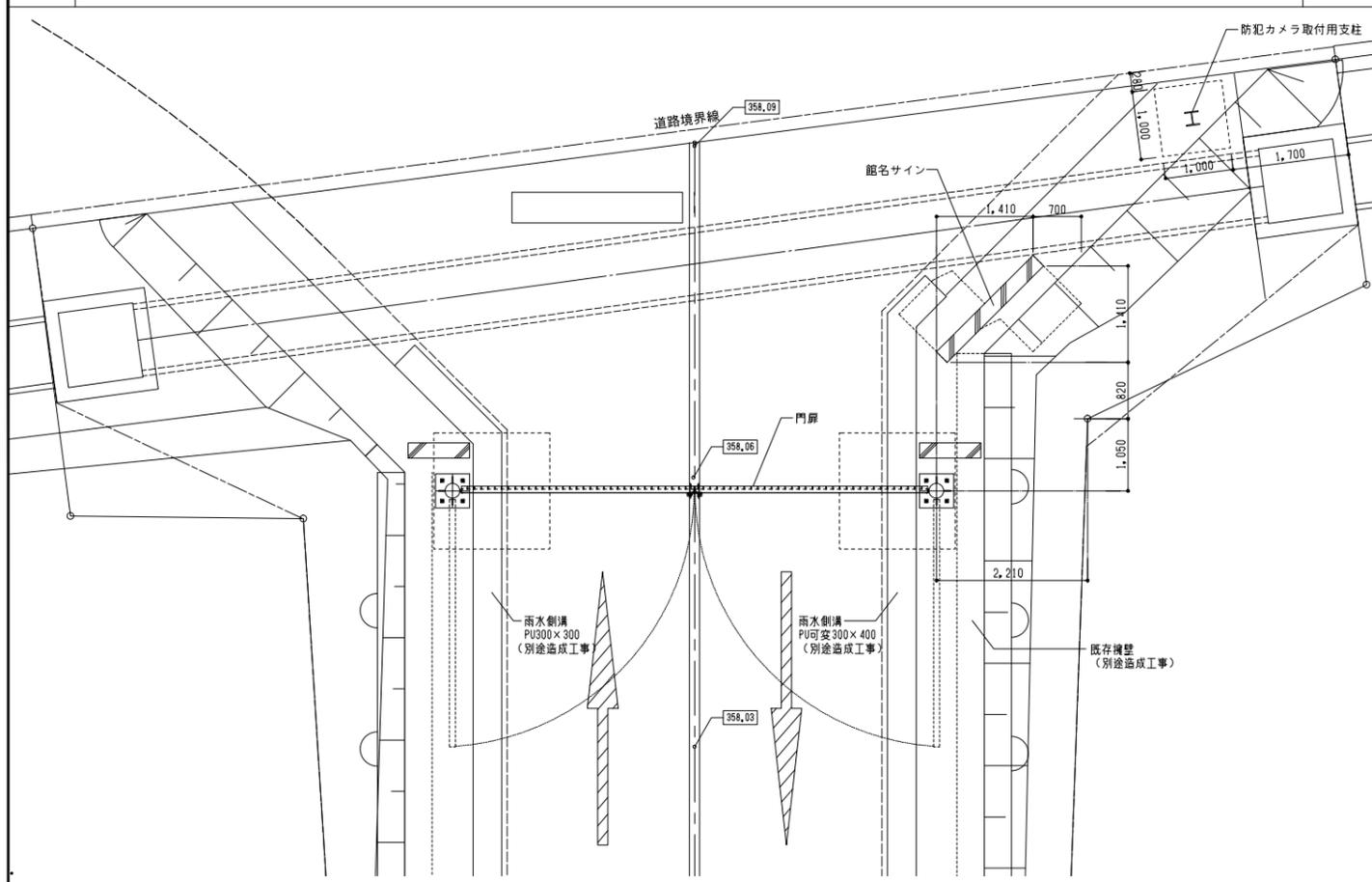


1階平面図

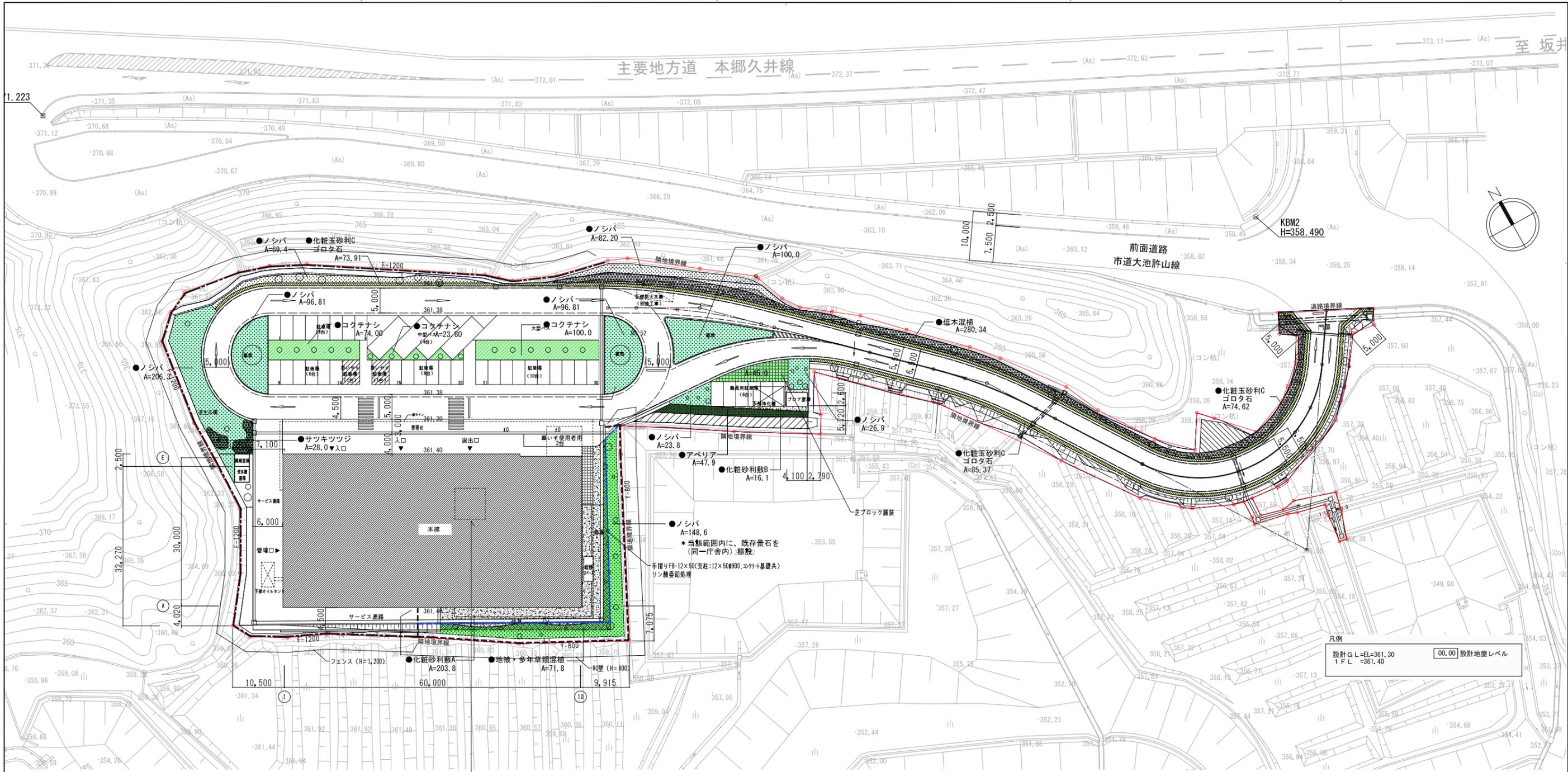


設計者			法適合確認欄	検査者	三原市新斎場建設工事 (外構工事)	設計番号	図面番号
一級建築士 第252552号 小林 直彦	一級建築士 第291746号 難波 壮一	一級建築士 第356884号 両口 猛		外山 博文		158918	G - 014
外構計画平面詳細図					縮尺	日付	No
					1/1:200 1/3:400	2017.11.28	

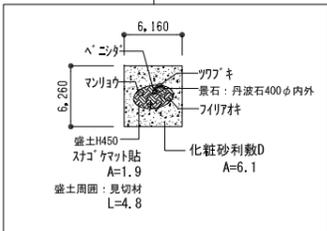




<p>PU-300×600 1:20</p>	<p>PU-300×800 1:20</p>	<p>PU-300×300 1:20</p> <p>※門扉西側既存側溝を示す 門扉施工時、折り一時撤去・復旧(範囲は、門扉基礎施工範囲)</p>	<p>PU可変-300×400 1:20</p> <p>※門扉東側既存側溝を示す 門扉施工時、折り一時撤去・復旧(範囲は、門扉基礎施工範囲)</p>	<p>PU可変-300×500A,B 1:20</p>	<p>PU可変-300×600 1:20</p>	<p>PU可変-300×700 1:20</p>	<p>HP200 1:20</p>																																																																																																																			
<p>HP300 1:20</p>	<p>HP500 1:20</p>	<p>VS-300×900(A) 1:20</p>	<p>VS-300×900(B) 1:20</p>	<p>VS-300×1100 1:20</p>	<p>VS-400×1100 1:20</p>	<p>重圧管300 1:20</p>	<p>重圧管500 1:20</p>																																																																																																																			
<p>一般会所(化粧蓋) 1:20</p> <p>(別途工事)</p>	<p>一般会所(グレーチング蓋) 1:20</p>	<p>一般会所(コガリト蓋) 1:20</p>	<p>集水柵 B500×500-H550~900(G) 1:20</p>	<p>集水柵 B500×500-H1100~1200(G) 1:20</p>	<p>集水柵 B600×600-H700 1:20</p>	<p>集水柵 B600×600-H1150~1850(G) 1:20</p>	<p>集水柵 B700×700-H1200~1450(G) 1:20</p>																																																																																																																			
<p>排水管 WS箱型巻立管 (セウム管) 1:20</p> <table border="1" data-bbox="118 1764 430 1879"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>D(mm)</th> <th>L(mm)</th> <th>B(mm)</th> <th>H(mm)</th> <th>T1(mm)</th> <th>T2(mm)</th> <th>L1(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150×2000</td> <td>230</td> <td>250</td> <td>50</td> <td>40</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>200×2000</td> <td>280</td> <td>300</td> <td>50</td> <td>40</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>250×2000</td> <td>340</td> <td>360</td> <td>55</td> <td>45</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>300×2000</td> <td>400</td> <td>420</td> <td>60</td> <td>50</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び	D(mm)	L(mm)	B(mm)	H(mm)	T1(mm)	T2(mm)	L1(mm)	150×2000	230	250	50	40	25			200×2000	280	300	50	40	25			250×2000	340	360	55	45	25			300×2000	400	420	60	50	30			<p>エントランススリット溝蓋付V字溝 1:10</p> <p>(別途工事)</p> <p>ステンレス製V字溝用スリット溝蓋(センタースリット) I14</p> <p>※カネソク VSWH-BC11-E 同等品以上</p>	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="1246 1701 1424 1837"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>550</td> <td>700</td> <td>494</td> </tr> <tr> <td>600</td> <td>750</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>650</td> <td>800</td> <td>594</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td>1050</td> <td>844</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	550	700	494	600	750	544	650	800	594	900	1050	844	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="1587 1764 1765 1858"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1150</td> <td>1300</td> <td>1094</td> </tr> <tr> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1144</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	1150	1300	1094	1200	1350	1144	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="2300 1764 2478 1879"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1150</td> <td>1300</td> <td>1094</td> </tr> <tr> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1144</td> </tr> <tr> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1294</td> </tr> <tr> <td>1450</td> <td>1600</td> <td>1394</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	1150	1300	1094	1200	1350	1144	1350	1500	1294	1450	1600	1394	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="2656 1795 2834 1900"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1144</td> </tr> <tr> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1294</td> </tr> <tr> <td>1450</td> <td>1600</td> <td>1394</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	1200	1350	1144	1350	1500	1294	1450	1600	1394	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="2656 1795 2834 1900"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1144</td> </tr> <tr> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1294</td> </tr> <tr> <td>1450</td> <td>1600</td> <td>1394</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	1200	1350	1144	1350	1500	1294	1450	1600	1394	<p>寸法表(mm)</p> <table border="1" data-bbox="2656 1795 2834 1900"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>H1</th> <th>h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1144</td> </tr> <tr> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1294</td> </tr> <tr> <td>1450</td> <td>1600</td> <td>1394</td> </tr> </tbody> </table>	H	H1	h	1200	1350	1144	1350	1500	1294	1450	1600	1394
呼び	D(mm)	L(mm)	B(mm)	H(mm)	T1(mm)	T2(mm)	L1(mm)																																																																																																																			
150×2000	230	250	50	40	25																																																																																																																					
200×2000	280	300	50	40	25																																																																																																																					
250×2000	340	360	55	45	25																																																																																																																					
300×2000	400	420	60	50	30																																																																																																																					
H	H1	h																																																																																																																								
550	700	494																																																																																																																								
600	750	544																																																																																																																								
650	800	594																																																																																																																								
900	1050	844																																																																																																																								
H	H1	h																																																																																																																								
1150	1300	1094																																																																																																																								
1200	1350	1144																																																																																																																								
H	H1	h																																																																																																																								
1150	1300	1094																																																																																																																								
1200	1350	1144																																																																																																																								
1350	1500	1294																																																																																																																								
1450	1600	1394																																																																																																																								
H	H1	h																																																																																																																								
1200	1350	1144																																																																																																																								
1350	1500	1294																																																																																																																								
1450	1600	1394																																																																																																																								
H	H1	h																																																																																																																								
1200	1350	1144																																																																																																																								
1350	1500	1294																																																																																																																								
1450	1600	1394																																																																																																																								
H	H1	h																																																																																																																								
1200	1350	1144																																																																																																																								
1350	1500	1294																																																																																																																								
1450	1600	1394																																																																																																																								
<p>設計者</p> <table border="1" data-bbox="1498 1942 2211 2026"> <tr> <td>一級建築士 第252652号 小林 直彦</td> <td>一級建築士 第291746号 難波 壮一</td> <td>一級建築士 第356884号 面口 猛</td> </tr> </table>			一級建築士 第252652号 小林 直彦	一級建築士 第291746号 難波 壮一	一級建築士 第356884号 面口 猛	<p>三原市新斎場建設工事(外構工事)</p> <p>雨水排水詳細図</p> <p>設計番号 158918 図面番号 G-017</p> <p>縮尺 1/100 日付 2011.11.28</p>																																																																																																																				
一級建築士 第252652号 小林 直彦	一級建築士 第291746号 難波 壮一	一級建築士 第356884号 面口 猛																																																																																																																								

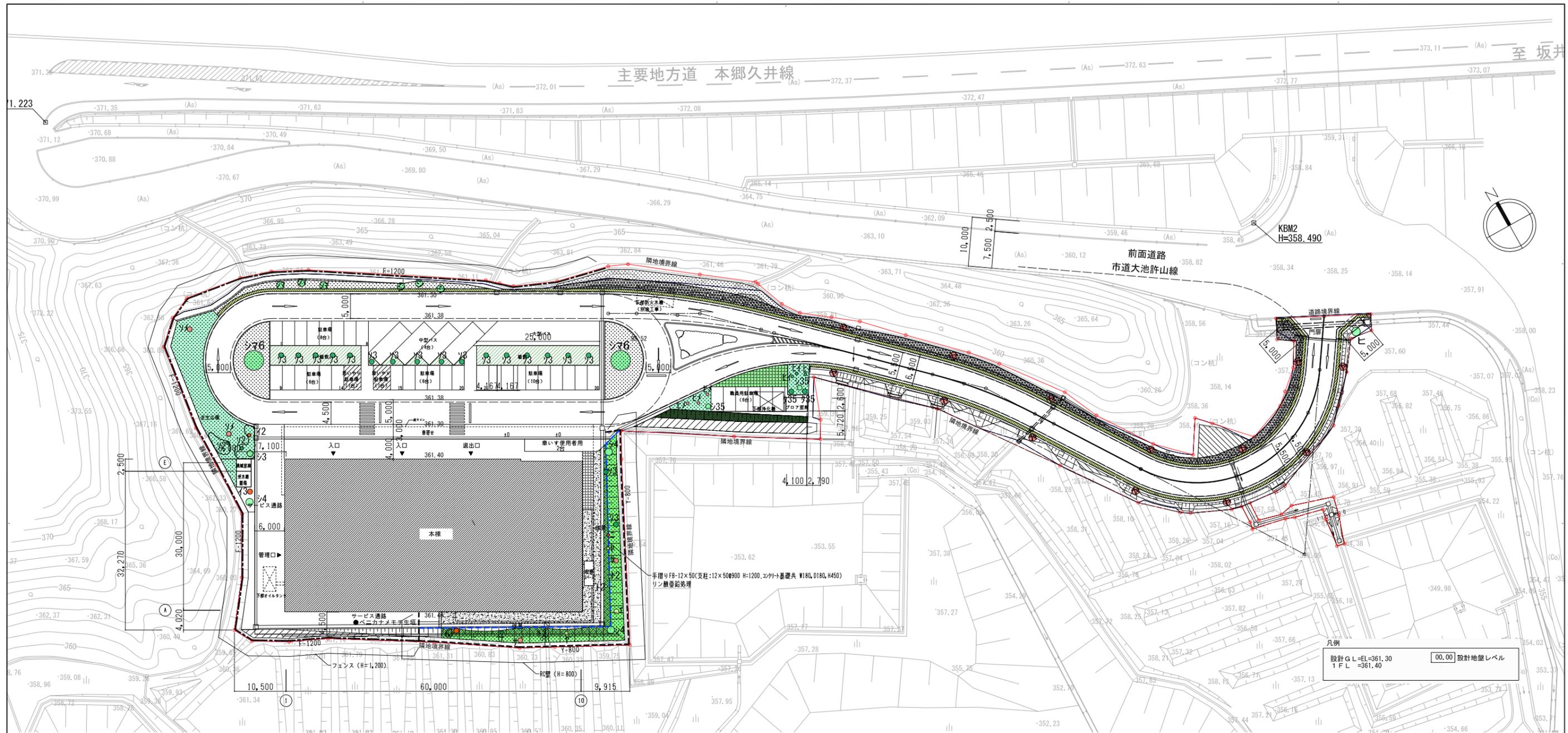


凡例
 設計GL=EL=361.30
 1FL=361.40
 00.00 設計地盤レベル



* 法面への施工は、しがら工を見込むものとする。
 * 法面は造成工事完了時はわらしは敷きであり、植栽工事による処分、復旧等は本工事で見込むものとする。

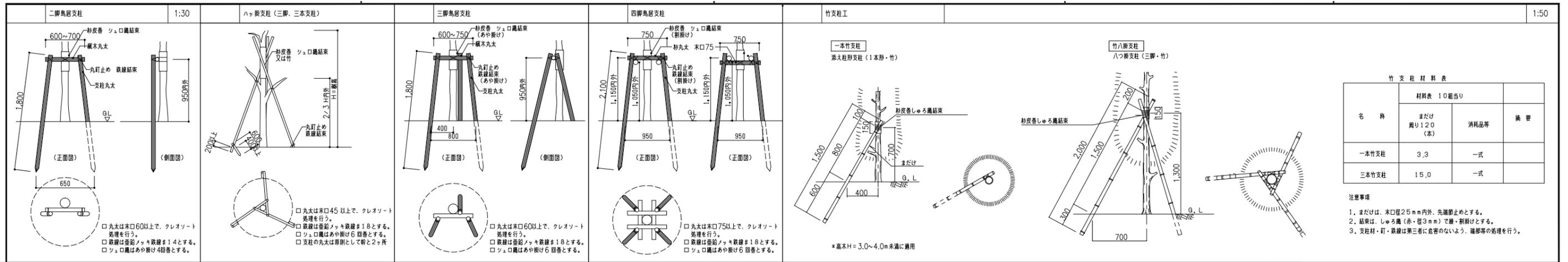
設計者			法適合確認欄	検証者	設計番号	図面番号
一級建築士 第252652号 小林 直彦	一級建築士 第291746号 難波 壮一	一級建築士 第356884号 両口 猛		外山 博文	158918	G - 018
三原市新斎場建設工事 (外構工事)					縮尺 1/1:400 1/3:800	日付 2011.11.29
植栽計画図(1)(低木)						N°



記号	名称	形状・寸法			数量	単位	備考
		H	C	W			
凡例表							
高木							
ヒ	ヒメズリハ株立	7.0	株立	3.0	1	本	四脚組合支柱
シマ6	シマトネリコ	6.0	0.40	3.0	2	本	三脚鳥居
シマ	シマトネリコ	4.5	0.30	2.0	3	本	三脚鳥居
シ	シラカシ株立	4.5	株立	2.0	3	本	三脚鳥居
シ4	シラカシ	4.0	0.21	1.5	3	本	二脚鳥居
ヤマ	ヤマザクラ	4.0	0.21	1.5	13	本	二脚鳥居
サ	サトザクラ	4.0	0.21	1.5	2	本	二脚鳥居
シ35	シラカシ	3.5	0.18	0.8	2	本	二脚鳥居
タ35	タブノキ	3.5	0.18	0.8	2	本	二脚鳥居
シ3	シラカシ	3.0	0.18	0.6	1	本	竹八掛
ソ3	ソゴ	3.0	0.18	0.6	18	本	竹八掛
イ3	イロハモミジ株立	3.0	0.18	0.6	2	本	竹八掛
ソ	ソメイヨシノ	3.0	0.18	0.6	2	本	竹八掛
エ	エゴノキ	3.0	0.18	0.6	1	本	竹八掛

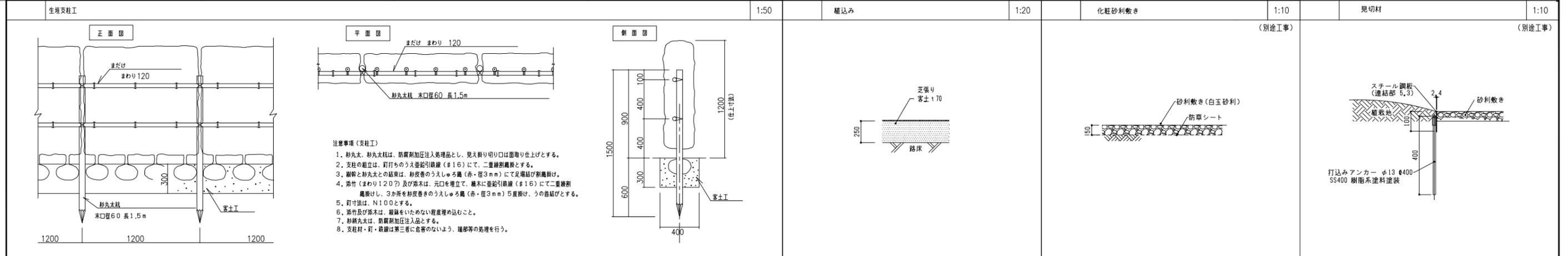
中木							
ソ2	ソゴ	2.0	-	0.4	2	本	竹一本支柱
ト2	トキワマンサク	2.0	-	0.4	3	本	竹一本支柱
ヒイ	ヒイラギモクセイ	2.0	-	0.4	3	本	竹一本支柱
ナ	ナンテン	2.0	-	0.4	1	本	竹一本支柱
イ2	イロハモミジ	2.0	-	0.4	1	本	竹一本支柱
ヒメ	ヒメシャラ	2.0	-	0.4	3	本	竹一本支柱
ニ	ニシキギ	2.0	-	0.4	1	本	竹一本支柱
ヤ	シロヤマブキ	2.0	-	0.4	2	本	竹一本支柱
ベ	ベニカナメモチ	1.8	-	0.4	9	本	生垣支柱

* 法面への施工は、しがら工を見込むものとする。
 * 法面は造成工事完了時はわらしば敷きであり、植栽工事による処分、
 復旧等は本工事で見込むものとする。

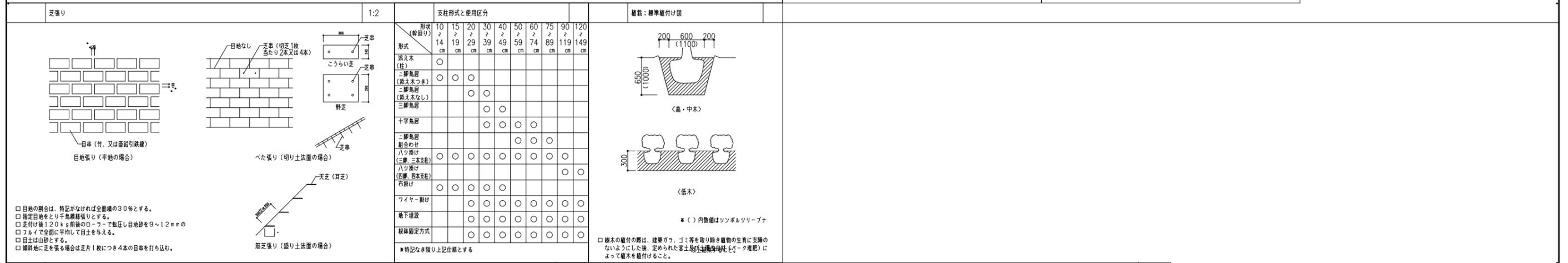


名称	材料表 10組当り		備考
	まだけ 周り120 (本)	消耗品等	
一本竹支柱	3.3	一式	
三本竹支柱	15.0	一式	

- 注意事項
- まだけは、末口径25mm内外、先端部止めとする。
 - 結束は、しゅう籠(赤・径3mm)で巻・割掛けとする。
 - 支柱材・釘・鉄線は第三者に危害のないよう、端部の処理を行う。

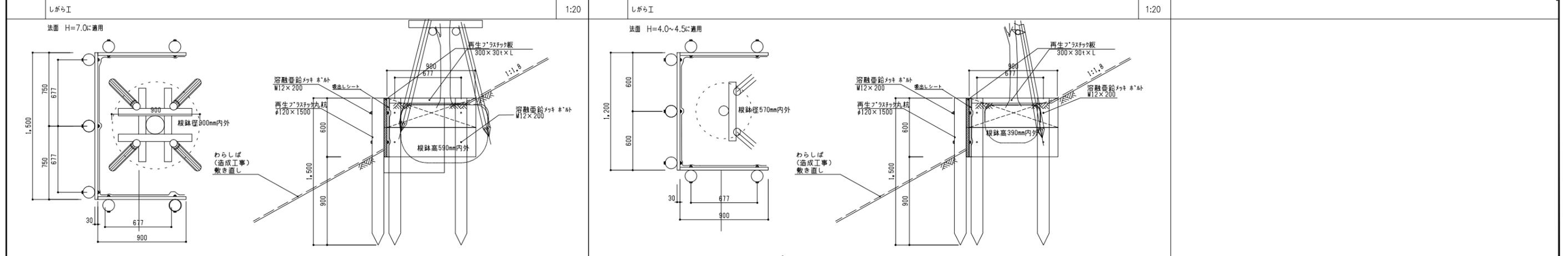


- 注意事項(支柱工)
- 砂丸太、砂丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え切り口は面取り仕上げとする。
 - 支柱の組立は、釘打ちのうえ垂鉛引鉄線(φ16)にて、二重線割懸掛とする。
 - 樹幹と砂丸太との結束は、砂皮巻のうしゅう籠(赤・径3mm)にて足場結び割懸掛。
 - 添竹(まわり120)及び添木は、元口を埋立て、樹木に垂鉛引鉄線(φ16)にて二重線割懸掛し、3か所を砂皮巻のうしゅう籠(赤・径3mm)5度掛け、うの首結びとする。
 - 釘寸法は、N100とする。
 - 添竹及び添木は、根跡をいためない程度埋込むこと。
 - 砂丸太は、防腐剤加圧注入品とする。
 - 支柱材・釘・鉄線は第三者に危害のないよう、端部の処理を行う。



- 目地の割合は、特記がなければ全面積の30%とする。
- 指定目地をとり千鳥懸張りとする。
 - 支柱後120ヶ月前後のローラーで転圧し目地砂を9~12mmの7割いで全面に平均して目土をふる。
 - 目土は山砂とする。
 - 傾斜地に芝を張る場合は芝片1枚につき4本の目土を打ち込む。

- 植栽:標準植付け器
- 樹木の植付の際は、建築ガラ、ゴミ等を取り除き植物の生育に支障のないようにした後、定められた客土及び有機質肥料(7:3:1)によって植木を植付けすること。



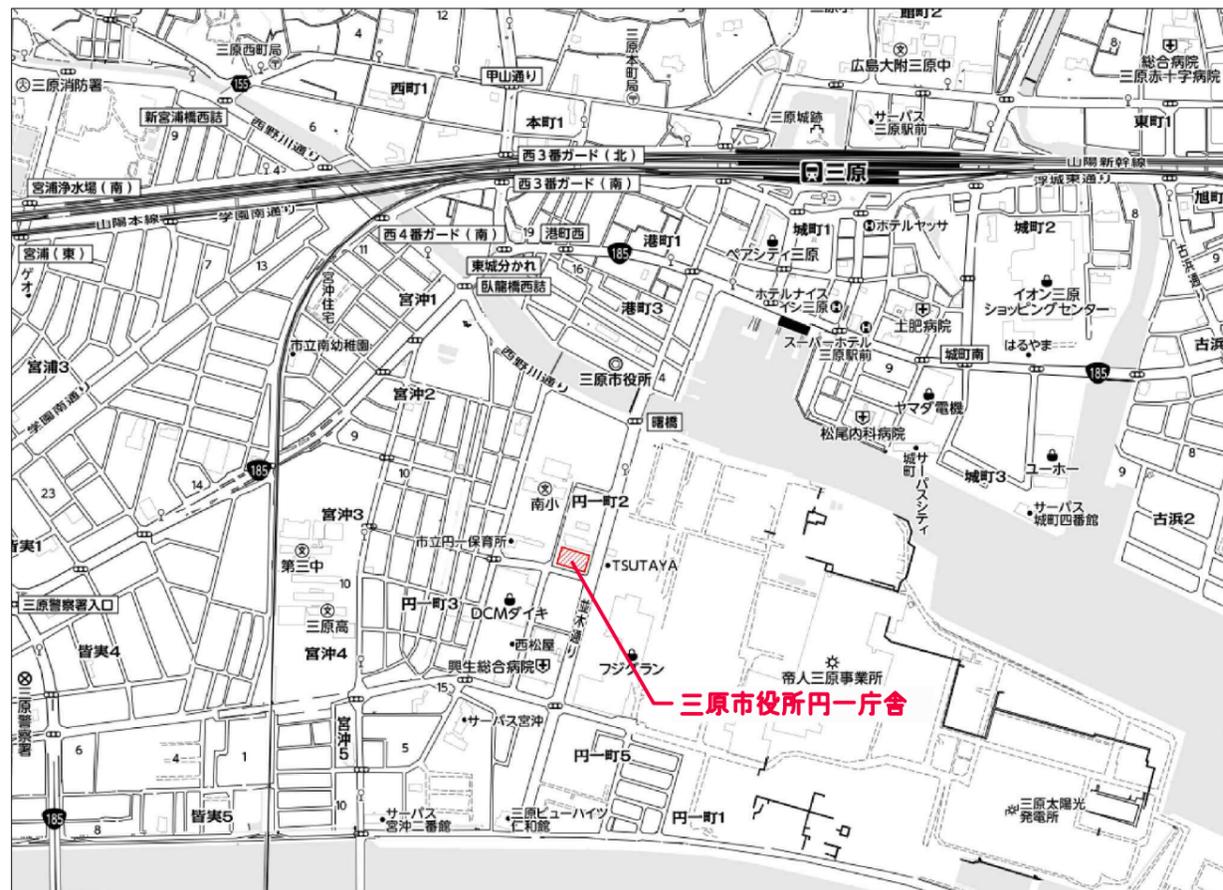
景石移設特記事項

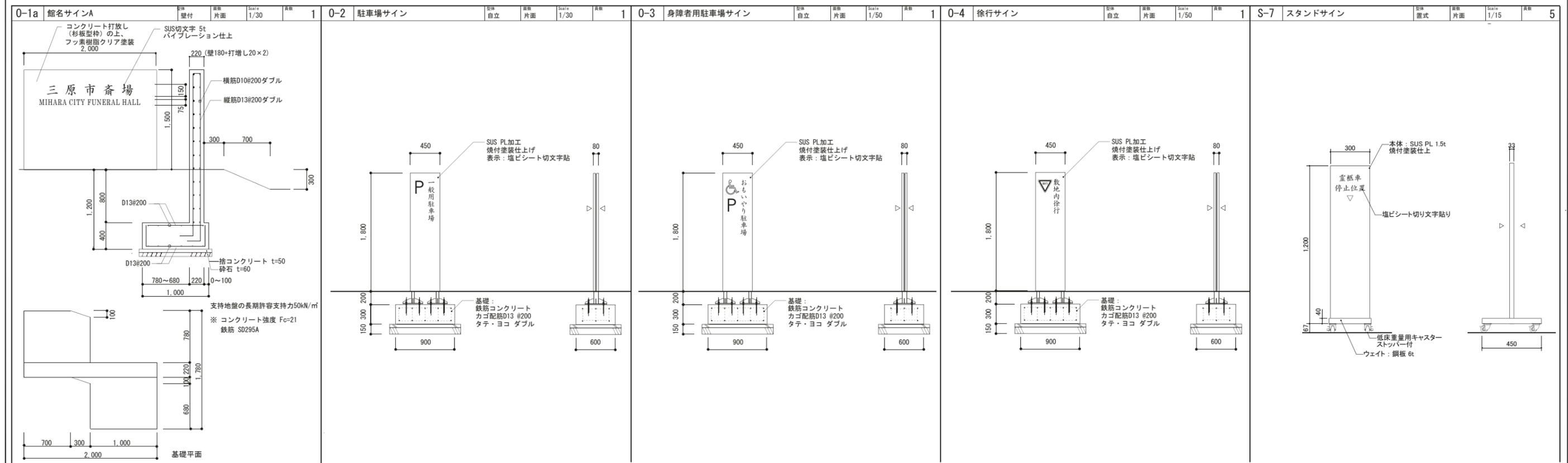
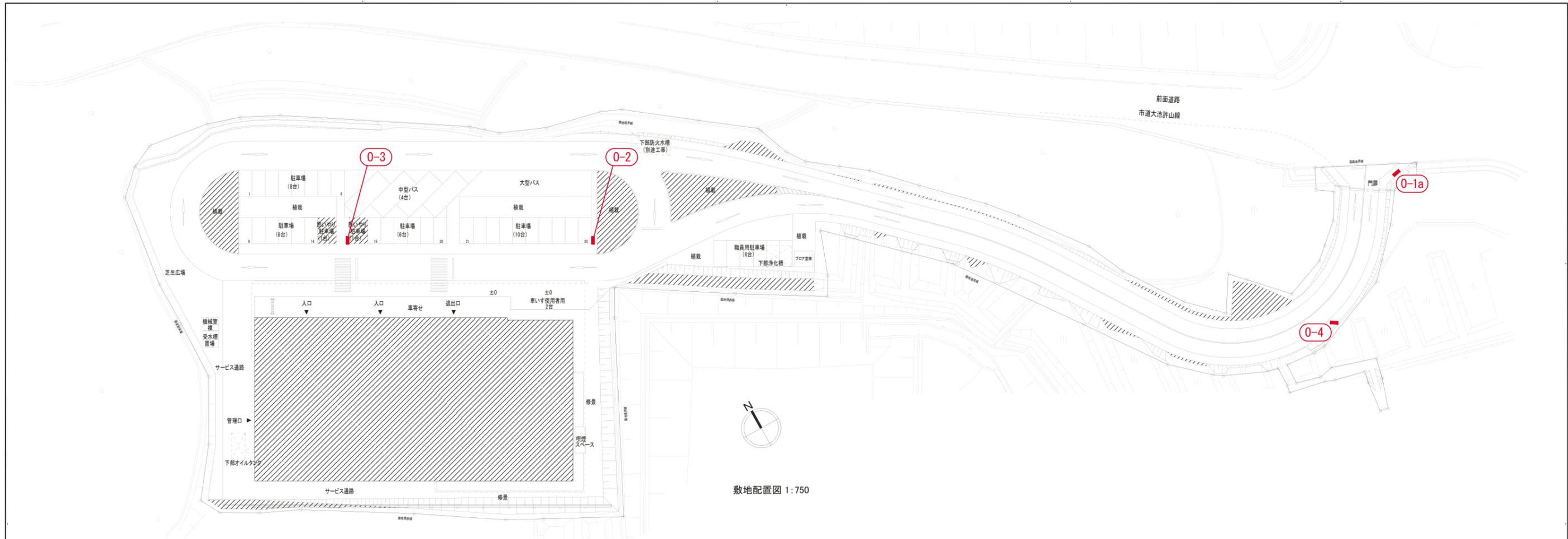
- ・既存三原市役所円一庁舎敷地内の景石を移設することとする。
- ・移設時期について、本工事期間中とするが、詳細は要協議とする。
- ・移設後の位置について、計画建物東側待合ホール前の庭とし、詳細は要協議とする。

景石リスト

	X	Y	H								
①	900	400	1100	⑦	500	400	300	⑬	900	800	300
②	800	500	1500	⑧	1000	400	300	⑭	500	500	300
③	400	300	1000	⑨	500	500	500	⑮	600	500	200
④	1000	400	700	⑩	500	500	600	⑯	800	800	800
⑤	600	400	700	⑪	900	500	200	⑰	600	300	600
⑥	300	300	500	⑫	200	200	300	⑱	500	400	400

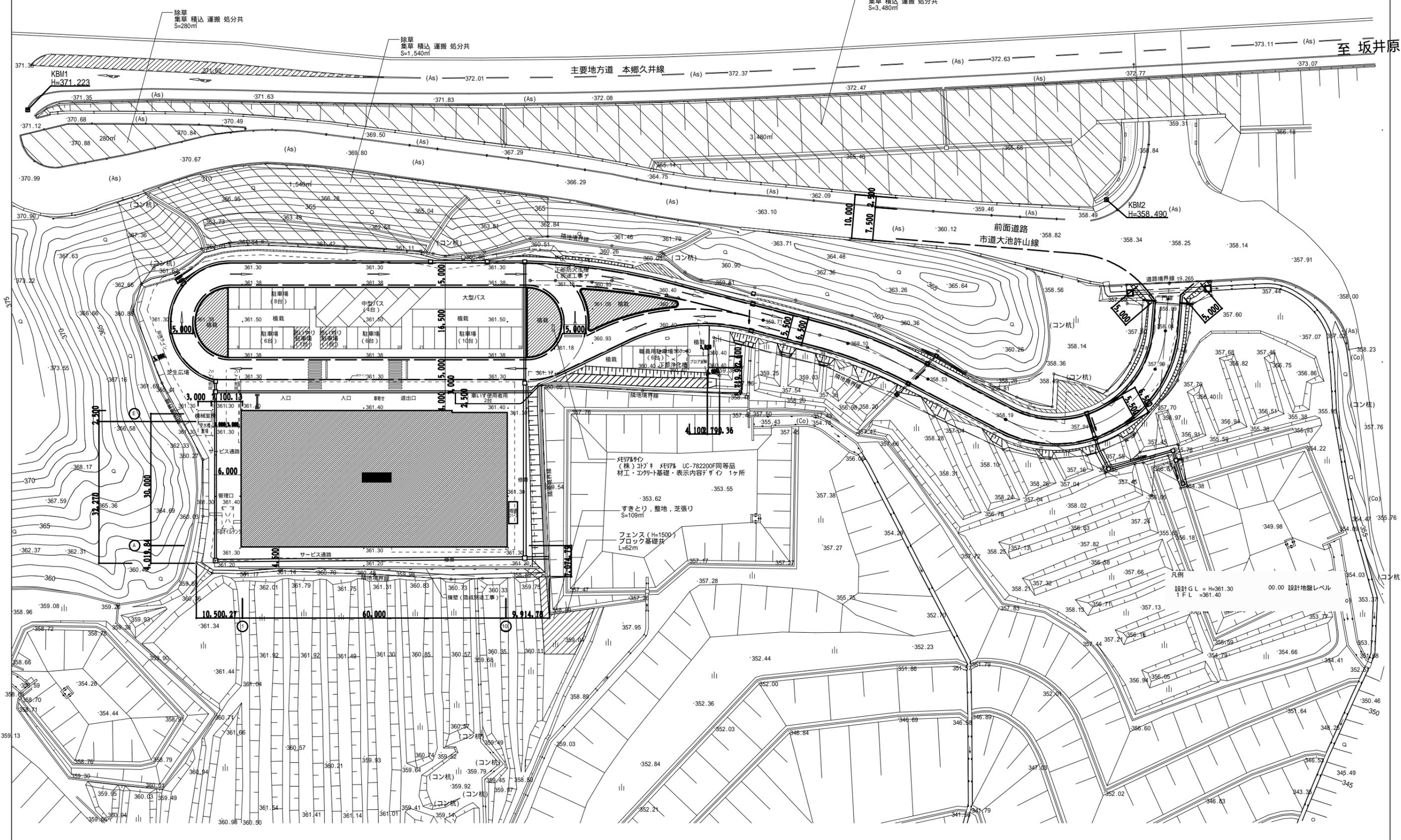
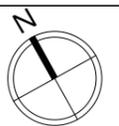
景石保管場所





メッシュ（近隣道路敷内の指定場所）
 H=1500 コンクリートブロック基礎（G-015）
 朝日杉（株） UN-A1500L-40 同等品（G-015） L=162m

目隠しメッシュ（近隣道路敷内の指定場所）
 H=1800 コンクリートブロック基礎・支柱・
 フェンス 積水樹脂（株）めかくし塙G型Series 同等品 L=64m



三原市役所
 三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

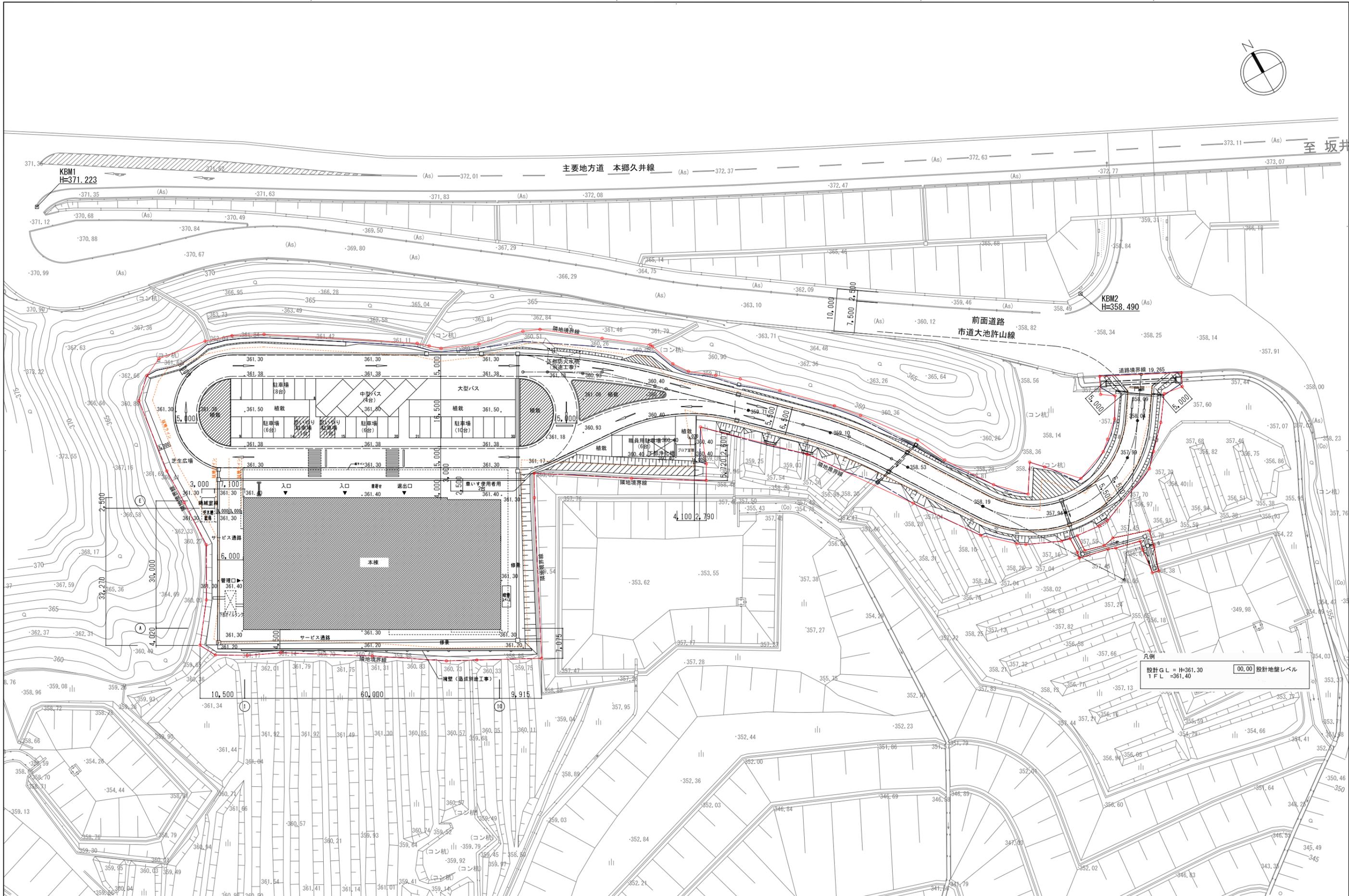
課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名
 三原市新斎場建設工事（外構工事）

図面名称
 外構計画図

縮尺
 1:800

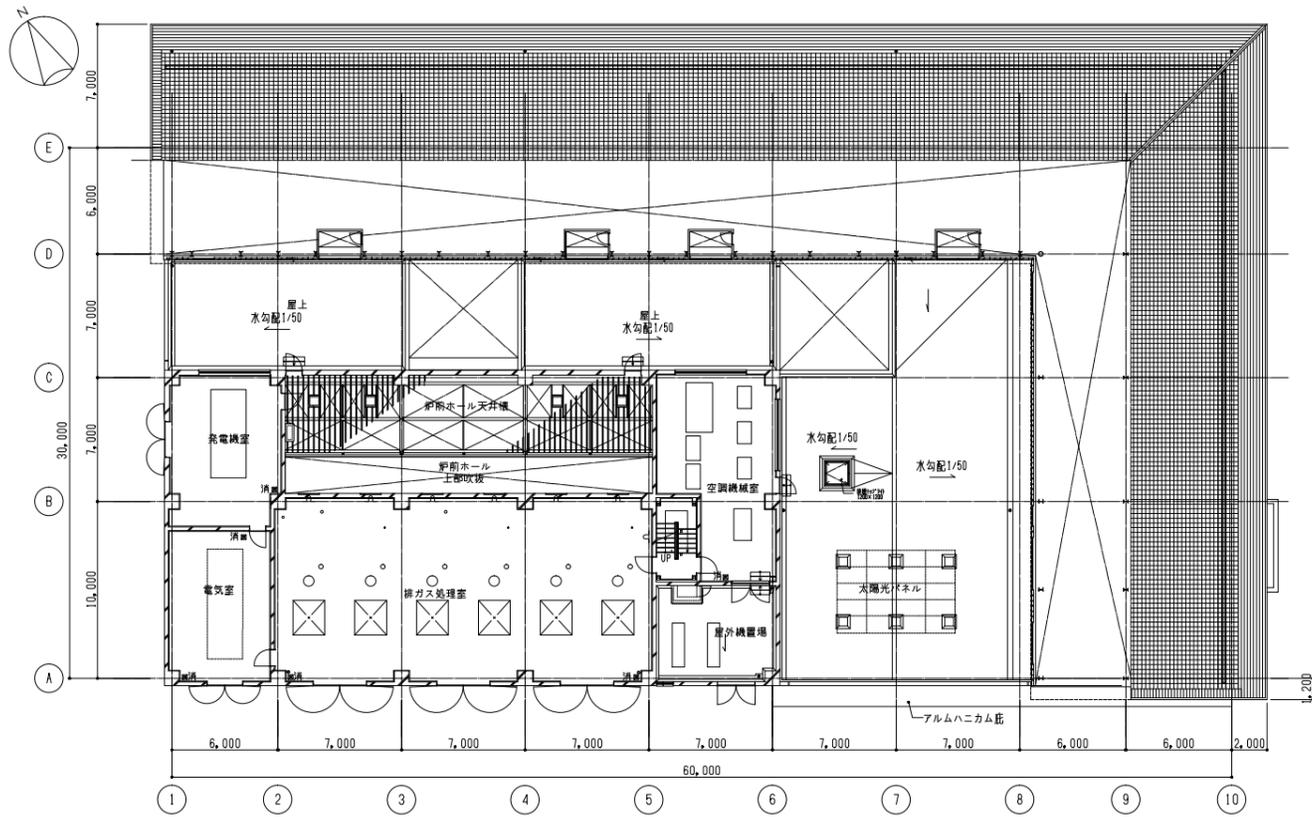
図面番号
 G-23



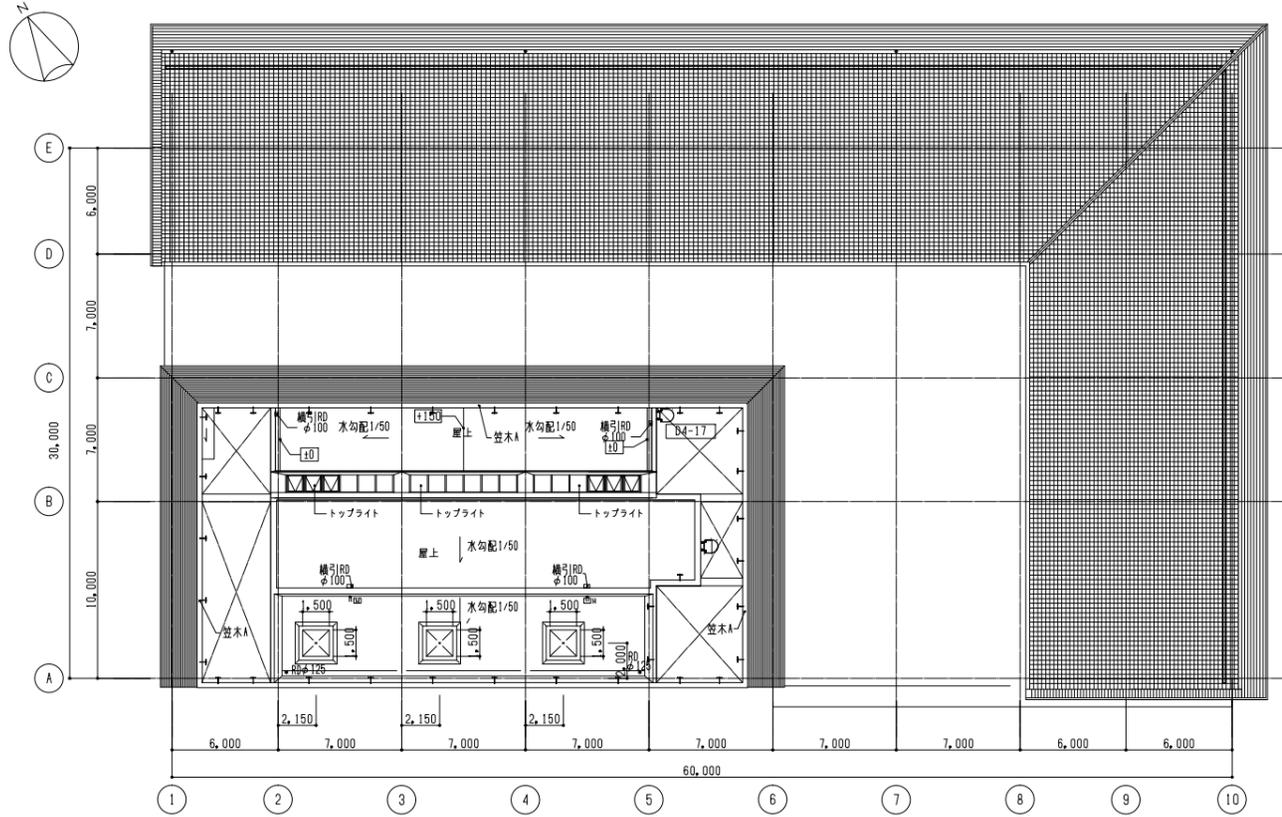
設計GL = H=361.30
1FL = 361.40
00.00 設計地盤レベル



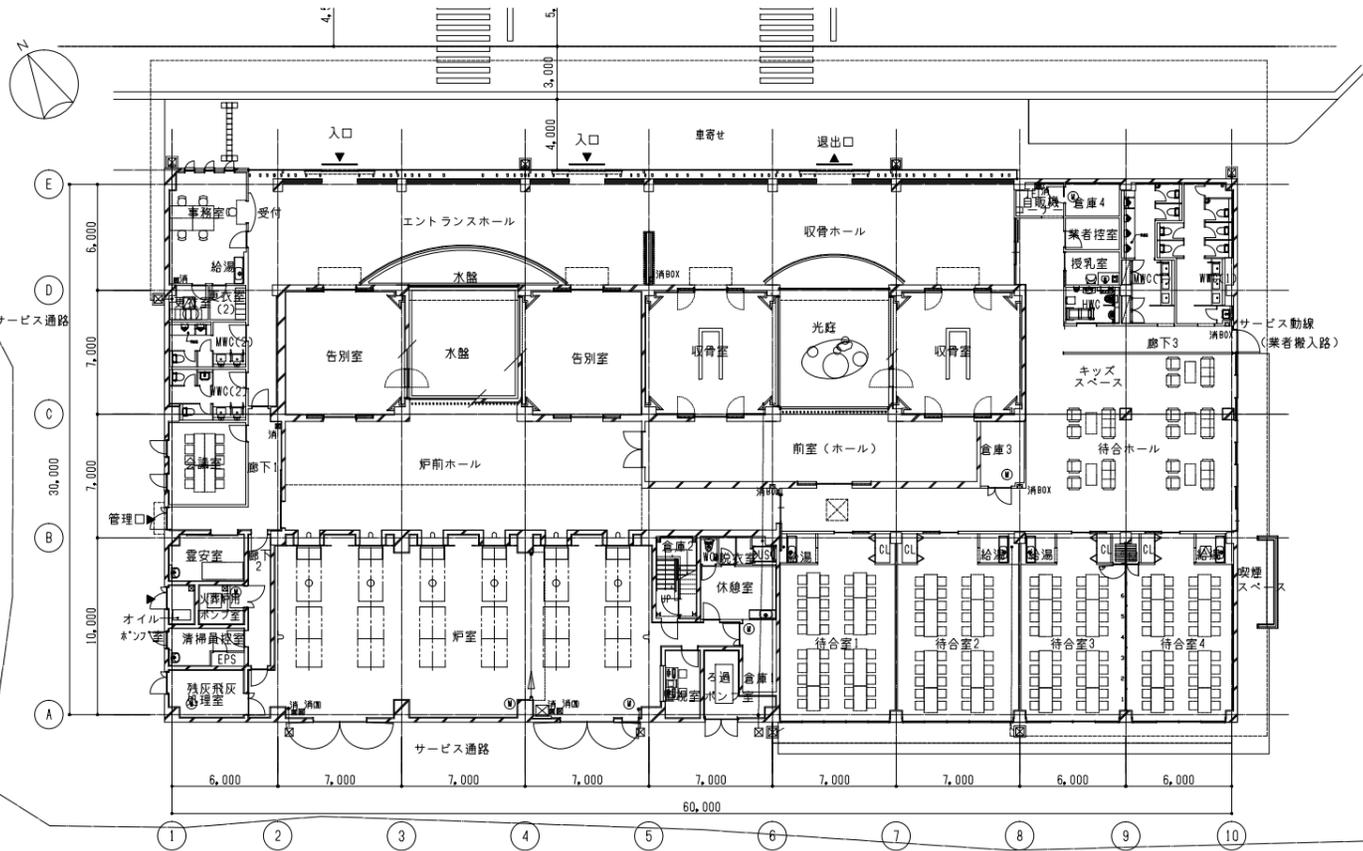
設計者			法適合確認欄	検証者	三原市新斎場建設工事 (建築主体工事)	設計番号	図面番号
一級建築士 第25252号 小林 直彦	一級建築士 第291746号 難波 壮一	一級建築士 第356884号 両口 猛		外山 博文		158913	A - 023
					配置図 (参考図)	縮尺 1/1:400 A3:800	日付 2011.3.31



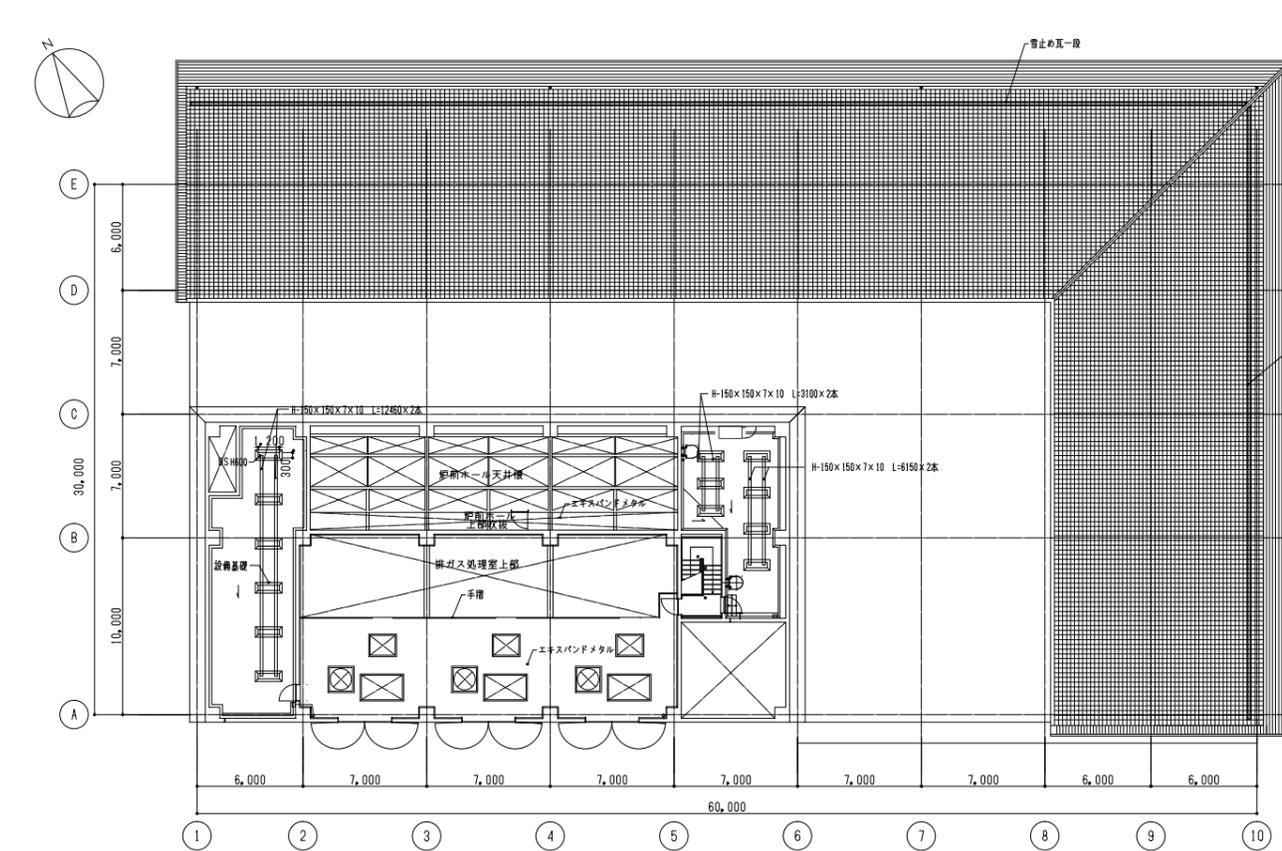
2階平面図



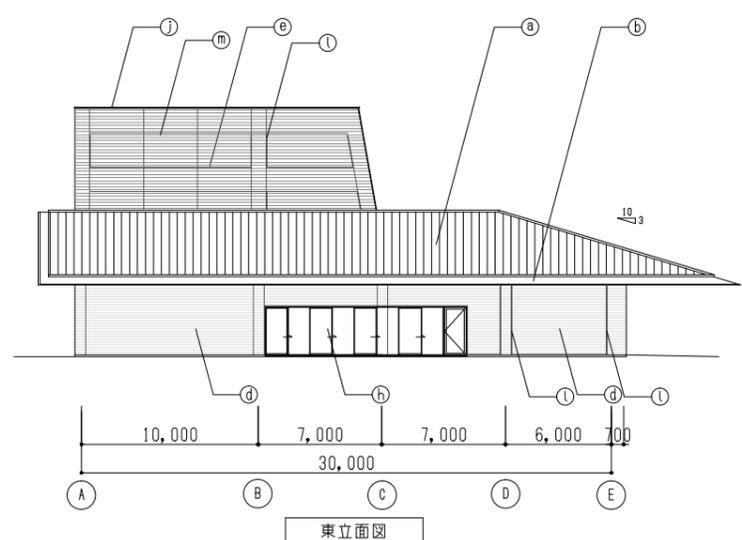
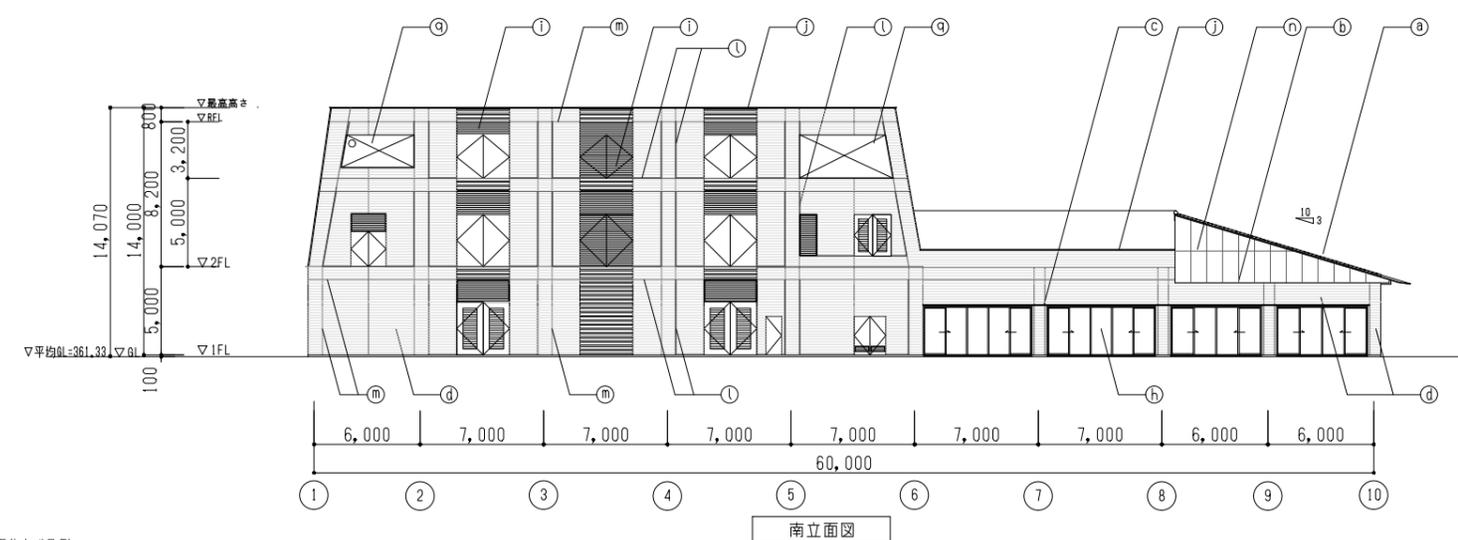
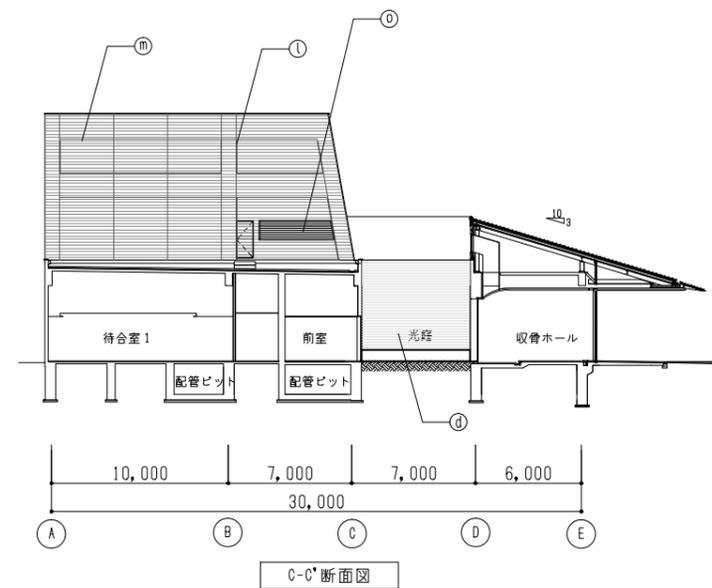
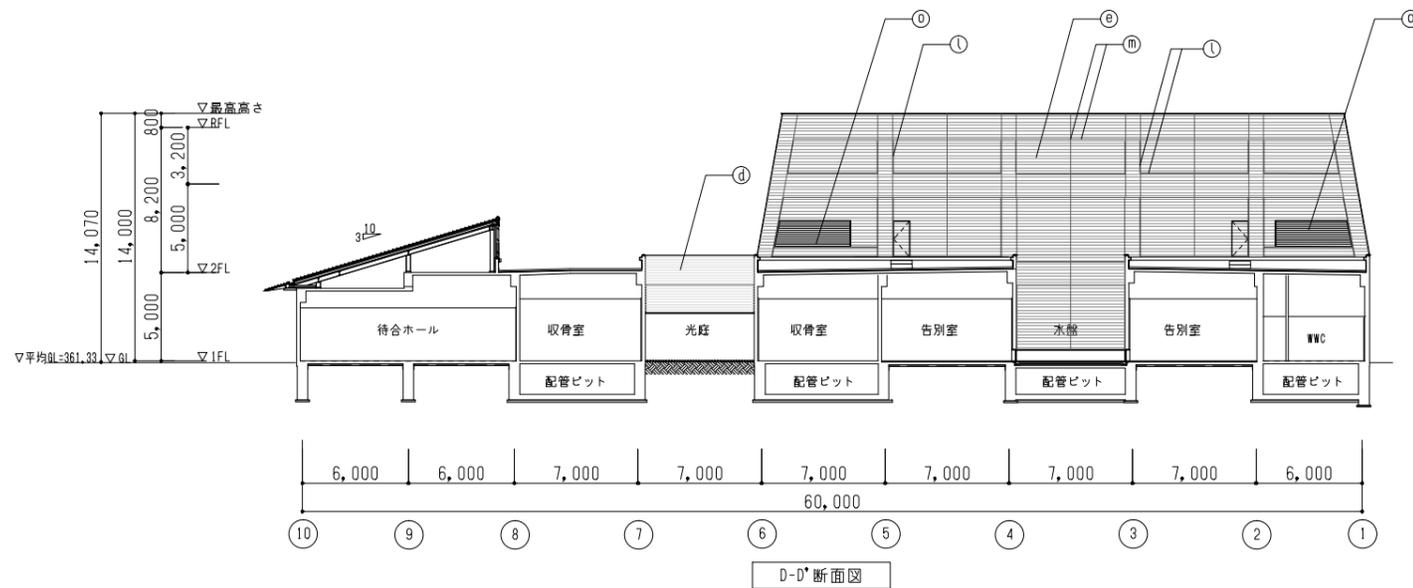
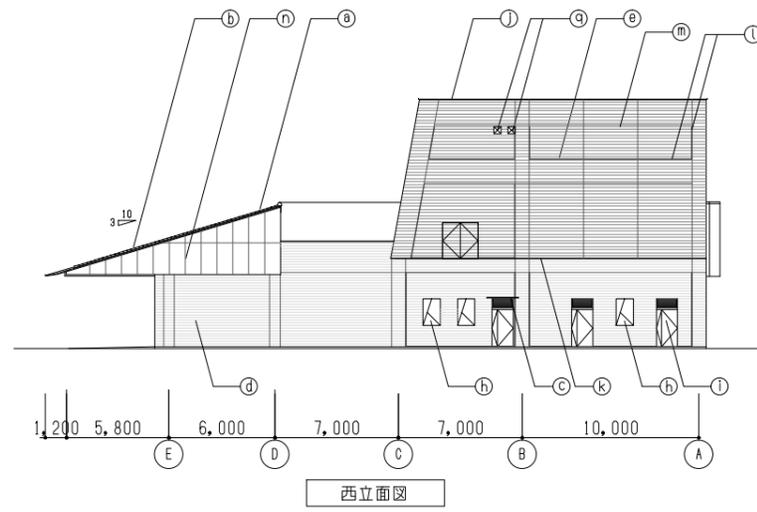
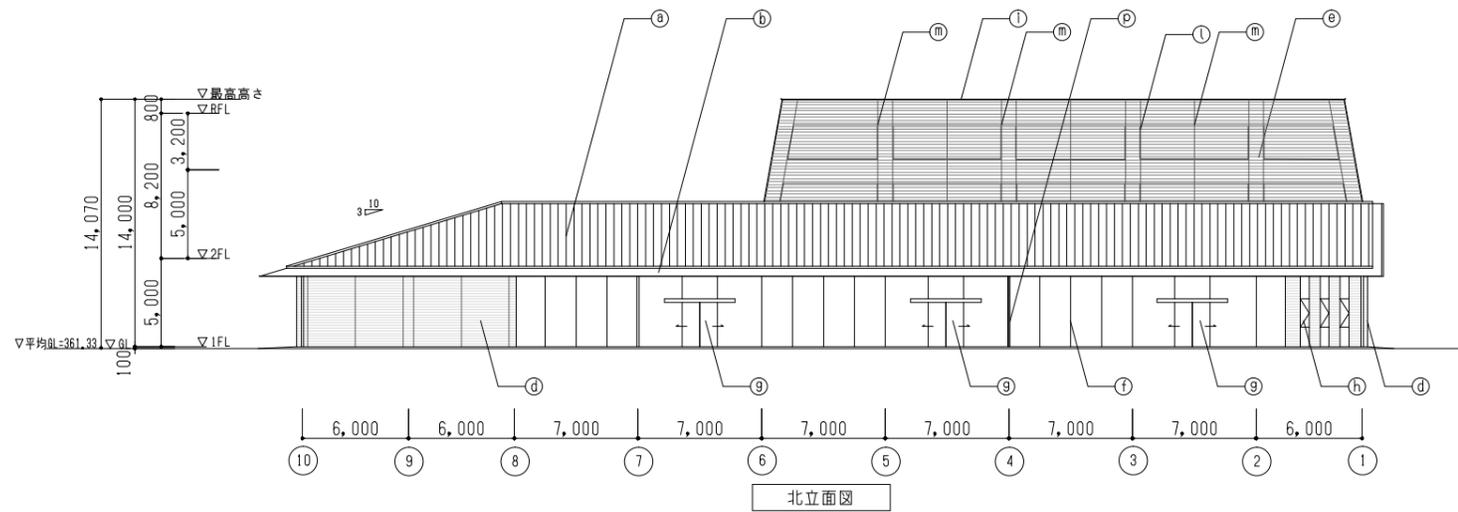
屋根伏図



1階平面図

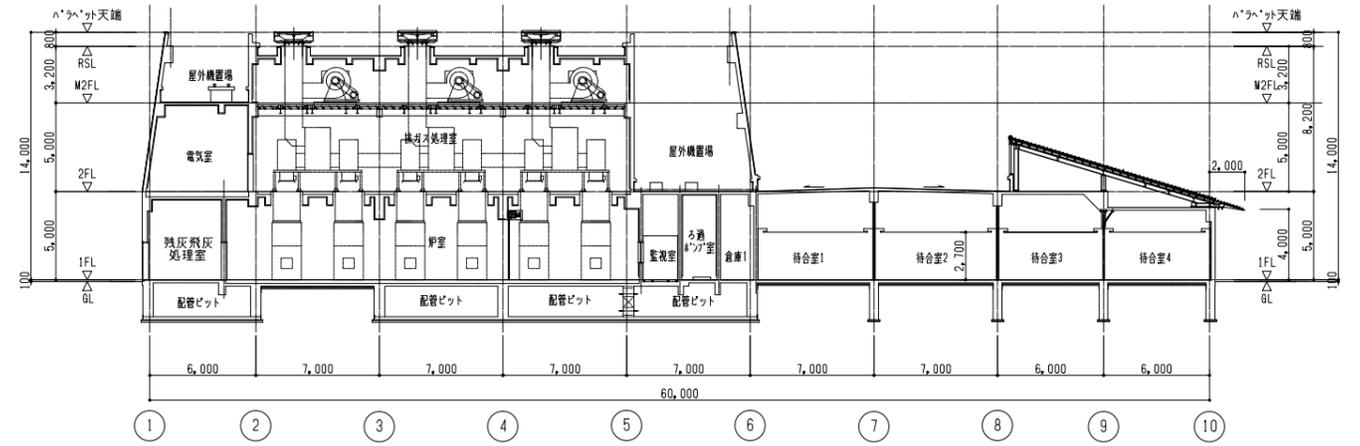
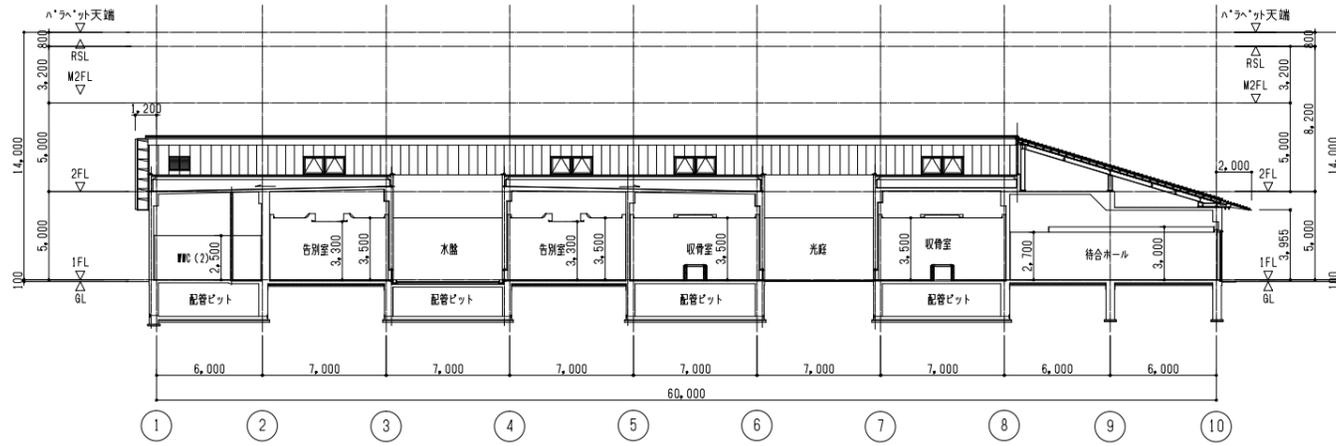
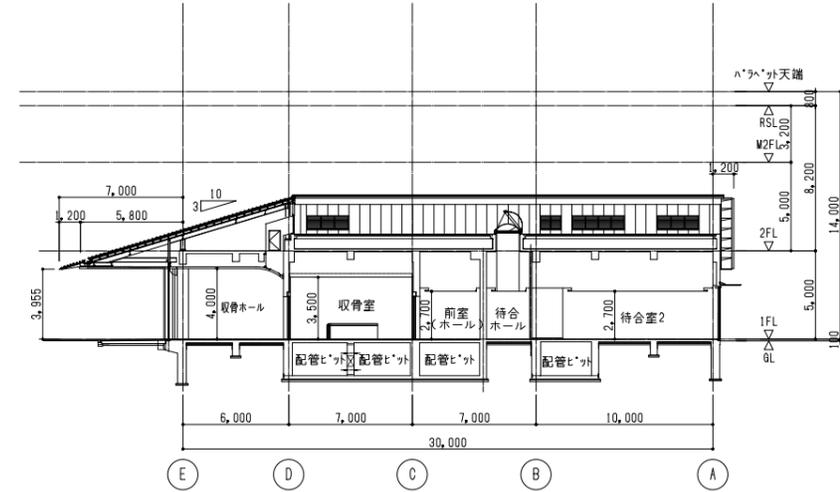
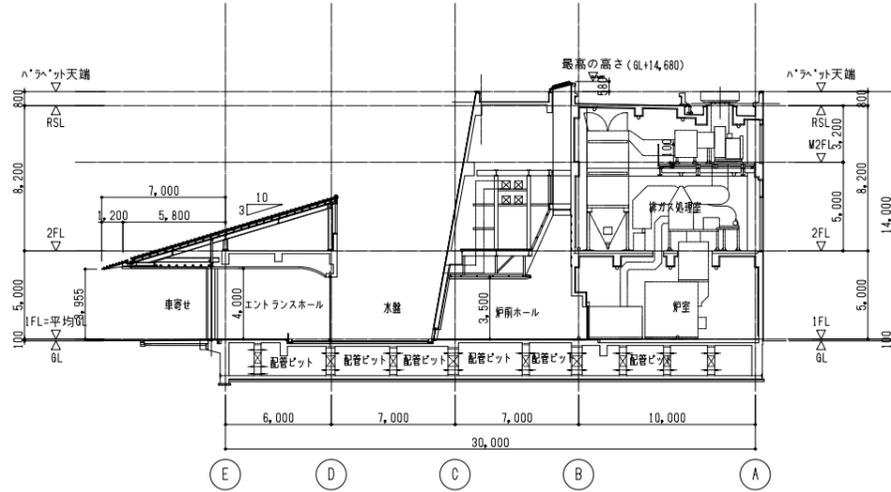
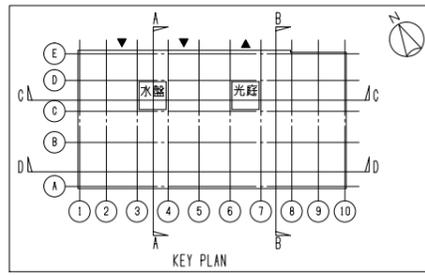


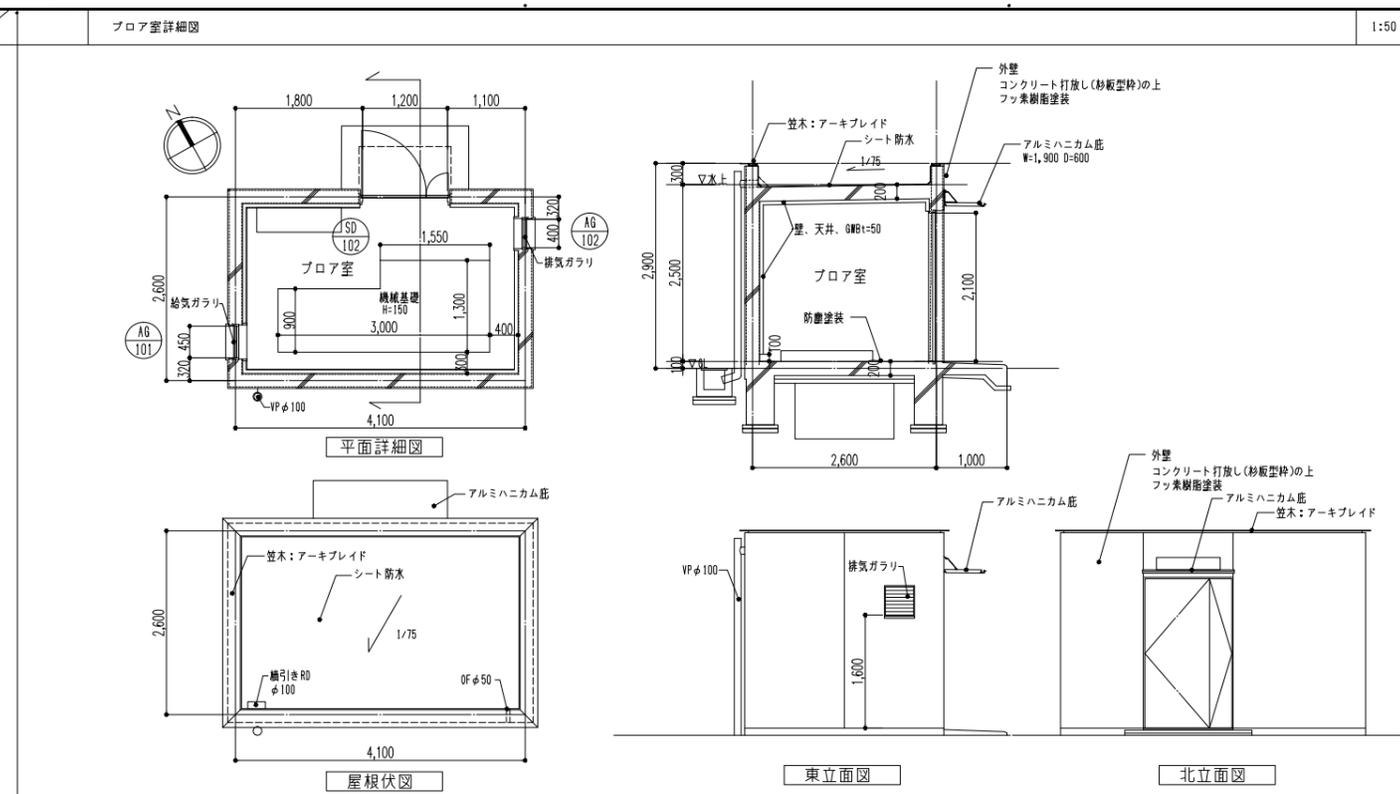
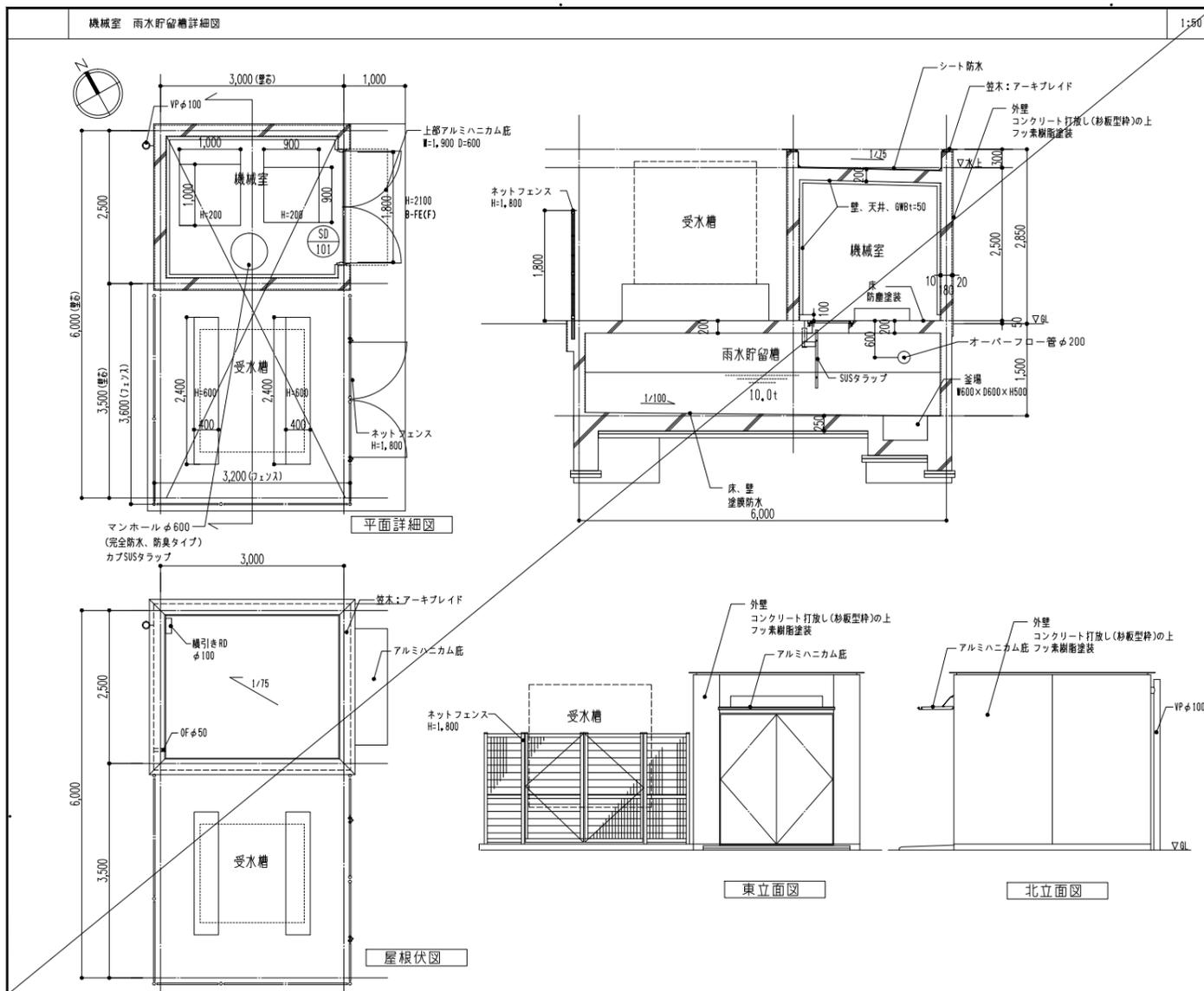
2 FL+5,000平面図



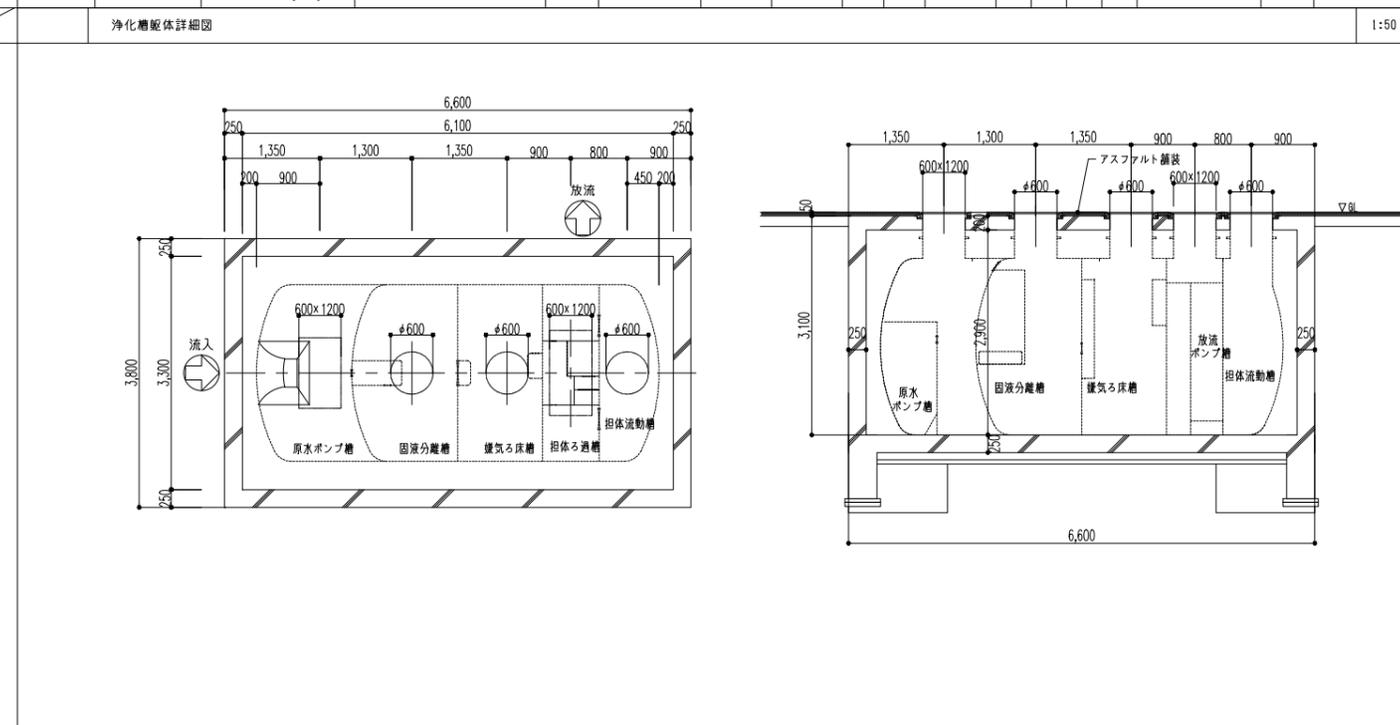
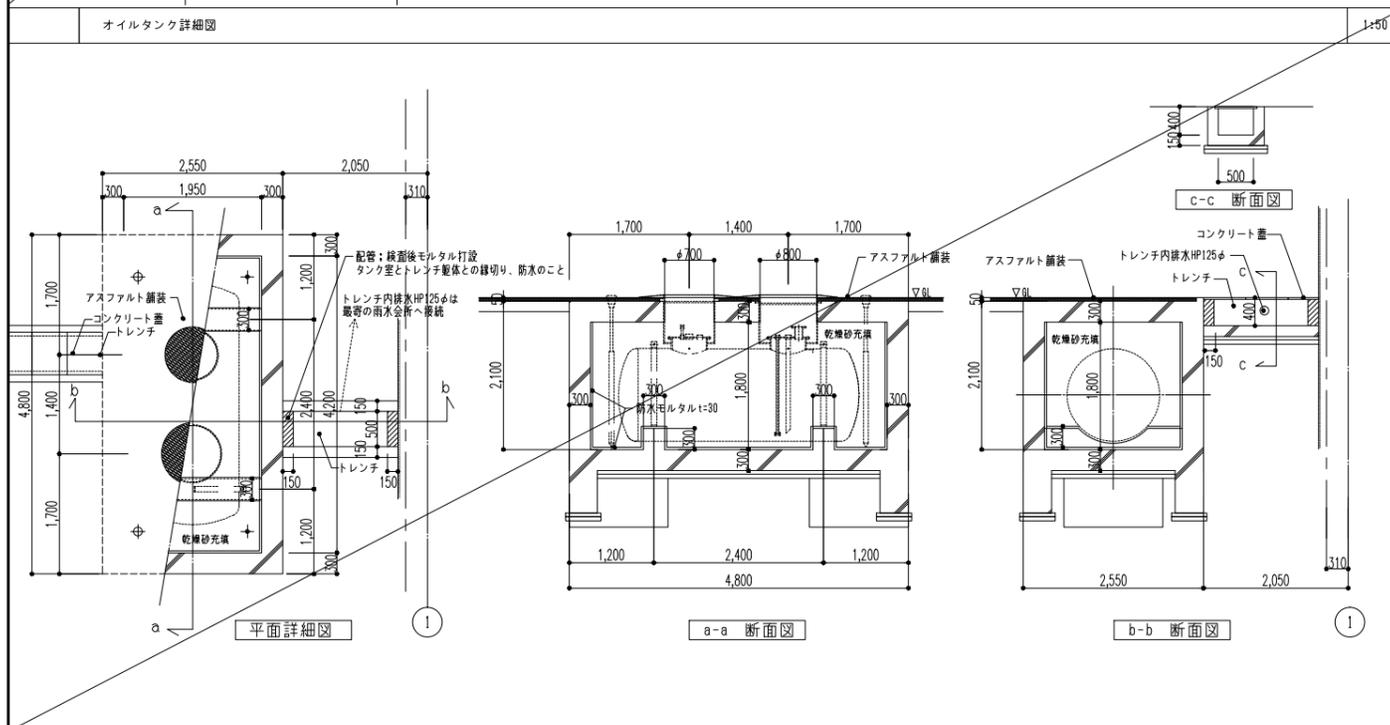
立面仕上げ凡例

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	瓦葺き(いぶし葺)	Ⓓ	コンクリート打ち放し(杉板型枠)の上フッ素樹脂塗装(クリア)	Ⓔ	ステンレス製自動ドア	Ⓙ	アルミ製笠木	Ⓚ	伸縮調整目地
Ⓑ	軒先:ガルバリウム鋼板t=0.4 横置き 化粧金物:DP塗装	Ⓔ	磁器質タイル貼り	Ⓚ	アルミサッシ	Ⓛ	FB見切(リン酸亜鉛処理仕上)	Ⓛ	アルミカットパネルt=2.0(指定色焼付)
Ⓒ	アルミハニカム庇(焼付塗装)	Ⓛ	ガラススクリーン	Ⓛ	鋼製建具	Ⓛ	構造スリット目地	Ⓜ	アルミ製ガラリ
								Ⓜ	整礎(ステンレス製)
								Ⓨ	開口
									目地





種別 番号	取付場所	形態	建具寸法 ■ x H x D1 x D2	個数	仕上	性能	ガラス	取合(形状・材質・仕上)				金物	法	備考	
								水切	扉板	額縁	クツリ				形状
SD-101	屋外 機械室	D31(両開き戸)	1,800 x 2,100 x 40 x 100	1	B-FE(F)	SAT				ST16 SOP	SUS B4		K8		
SD-102	屋外 フロア室	D32(親子両開き戸)	1,200 x 2,100 x 40 x 100	1	B-FE(F)	SAT				ST16 SOP	SUS B4		K8		グレモンハンド
AG-101	屋外 フロア室	アルミ製ガラリ	450 x 450 x x 70	1	B-2		7&B B-2			G3			B-2	AS	外取付用フック 防虫網
AG-102	屋外 フロア室	アルミ製ガラリ	400 x 400 x x 70	1	B-2		7&B B-2			G3			B-2	AS	外取付用フック 防虫網

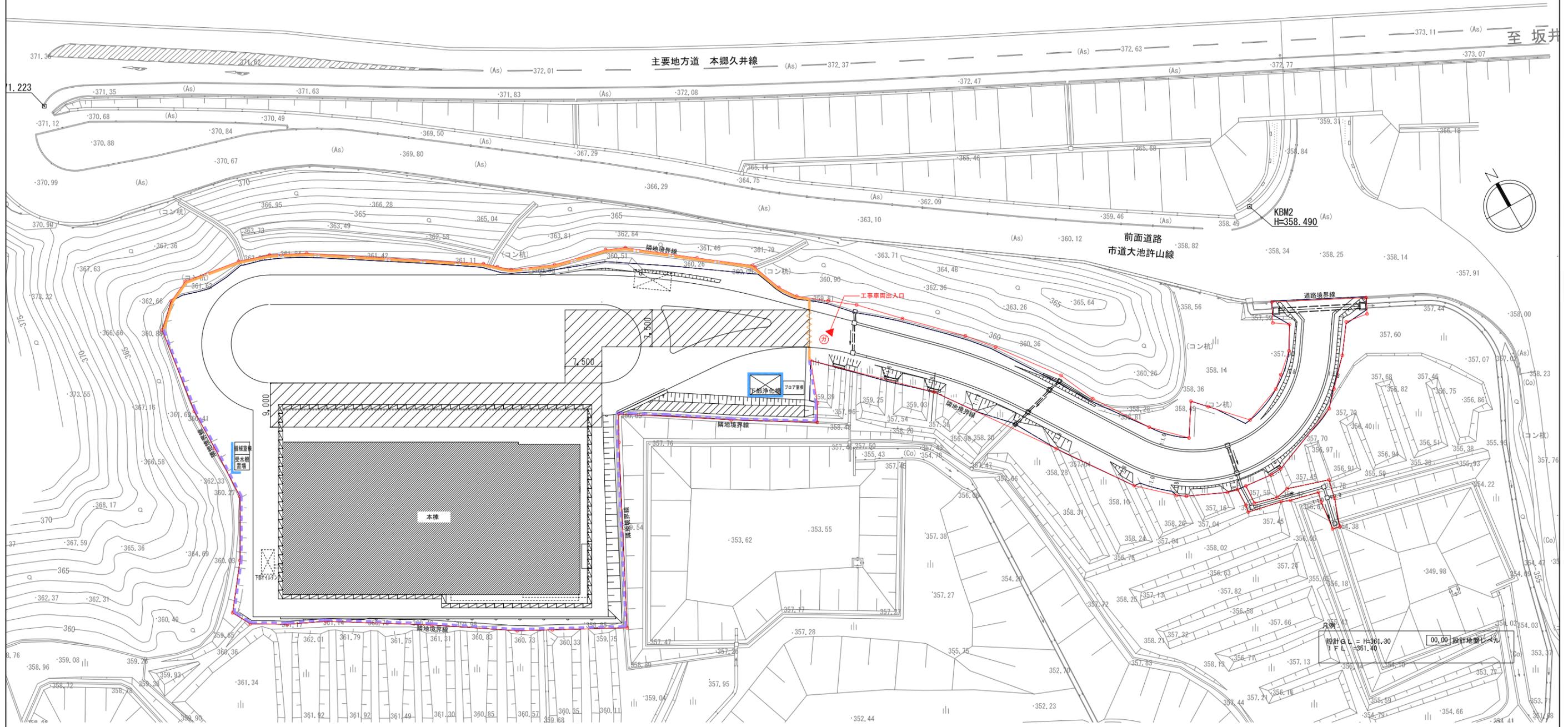


工事工程表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
工事工程表	■ 本体工事(17ヶ月)																	
	■ 外構工事(4.5ヶ月)																	

凡例

- 鋼製仮囲 H=3,000
- パネルゲート W=7,200×H=4,500
- ガードフェンス H=1,800
- 山留：親杭横矢板(自立)
- 枠組足場W900+全面防音シート
- ⊙ ガードマン配置
- 鉄板養生W1,500×L6,000×t22



建築工事特記仕様書<構造関係>	
1. 共通仕様	a. 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、全て社団法人公共建築協会編「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款に適合した工事共通仕様書平成28年版(建築工事編)」(以下「共仕」という)による。 b. 国土交通省大臣官庁官庁宮崎部監修公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版は以下「標準仕様書」という。
2. 特記事項	a. 項目は番号に○印の付いたものを適用する。 b. 特記事項は○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。○印と◎印の付いた場合は共に適用する。 c. 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は「共仕」の当該項目、当該図及び当該表を示す。 特記事項に記載の(欄仕 . . .)内の欄仕は「標準仕様書(参考資料)各部配筋参考図」の当該項目、当該図及び当該表を示す。 d. 「標準仕様書(参考資料)各部配筋参考図」は設計図書の一部とし、標準仕様書・同監理指針と同様の扱いとする。 e. 「標準仕様書(参考資料)各部配筋参考図」は設計図書の一部とし、標準仕様書・同監理指針と同様の扱いとする。 f. 特記事項で「配筋規準図」とあるは、「鉄筋コンクリート造配筋規準図(1)(2)(3)」の記載事項を意味する。
3. 適用基準等	※ 宮崎工事写真掲載要領(平成24年版)・同解説 工事写真の撮り方 建築編
4. 設計図書の優先順位	設計図書に関する優先順位は次に由る。 1) 質疑応答書及び補足訂正追加事項 2) 工事見積要項書(現場説明書及び現場説明に対する議事録を含む。) 3) 特記仕様書 4) 3)以外の図面 5) 設計説明書、設計品質伝達書 6) 「共仕」, 「標準仕様書(参考資料)各部配筋参考図」, 国土交通省大臣官庁官庁宮崎部監修建築工事監理指針平成28年版
項目	特記事項

4章 地業工事

1. 試験	試験杭 ※ 行う(本杭兼用) ・ 行わない (4,2,2) 位置、本数 ※ 図示 ・ 監理者の指示(本)	(4,2,2)
2. 既製コンクリート杭地業	載荷試験 ・ 杭の載荷試験 試験種別(鉛直・水平) (4,2,3) ()箇所 最大荷重()kN ・ 地盤の平板載荷試験 ()箇所 最大荷重()kN/m ² (4,2,4) 試験を行う深さ GL-()m 試験地盤()	(4,2,3)
	載荷試験方法 ※ 載荷試験方法は(社)地盤工学会の各種載荷試験方法に準拠し、試験位置は図示による。 図示	(4,2,4)
3. 鋼杭地業	材料 ・ 鋼管杭(JIS A 5525) ・ SKK400 ・ SKK490 ・ H形鋼杭(JIS A 5526) ・ SHK400 ・ SHK490M 先端部形状 ※ 開放型 ・ 図示 先端部補強 ※ 補強は図4.4.1及び表4.4.2による ・ 図示	(4,2,2)

1. 材料	鉄筋の種類 規格 種類の記号 径(mm) ※ JIS G 3112 (※)SD295A D10~D16 鉄筋コンクリート用精鋼 (※)SD345 D19~D25 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき (◎)SD390 D29~ 認定を受けたせん断補強筋	(5,2,1)
2. 加工及び組立	溶接金網(JIS G 3551 溶接金網及び鉄筋格子) 鉄線の径及び網目の形状、寸法 (◎)6φ-100×100 (使用部位 防水層の保護コンクリート、配管埋設用コンクリート、かさ上げコンクリート)	(5,2,2)
3. 鉄筋の継手	柱及び梁: D19以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 D16以下 ※ 重ね継手 ・ 重ね継手の長さ ・ 図示 (◎)40d(軽量コンクリートの場合は50d)と 2-9-1(重ね継手及び定着の長さ)の表のうち 大きい値とする	(5,3,4)
4. 鉄筋の定着	※ 鉄筋コンクリート造配筋規準図(1)の 2-9(重ね継手及び定着の長さ)による ・ 図示	(5,3,4)
5. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	※ 表5.3.6による ・ 軽量コンクリートの場合のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm)) ・ 耐久性上不利な箇所のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm))	(5,3,6)
6. 各部の配筋	梁せいが1.5m以上の場合の腹筋及び幅止め筋 ※ 図示 (欄仕参3,2) 基礎梁梁成1.5m以上の場合のスペーサー ・ 鉄筋加工(既製品) (欄仕参4,4) 柱の帯筋組立の形 ※ H形 ・ W-I形 ・ SP形 ・ 丸形 (欄仕参2,2) 柱の帯筋の割付け ※ 図示 ・ 5-3 帯筋の割付け 大梁のハンチの補強 ※ 図示 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び重ね継手長さ ※ 定着長さL2, 重ね継手長さL1 コンセントボックスを壁に埋め込む場合の補強 ※ 図示 (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 貫通補強 (H形 ・ MH型 ・ M型) (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 建設省技術評価又は(財)日本建築センター評価を受けたもの(原則として無孔梁の終局せん断強度以上となる補強を行う)	(5,3,2)
7. ガス圧接	ガス圧接継手は「鉄筋継手工事標準仕様書・ガス圧接継手工事」(2009年) (5,4,1) (公社)日本鉄筋継手協会による 圧接技術資格者 (5,4,2) JIS Z 3881による技量及び(公社)日本鉄筋継手協会の技量資格を有する者 圧接完了後の試験 ※ 超音波探傷試験(※ 汎用探傷器・専用探傷器) ・ 引張試験 (5,4,9) ※ 外觀試験 検査機関は(公社)日本鉄筋継手協会認定の優良鉄筋継手検査会社又は(社)C I W 認定を受けた第三者機関とし、発注は建築元請業者の直発注、契約とする。 検査技術者は(公社)日本鉄筋継手協会の鉄筋継手部検査技術者(検査対象継手部に 圧接継手部を含む者)で資格種別3種の資格者とする。 引張試験は原則として公的機関による。	(5,4,1)
8. コンクリートの種類及び品質	コンクリートの種類 (6,2,1) ※ JIS A 5308 レディミキストコンクリート ・ 国土交通大臣の認定を受けたコンクリート(建築基準法第37条第二号) コンクリートの気乾単位容積質量による種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート コンクリート仕様 (6,2,2,3,4)(6,3,1,2)(6,10,1)(6,14,1)	(6,2,1)
9. 鋼管杭地業	コンクリート地業 コンクリートの材料 ※ 高炉セメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント 組骨材の最大寸法 ※ 25mm以下 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 厚さ(mm) ※ 50	(4,6,2)(4,6,3)
10. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
11. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
12. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
13. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
14. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
15. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
16. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
17. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
18. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
19. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
20. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
21. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
22. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
23. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
24. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
25. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
26. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
27. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
28. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
29. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
30. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
31. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
32. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
33. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
34. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
35. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
36. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
37. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
38. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
39. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
40. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
41. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
42. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
43. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
44. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
45. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
46. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
47. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
48. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
49. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
50. 鋼管杭地業	型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)

5章 鉄筋工事		
1. 材料	鉄筋の種類 規格 種類の記号 径(mm) ※ JIS G 3112 (※)SD295A D10~D16 鉄筋コンクリート用精鋼 (※)SD345 D19~D25 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき (◎)SD390 D29~ 認定を受けたせん断補強筋	(5,2,1)
2. 加工及び組立	溶接金網(JIS G 3551 溶接金網及び鉄筋格子) 鉄線の径及び網目の形状、寸法 (◎)6φ-100×100 (使用部位 防水層の保護コンクリート、配管埋設用コンクリート、かさ上げコンクリート)	(5,2,2)
3. 鉄筋の継手	柱及び梁: D19以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 D16以下 ※ 重ね継手 ・ 重ね継手の長さ ・ 図示 (◎)40d(軽量コンクリートの場合は50d)と 2-9-1(重ね継手及び定着の長さ)の表のうち 大きい値とする	(5,3,4)
4. 鉄筋の定着	※ 鉄筋コンクリート造配筋規準図(1)の 2-9(重ね継手及び定着の長さ)による ・ 図示	(5,3,4)
5. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	※ 表5.3.6による ・ 軽量コンクリートの場合のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm)) ・ 耐久性上不利な箇所のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm))	(5,3,6)
6. 各部の配筋	梁せいが1.5m以上の場合の腹筋及び幅止め筋 ※ 図示 (欄仕参3,2) 基礎梁梁成1.5m以上の場合のスペーサー ・ 鉄筋加工(既製品) (欄仕参4,4) 柱の帯筋組立の形 ※ H形 ・ W-I形 ・ SP形 ・ 丸形 (欄仕参2,2) 柱の帯筋の割付け ※ 図示 ・ 5-3 帯筋の割付け 大梁のハンチの補強 ※ 図示 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び重ね継手長さ ※ 定着長さL2, 重ね継手長さL1 コンセントボックスを壁に埋め込む場合の補強 ※ 図示 (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 貫通補強 (H形 ・ MH型 ・ M型) (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 建設省技術評価又は(財)日本建築センター評価を受けたもの(原則として無孔梁の終局せん断強度以上となる補強を行う)	(5,3,2)
7. ガス圧接	ガス圧接継手は「鉄筋継手工事標準仕様書・ガス圧接継手工事」(2009年) (5,4,1) (公社)日本鉄筋継手協会による 圧接技術資格者 (5,4,2) JIS Z 3881による技量及び(公社)日本鉄筋継手協会の技量資格を有する者 圧接完了後の試験 ※ 超音波探傷試験(※ 汎用探傷器・専用探傷器) ・ 引張試験 (5,4,9) ※ 外觀試験 検査機関は(公社)日本鉄筋継手協会認定の優良鉄筋継手検査会社又は(社)C I W 認定を受けた第三者機関とし、発注は建築元請業者の直発注、契約とする。 検査技術者は(公社)日本鉄筋継手協会の鉄筋継手部検査技術者(検査対象継手部に 圧接継手部を含む者)で資格種別3種の資格者とする。 引張試験は原則として公的機関による。	(5,4,1)
8. コンクリートの種類及び品質	コンクリートの種類 (6,2,1) ※ JIS A 5308 レディミキストコンクリート ・ 国土交通大臣の認定を受けたコンクリート(建築基準法第37条第二号) コンクリートの気乾単位容積質量による種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート コンクリート仕様 (6,2,2,3,4)(6,3,1,2)(6,10,1)(6,14,1)	(6,2,1)
9. 鋼管杭地業	コンクリート地業 コンクリートの材料 ※ 高炉セメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント 組骨材の最大寸法 ※ 25mm以下 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 厚さ(mm) ※ 50	(4,6,2)(4,6,3)
10. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
11. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
12. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
13. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
14. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
15. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
16. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
17. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
18. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
19. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
20. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
21. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
22. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
23. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
24. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
25. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
26. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
27. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
28. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
29. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
30. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
31. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
32. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
33. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
34. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
35. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
36. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
37. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
38. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
39. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
40. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
41. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
42. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
43. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
44. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
45. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
46. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
47. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
48. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
49. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)
50. 鋼管杭地業	形状 ※ 図示 支持地盤の長期設計支持力度 ・ kN/m ² 支持地盤 (ラップルコンクリート地業) コンクリートの仕様 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 型枠使用の有無 ※ 無し ・ 有り	(4,6,4)

5章 鉄筋工事		
1. 材料	鉄筋の種類 規格 種類の記号 径(mm) ※ JIS G 3112 (※)SD295A D10~D16 鉄筋コンクリート用精鋼 (※)SD345 D19~D25 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき (◎)SD390 D29~ 認定を受けたせん断補強筋	(5,2,1)
2. 加工及び組立	溶接金網(JIS G 3551 溶接金網及び鉄筋格子) 鉄線の径及び網目の形状、寸法 (◎)6φ-100×100 (使用部位 防水層の保護コンクリート、配管埋設用コンクリート、かさ上げコンクリート)	(5,2,2)
3. 鉄筋の継手	柱及び梁: D19以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 D16以下 ※ 重ね継手 ・ 重ね継手の長さ ・ 図示 (◎)40d(軽量コンクリートの場合は50d)と 2-9-1(重ね継手及び定着の長さ)の表のうち 大きい値とする	(5,3,4)
4. 鉄筋の定着	※ 鉄筋コンクリート造配筋規準図(1)の 2-9(重ね継手及び定着の長さ)による ・ 図示	(5,3,4)
5. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	※ 表5.3.6による ・ 軽量コンクリートの場合のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm)) ・ 耐久性上不利な箇所のかぶり厚さ(適用箇所 かぶり厚さ(mm))	(5,3,6)
6. 各部の配筋	梁せいが1.5m以上の場合の腹筋及び幅止め筋 ※ 図示 (欄仕参3,2) 基礎梁梁成1.5m以上の場合のスペーサー ・ 鉄筋加工(既製品) (欄仕参4,4) 柱の帯筋組立の形 ※ H形 ・ W-I形 ・ SP形 ・ 丸形 (欄仕参2,2) 柱の帯筋の割付け ※ 図示 ・ 5-3 帯筋の割付け 大梁のハンチの補強 ※ 図示 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び重ね継手長さ ※ 定着長さL2, 重ね継手長さL1 コンセントボックスを壁に埋め込む場合の補強 ※ 図示 (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 貫通補強 (H形 ・ MH型 ・ M型) (欄仕参7,1)(欄仕参7,2) 建設省技術評価又は(財)日本建築センター評価を受けたもの(原則として無孔梁の終局せん断強度以上となる補強を行う)	(5,3,2)
7. ガス圧接	ガス圧接継手は「鉄筋継手工事標準仕様書・ガス圧接継手工事」(2009年) (5,4,1) (公社)日本鉄筋継手協会による 圧接技術資格者 (5,4,2) JIS Z 3881による技量及び(公社)日本鉄筋継手協会の技量資格を有する者 圧接完了後の試験 ※ 超音波探傷試験(※ 汎用探傷器・専用探傷器) ・ 引張試験 (5,4,9) ※ 外觀試験 検査機関は(公社)日本鉄筋継手協会認定の優良鉄筋継手検査会社又は(社)C I W 認定を受けた第三者機関とし、発注は建築元請業者の直発注、契約とする。 検査技術者は(公社)日本鉄筋継手協会の鉄筋継手部検査技術者(検査対象継手部に 圧接継手部を含む者)で資格種別3種の資格者とする。 引張試験は原則として公的機関による。	(5,4,1)
8. コンクリートの種類及び品質	コンクリートの種類 (6,2,1) ※ JIS A 5308 レディミキストコンクリート ・ 国土交通大臣の認定を受けたコンクリート(建築基準法第37条第二号) コンクリートの気乾単位容積質量による種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート コンクリート仕様 (6,2,2,3,4)(6,3,1,2)(6,10,1)(6,14,1)	(6,2,1)
9. 鋼管杭地業	コンクリート地業 コンクリートの材料 ※ 高炉セメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント 組骨材の最大寸法 ※ 25mm以下 設計基準強度(N/mm ²) ※ 18 スランプ(cm) ※ 15 ・ 18 厚	

7章 鉄骨工事

1. 一般事項

2. 材料

3. 工作一般

4. 高力ボルト接合

5. 溶接接合

6. スタッド溶接及びデッキプレート

7. 錆止め塗装

5. 溶接接合

施工管理技術者

溶接施工管理技術者の資格 (WES 8103) ※1級・2級 (7,6,2)

検査機関

検査技術者

第三者機関

溶接施工試験

溶接接合部の写真の提出

放射線透過試験及びエンドタブを用いたマクロ試験

スタッド溶接技術者の技量付加試験

スタッド溶接技術者(下向き, 横向き)

デッキプレートの溶接方法

合成立体用デッキプレートの溶接方法

錆止め塗料及び素地ごしらえの種類

塗料種類

塗り回数

耐火被覆部の錆止め塗装

SRC造の鋼製スリーブの内面

8. 工事現場施工

9. 溶融垂鉛めっき

10. 食い違い・ずれ及びアンダーカットの検査・補強

11. 筋頭補強筋の溶接

12. 溶融垂鉛めっき

13. 溶融垂鉛めっき作業

14. 溶融垂鉛めっき高力ボルト接合部の腐蝕面の処理

15. JASS6・12.4 めっき部材の矯正, 検査及び補修による検査

16. 溶接形状

17. 溶接方法, 溶接材料及び溶接技術者

建築工事指定業者及びメーカーリスト

工事区分

地業工事

鉄筋工事

コンクリート工事

鉄骨工事

令第129条の2の4の事項

1. 建築物に設ける昇降機にあっては, 構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。

2. 建築物に設ける建築設備にあっては, 構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。

3. 建築物に設ける給水, 排水その他の配管設備

設計者

一級建築士

第252552号

小林 直彦

一級建築士

第214892号

塚田 幸一

構造設計一級建築士

第4259号

検査者

三原市新斎場建設工事 (外構工事)

設計番号

158913

図面番号

S - 002

建築工事特記仕様書(11) <構造関係(2)>

2017. 3. 21

1 適用範囲
(a)本配筋標準図は、鉄筋コンクリート造(鉄骨鉄筋コンクリート造を含む)における鉄筋の加工、組立の一般的な基準とする。
(b)本配筋標準図以外については設計図書及び監理者の指示による。
(c)本配筋標準図で「図示」とあるのは、設計図面に記載事項を意味する。
(d)本配筋標準図で「特記」とあるのは、「建築工事特記仕様書<構造関係>」の記載事項を意味する。
(e)本配筋標準図は、設計図面の一部とする。

2-1 鉄筋の断面表示
表: 異形 D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29, D32, D35, D38
記号: 異形, D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29, D32, D35, D38

2-2 加工及び組立(一般事項)
(a)鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせて、常温で正しく加工して組み立てる。
(b)異形鉄筋の径(d)は、呼び名に用いた数値とする。
(c)有害な曲り又は損傷のある鉄筋は使用してはならない。
(d)コイル状の鉄筋は、直線状態にしてから使用する。この際、鉄筋に損傷を与えない。
(e)鉄筋には、点付け溶接、アークストライク等を行ってはならない。

2-3 加工
(a)鉄筋の切断は、シャーカッター又はのこぎりに行う。ただし、やむを得ない場合は、ガス切断とすることができる。
(b)異形鉄筋の末端部のフックは、2-7(フック)による。
(c)鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、2-8(鉄筋の折曲げ)による。

2-4 組立
(a)鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、用金物等を使用して行う。
(b)前記に打込まれたコンクリートから出ている鉄筋の位置を修正する場合は、鉄筋を急に曲げることなく、できるだけ長い距離で修正する。

2-5 継手
(a)鉄筋の継手は、重ね継手、ガス圧接継手又は機械式継手、溶接継手(建設省告示1463号に適合するもの)とし、適用は特記による。
(b)溶接継手は、アーク溶接とし、共仕7.6.5(部材の組立)(d)及び7.6.7(溶接施工)(e)による。又、溶接技術者は、共仕7.6.3(技術資格者)に準じ、工事に相応した技量を有する者とする。
(c)重ね継手及び定着の長さは、2-9(重ね継手及び定着の長さ)による。
(d)隣り合う継手の位置は、2-10(隣り合う継手の位置)による。
(e)溶接金網、スパイラル筋の継手及び定着は、それぞれ2-11(溶接金網の継手及び定着)、2-12(スパイラル筋の継手及び定着)による。

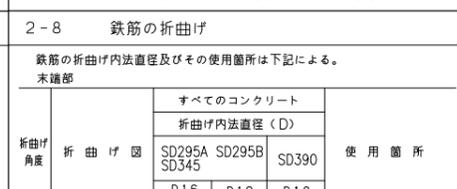
2-6 溶接
2-6-1 溶接材料の種類
表: 種類, 規格番号, 規格名称
被覆アーク溶接棒: JIS Z 3211, JIS Z 3212
ガスシールドアーク溶接用ワイヤ: JIS Z 3312
セルフシールドアーク溶接用ワイヤ: JIS Z 3313

2-6-2 材料の取扱い
溶接材料は、丁寧に取扱い、被覆材は脱、汚損、変質、吸湿、著しい錆のあるもの等は使用しない。吸湿の疑いがあるものは、その種類に応じた乾燥条件で乾燥する。
2-6-3 溶接技術者
(a)溶接技術者は、工事に相応した次に示す試験等により(社)日本溶接協会が検定した技量資格を有する者とする。
(1)炭素鋼の手溶接の場合は、JIS Z 3801(手溶接技術検定における試験方法及び判定基準)
(2)炭素鋼の半自動溶接の場合は、JIS Z 3841(半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準)
(3)組立溶接の場合は、上記(1)又は(2)の基本級以上とする。
(b)溶接技術者の技量に疑いを生じた場合は、工事に相応した試験を行い、その適否を判定し、監理者の承認を受ける。

2-6-4 溶接施工
(a)溶接機とその付属用具は、溶接条件に適した構造及び機能を有し、安全に良好な溶接が行えるものとする。
(b)溶接部は、有害な欠陥のないもので、表面は、できるだけ滑らかなものとする。
(c)溶接順序は、溶接による変形及び拘束が少なくなるように定める。
(d)材質、材質、気温などを考慮のうえ、必要に応じて適切な溶接条件となるよう注意を行う。
(e)溶接に支障となるスラグ及び溶接完了後のスラグは急いで除去する。
(f)着しスパッタ及び塗膜下地となる部分のスパッタは、除去する。
(g)アークストライクは行わない。ただし、アークストライクを起した場合は、鋼材表面を平滑に仕上げする。
2-6-5 鉄筋のフレア溶接
鉄筋のフレア溶接は下記による。



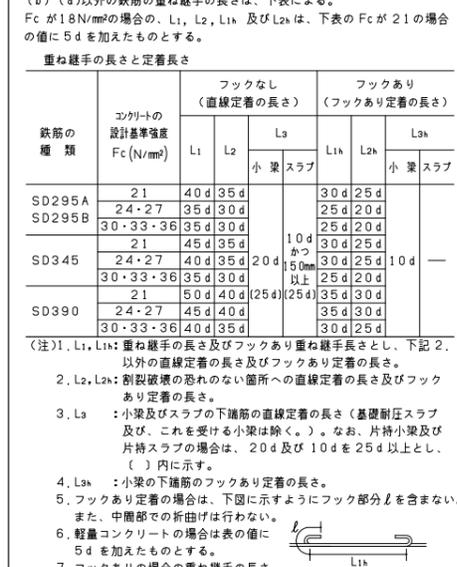
2-7 フック
異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックをつける。
(1)柱の四隅にある主筋(●)で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。
(2)梁主筋の重ね継手で、梁の出隅及び下端の両端(●)にある場合。ただし、基礎梁を除く。
(3)煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)。
(4)杭基礎のベース筋。
(5)帯筋、あばら筋及び幅止め筋。



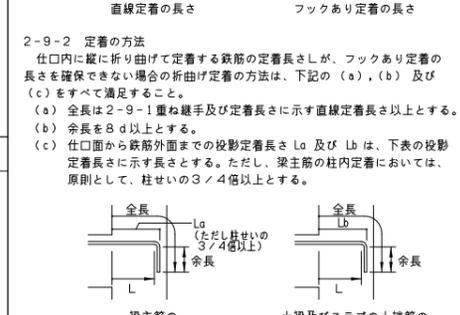
2-8 鉄筋の折曲げ
表: 折曲げ角度, 折曲げ図, 使用箇所
180度: 柱・梁の主筋, 基礎のベース筋
135度: あばら筋, 帯筋, スパイラル筋
90度: T形及びL形梁のあばら筋
135度及び90度(幅止め筋)

2-9 重ね継手及び定着の長さ
表: 鉄筋の種類, 設計基準強度 Fc(N/mm²), 長さ (L1, L2, L1h, L2h)

2-9-1 重ね継手及び定着の長さ
重ね継手及び定着の長さは下表による。
(a)柱及び梁の主筋並びに耐力鉄筋の鉄筋の継手の長さは、特記による。
(b)耐力鉄筋の鉄筋の継手の場合、特記がなければ、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。
(c)L1, L1h: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手長さとし、下記2.以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
(d)L2, L2h: 斜裂破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
(e)L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ(基礎耐圧スラブ及び、これを受ける小梁を除く)。なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とし、()内に示す。
(f)L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
(g)フックあり定着の場合は、図面に示すようにフック部分lを含めない。また、中間部での折曲げは行わない。
(h)軽量コンクリートの場合は表の値に5dを加えたものとする。
(i)フックありの場合の重ね継手の長さ

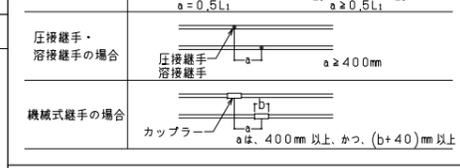


2-9-2 定着の方法
仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さlが、フックあり定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、下記の(a)、(b)及び(c)をすべて満足すること。
(a)全長は2-9-1重ね継手及び定着長さに示す直線定着長さ以上とする。
(b)余長は8d以上とする。
(c)仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びLbは、下表の投影定着長さに示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

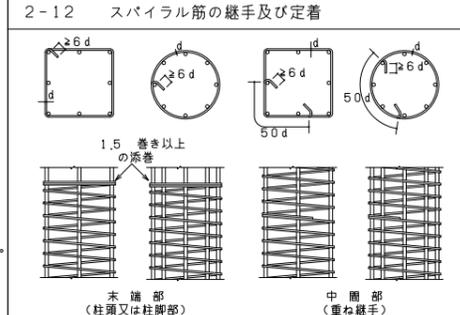


2-10 隣り合う継手の位置
表: 鉄筋の種類, 設計基準強度 Fc(N/mm²), La, Lb

2-10 隣り合う継手の位置
隣り合う継手の位置は下表による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。なお、先組工法等で柱、梁の主筋の継手を同一箇所にする場合は、特記による。



2-11 溶接金網の継手及び定着
溶接金網の継手及び定着は図による。
(a)1節半以上かつ150mm以上
(b)1節半以上かつ150mm以上

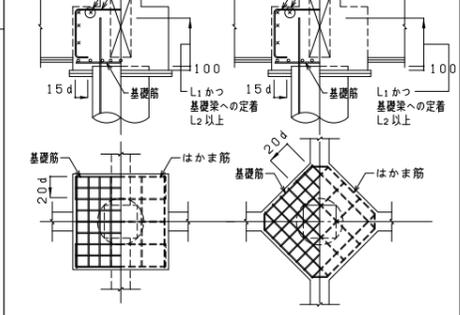
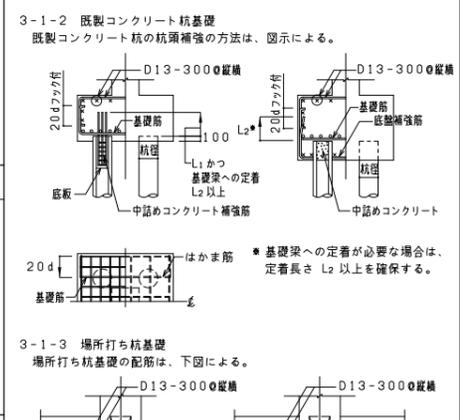


2-13 鉄筋のかぶり厚さ
(a)鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、特記による。特記がなければ下表による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを、径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。
(b)柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

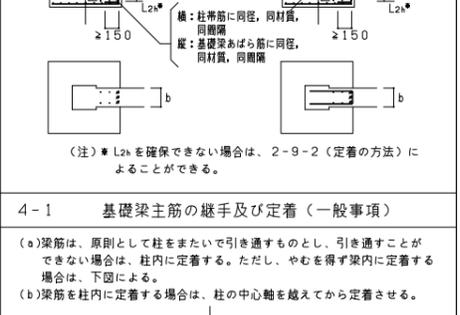
2-13 鉄筋のかぶり厚さ
表: 構造部分の種類, 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

(注)1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は()内の数値による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上げ材料、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久性上有効でない仕上げのものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直線土に接する部分のかぶり厚さには、槍コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は特記による。
(c)鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
(d)貫通土に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

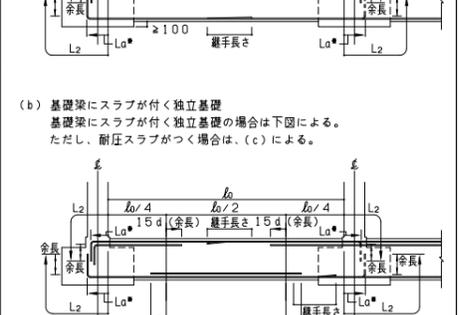
2-14 鉄筋相互のあき
(a)鉄筋相互のあきは、下記の値のうち最大のものを以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合はあきは、特記による。
(1)粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2)25mm
(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値d)の1.5倍



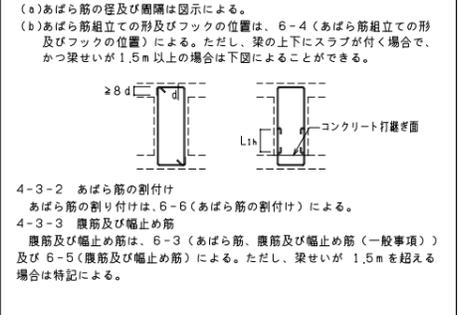
3-2 基礎接合部の補強
基礎接合部の補強配筋は図による。



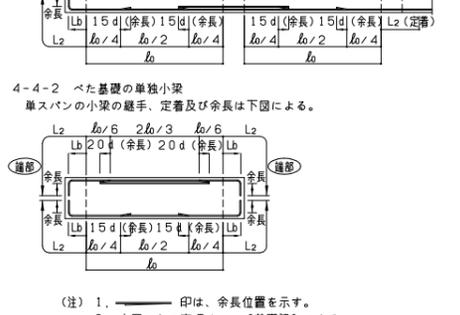
4-1 基礎梁主筋の継手及び定着(一般事項)
(a)梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図による。
(b)梁筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を越えてから定着させる。



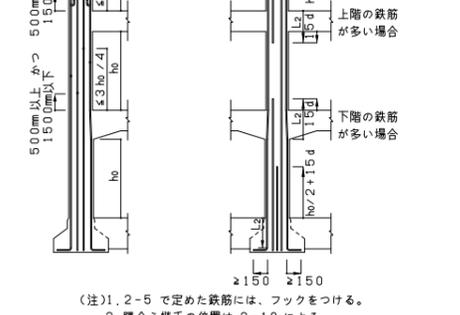
4-2 基礎梁主筋の継手、定着及び余長
(a)基礎梁にスラブが付かない独立基礎
基礎梁にスラブが付かない独立基礎の場合は図による。
(b)基礎梁にスラブが付く独立基礎
基礎梁にスラブが付く独立基礎の場合は図による。ただし、耐圧スラブがつけく場合は、(c)による。
(c)連続基礎及びべた基礎
連続基礎及びべた基礎の場合は図による。



4-4 ベタ基礎の基礎小梁主筋の継手、定着及び余長
4-4-1 ベタ基礎の連続小梁
連続する小梁の継手、定着及び余長は図による。
4-4-2 ベタ基礎の単独小梁
単スパンの小梁の継手、定着及び余長は図による。

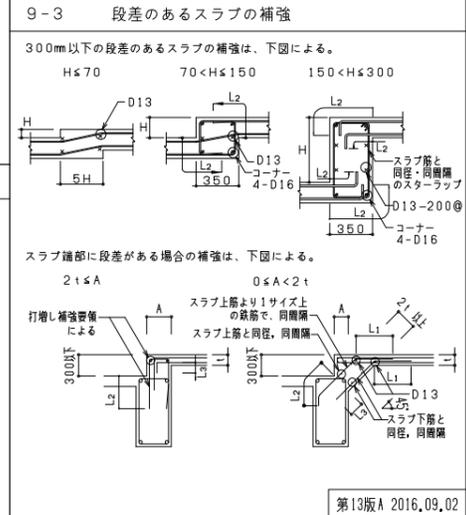
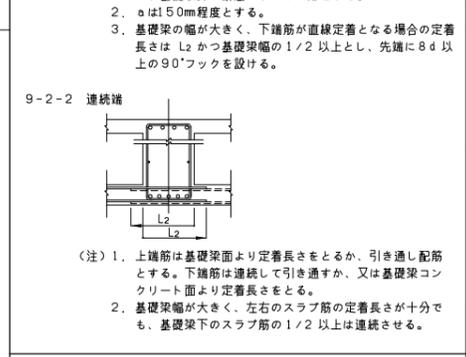
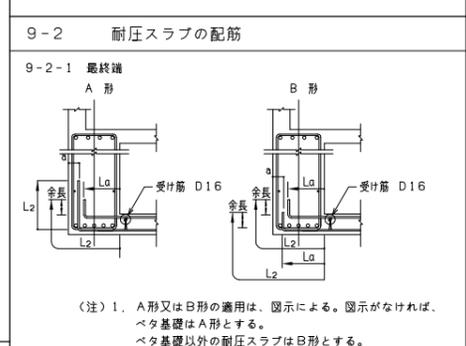
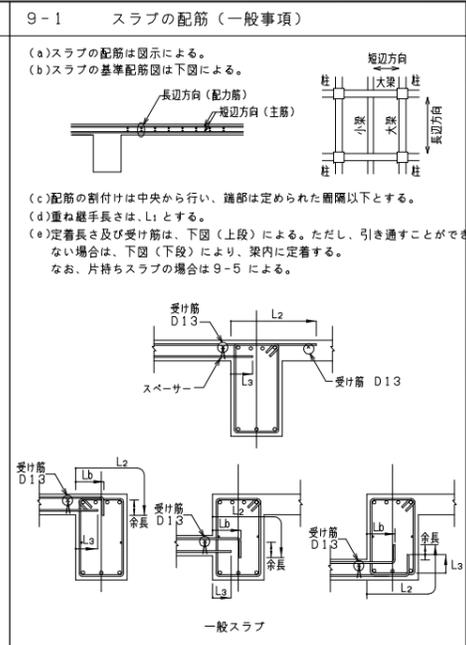
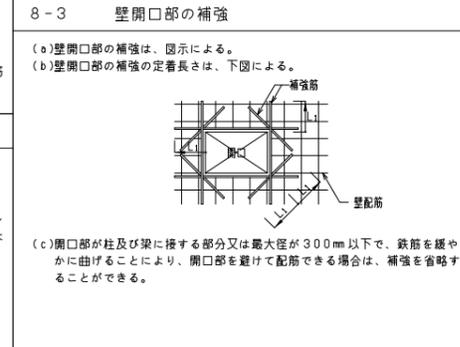
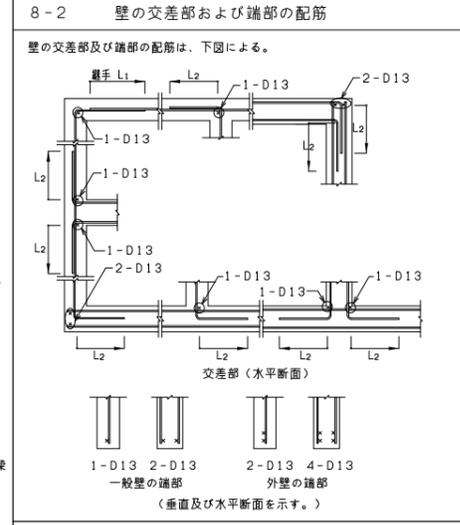
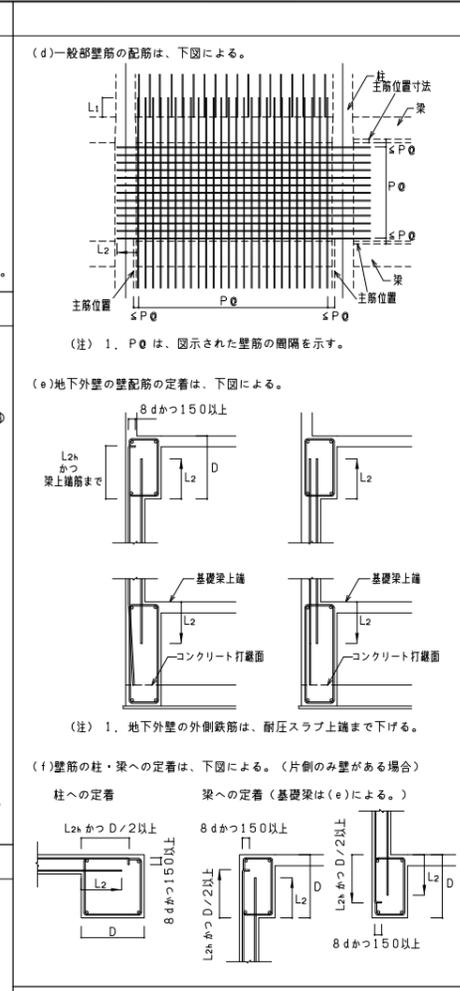
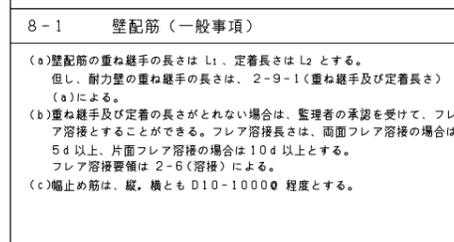
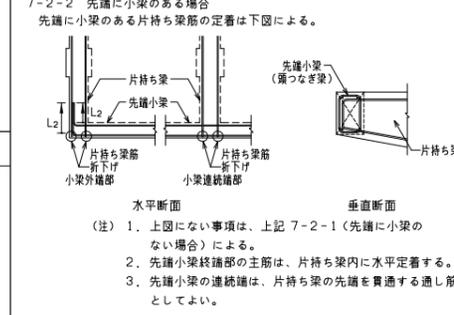
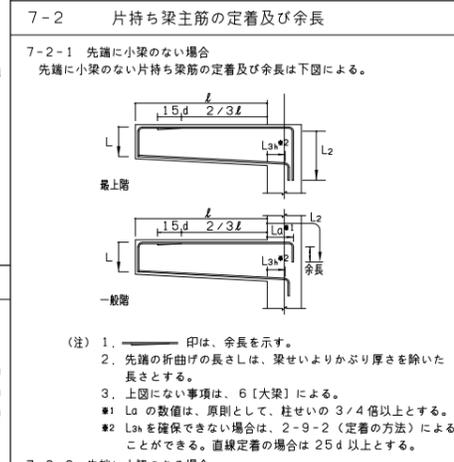
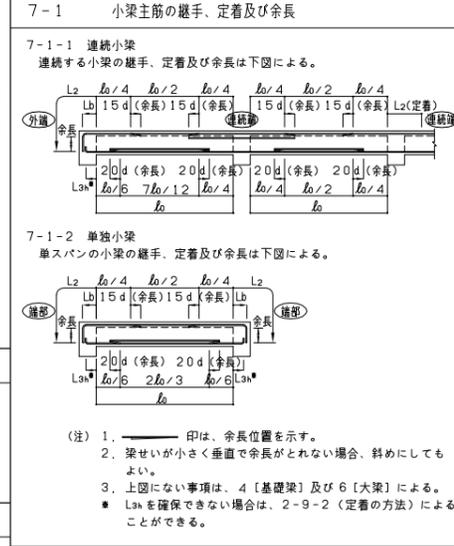
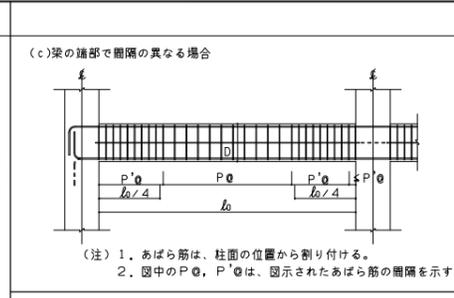
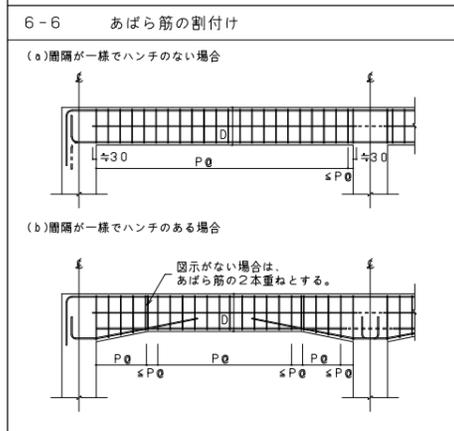
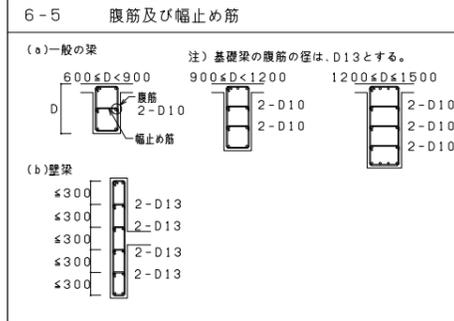
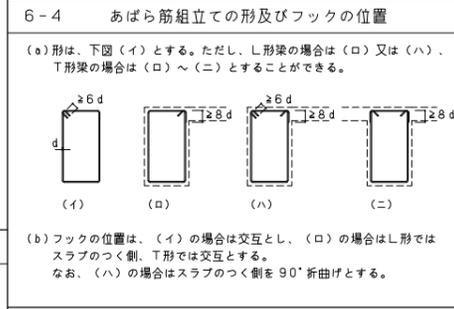
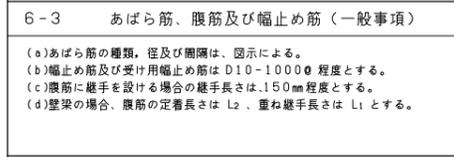
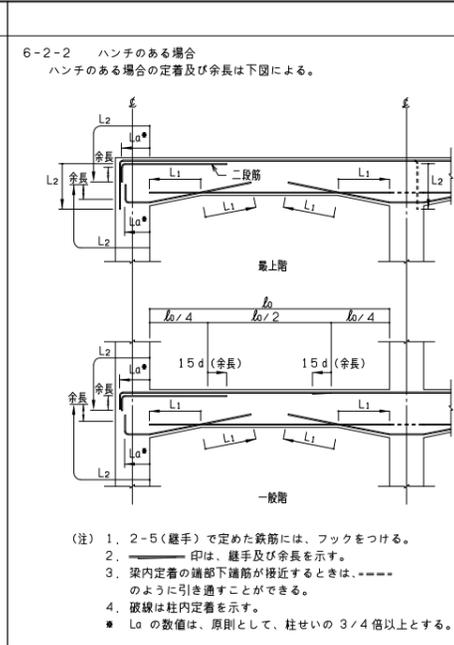
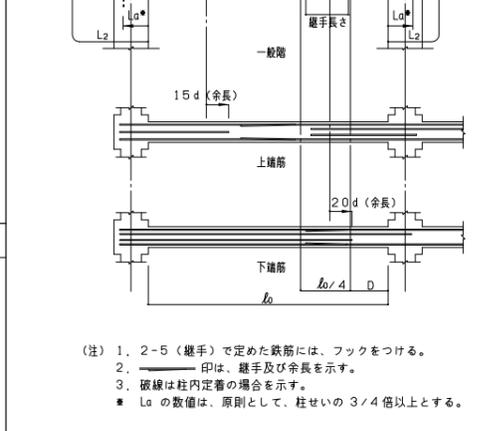
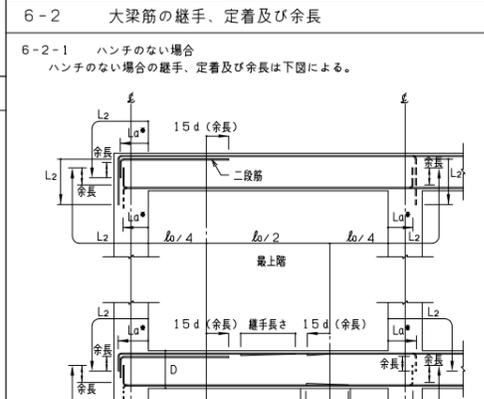
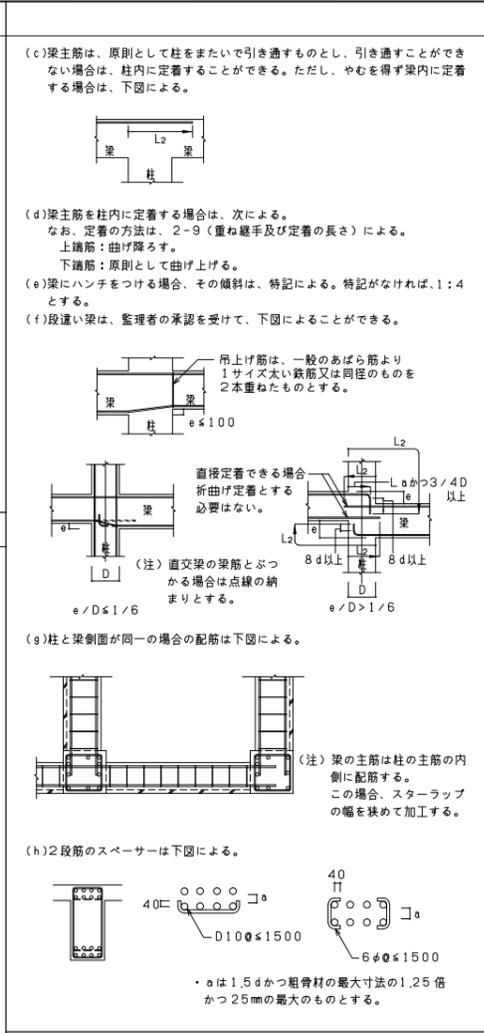
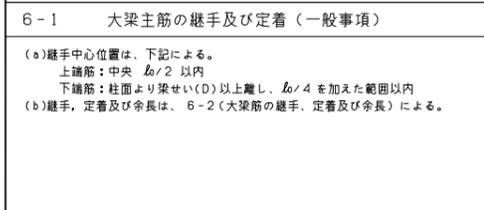
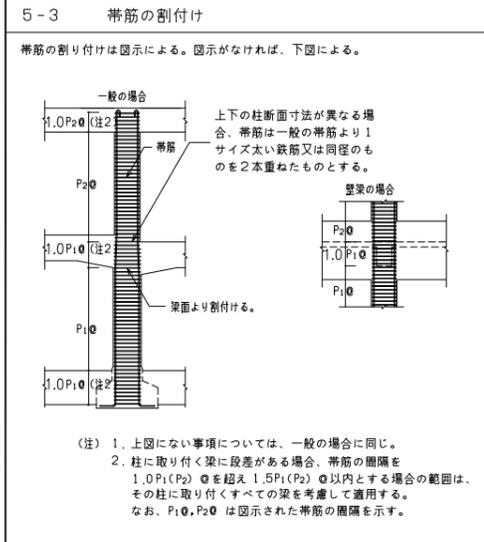
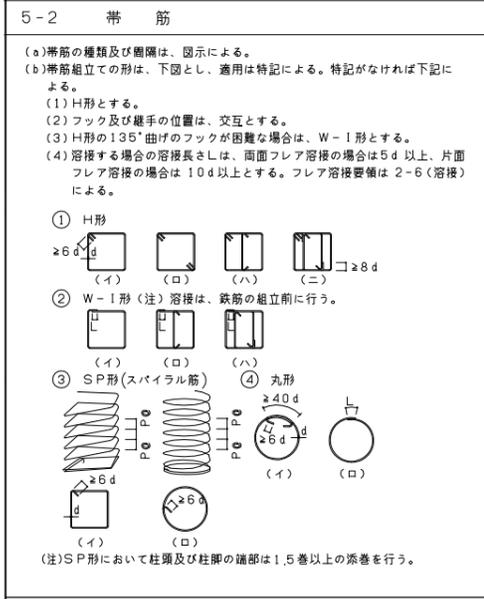
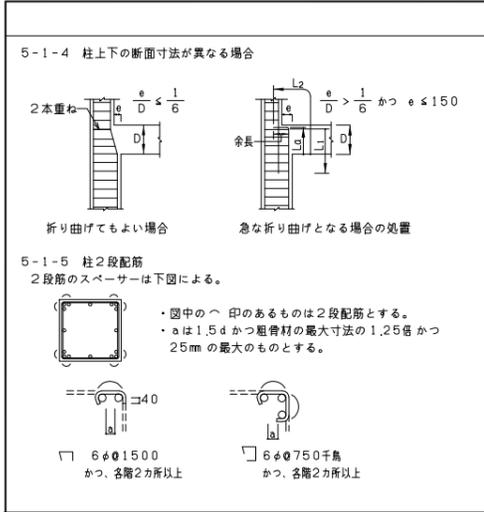


5-1 柱主筋の継手、定着及び余長
5-1-1 一般事項
(a)継手中心位置は、梁上端から500mm以上かつ1500mm以下かつ3ho/4(hoは柱の内法高さ)以下とする。
(b)最下階主筋の継手中心位置は、梁上端から柱せい以上かつ1500mm以下かつ3ho/4(hoは柱の内法高さ)以下とする。
(c)継手、定着及び余長は図による。ただし、柱頭定着長さL2が確保できない場合は5-1-2(柱頭定着長さL2が確保できない場合)による。



5-1-2 柱頭定着長さL2が確保できない場合
(a)かご鉄筋(柱筋と同径、同材質とする)
(b)四隅部の柱筋、かご鉄筋はフック付
(c)A-A断面
(d)B断面





9-4 片持ちスラブの配筋

スラブの配筋は図示による。

(a)一般部

(b)先端に壁が付く場合

(c)出隅部

(注) 1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。(※2)
3. 主筋径はD16以下とする。
4. 連続スラブの補強筋は図示による。(※4)

9-5 スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は図示による。図示がなければ下記による。

(a)スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合、下図により開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。

(b)スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

9-6 屋根スラブの補強筋

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

9-7 土間スラブの打越ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちしない、打越ぎを設ける場合の補強は、下記による。ただし、土間スラブとは、土(除くコンクリート等の場合を含む)に接する構造スラブをいう。

9-8 土間コンクリートの補強筋

土間コンクリートの補強筋は図示による。なお、基礎梁との接合部は下図による。

10-1 階段の配筋

階段の配筋は図示による。図示がなければ下表による。階段の基準配筋は下図による。

10-1-1 片持ちスラブ形 (KA)

(注) 1. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に降る。
2. 踊場主筋、配筋の継手及び定着の長さは、9-1による。
3. 主筋径はD16以下とする。

階段配筋リスト (片持ちスラブ形)

符号	段ばな筋	踊場	踊場	スパン L (mm)
KA11	2-D13	150	D10, D13-200φ	L ≤ 1500
KA12	2-D16	150	D13-200φ	1500 < L ≤ 2000

10-1-2 二辺固定スラブ形 (KB)

(注) 1. L1 ≥ L2 とする。
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁に L1 定着する。

階段配筋リスト (二辺固定スラブ形)

符号	厚さ (t)	主筋	配筋 (踊場)	スパン L (mm)
KB11	180	D16-125φ	D13-200φ	4000 < L ≤ 5000
KB12	200	D16-100φ	D13-200φ	5000 < L ≤ 6000

11-1 柱の打増し補強

柱の打増し補強は、下図により、打増し幅が70mm以上200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、図示による。

11-2 梁の打増し補強

梁の打増し補強は、下図により、打増し幅が70mm以上200mm以下の場合に適用する。200mmを超える場合は、図示による。

11-3 壁の打増し補強

壁の打増し補強配筋は下図により、打増し厚さaが50mm以上200mm以下に適用する。200mmを超える場合は図示による。

12-1 手すり及びパラベットの配筋

12-2 機械吊り上げフック

梁に設ける機械吊り上げフックは、下記による。

種別	A種	B種	C種
フック部	φ25又はD25	φ22又はD22	φ19又はD19
曲げ内法直径 (mm)	100		
補強かざし筋		2-D16	
補強長筋 (mm)	D16, L=900	D16, L=750	D16, L=600
吊り上げ荷重 (kN)	50 ≥ W > 30	30 ≥ W > 10	10 ≥ W
(ton)	5 ≥ W > 3	3 ≥ W > 1	1 ≥ W

(注) 丸鋼の材質は、SS400とする。

13-1 補強コンクリートブロック造

13-1-1 一般事項
下記に定める以外の事項は1~12による。
(a)壁筋は、原則としてブロック中心部に配筋し、上下端は、がりがよ、基礎等に定着する。なお、壁筋に継手を設けない。
(b)壁筋は、壁筋部縦筋に180°フックによりかぎ掛けとする。ただし、直交壁がある場合は、直交壁に定着又は直交壁の筋に重ね継手とする。
(c)壁筋のかぶり厚さは、20mmとする。ただし、ブロックフェイスシェルは、かぶり厚さには含まない。
(d)壁筋の重ね継手長さは45dとし、定着長さは40dとする。

13-1-2 各部の配筋
(a)各部の配筋は、図示による。
(b)図示がなければ交差部、諸部(開口部)の配筋は、下図による。

14-1 コンクリートブロック帳壁

14-1-1 一般事項
(a)主筋は、原則としてブロック中心部に配筋し、構造体に定着する。なお、主筋には継手を設けない。ただし、両面5d以上又は片面10d以上のアーク溶接を行う場合は、継手を設けることができる。
(b)壁筋は、壁筋部縦筋に180°フックによりかぎ掛けとする。ただし、直交壁がある場合は、直交壁に定着又は直交壁の筋に重ね継手とする。
(c)壁筋のかぶり厚さは40dとし、定着長さは下記による。
(1)帳壁配筋の構造体部分への定着長さは25dとする。ただし、監理者の承認を受けて、あと施工アンカーとすることができる。
(2)1以外の定着長さは40dとする。
(d)ブロック積み目のスパン及び高さは、下記による。

ブロック厚さ	スパン及び高さ
100	2500
150	3500

14-1-2 各部の配筋
(a)壁の配筋は図示による。ただし、図示がなければ下表による。

壁の配筋		開口部補強筋(縦筋)	端部補強筋
縦筋	D10-400φ	1-D13	1-D13
横筋	D10-400φ		

(b)帳壁の交差部、諸部(開口部)の配筋は、下図による。

(c)帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、下図による。

(d)コンクリートブロック帳壁との取合い
(1)控壁の配筋は、図示による。
(2)配筋は、下図による。

14-2 煙突の配筋

煙突の配筋は図示による。図示がなければ、下記による。

(a)最上階床より突出長さが1.5m以下の場合

(b)最上階床より突出長さが1.5mを超え、3m以下の場合

16 釜場の配筋

釜場の配筋は図示による。図示がなければ、下記による。

(a)最上階床より突出長さが1.5m以下の場合

(b)最上階床より突出長さが1.5mを超え、3m以下の場合

17 釜場の配筋

釜場の配筋は図示による。図示がなければ、下記による。

(a)最上階床より突出長さが1.5m以下の場合

(b)最上階床より突出長さが1.5mを超え、3m以下の場合

15 機械基礎の配筋

(a)機械基礎(室内)

W	L	H	鉄筋補強	コーナー筋	箇所数
			D10-200φ	D13	
			D10-200φ	D13	
			D10-200φ	D13	

(b)機械基礎(室外)

W	L	H	鉄筋補強	コーナー筋	箇所数
			D10-200φ	D13	
			D10-200φ	D13	
			D10-200φ	D13	

(注) アスファルト防水層にかかる面圧 ≤ 1.0 t/m² の場合に適用。

16 煙突の配筋

煙突の配筋は図示による。図示がなければ、下記による。

(a)最上階床より突出長さが1.5m以下の場合

(b)最上階床より突出長さが1.5mを超え、3m以下の場合

17 釜場の配筋

釜場の配筋は図示による。図示がなければ、下記による。

(a)最上階床より突出長さが1.5m以下の場合

(b)最上階床より突出長さが1.5mを超え、3m以下の場合

18 杭頭補強筋の溶接(開先付き異形棒鋼)

開先付き異形棒鋼(大臣認定品)の溶接は、図示による。図示がなければ、下記による。

有効のど厚(a) 余盛の許容範囲(h) (0~6.0mm)

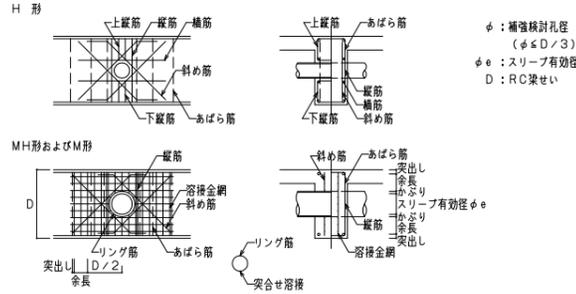
有効のど厚(a)	WD25N	WD32N	WD35N	WD38N
6.0mm以上	10.0mm以上	10.5mm以上	12.5mm以上	

溶接外端位置マーク(開先付き異形棒鋼の外端) ルートギャップ(G) 3mm以下

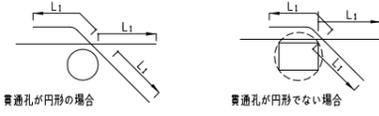
鉄筋コンクリート造梁の梁貫通孔補強要領

1 梁貫通孔の補強（一般事項）

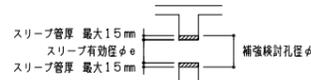
梁貫通孔の補強は下記による。
(a) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。



(b) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、補強検査孔径 ϕ とする。孔が円形でない場合はこれの外挿円とする。
(c) 孔の設置位置は、2-3 設置範囲 による。
(d) 孔が並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とし、上下に配置してはならない。
(e) 入通孔は、スパン中央部(ℓ/2) 範囲内に配置することを原則とする。
(f) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(g) 補強筋は主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは下記による。



(h) 溶接金網の余長は、1絡り以上とし、突出しは10mm以上とする。
(i) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
(j) 溶接金網の割付け地点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
(k) スリーブ有効径 ϕ は管内径であり、補強検査孔径 ϕ とは異なる。
梁貫通補強筋に用いる孔径 ϕ はスリーブ有効径 ϕ +スリーブ管厚 \times 2とする。



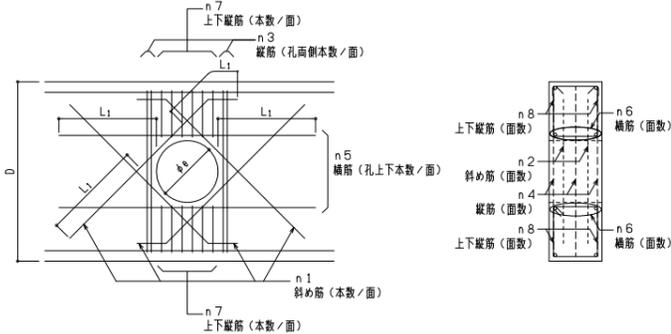
(l) 大臣認定を取得した梁貫通補強材を用いて貫通補強を行う場合は、以下の設計条件で行うこと。
・基礎梁は塑性ヒンジが発生していない部分とする。
・既製品、検討内容等に関しては、設計者・監理者の承認を得ること。
(m) 基礎梁に塑性ヒンジが発生する場合は、別途図示すること。

2 補強要領

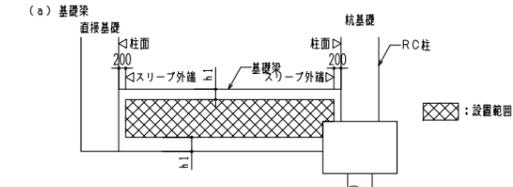
2-1 補強の形式と種類

補強筋種別	斜め筋 (n1-n2-鉄筋径)	縦筋 (n3-n4-鉄筋径)	横筋 (n5-n6-鉄筋径)	上下縦筋 (n7-n8-鉄筋径)
H1	2-2-D13	なし	なし	なし
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D16	3-2-D13
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D16	3-2-D13
H7	4-2-D22	4-2-D16	2-2-D13	3-2-D16
H8	4-2-D25	4-2-D16	2-2-D13	3-2-D16
H9	4-4-D25			

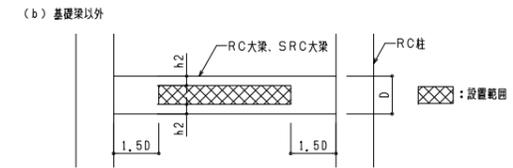
2-2 配筋種別



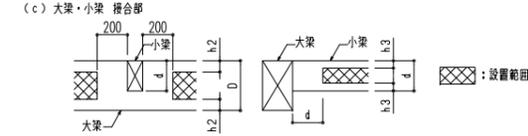
2-3 設置範囲



(注) 1. 基礎梁は塑性ヒンジが発生していない部分とする。
2. $h1 \geq 200$ mm かつ主筋のかぶり厚さを確保した寸法

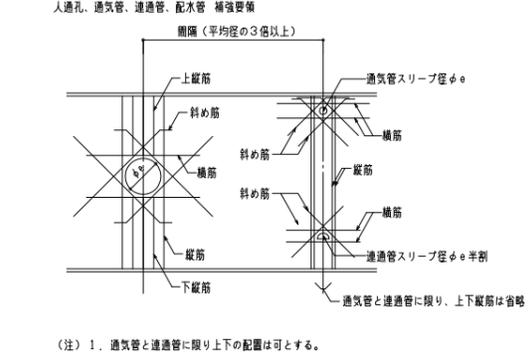


(注) 1. $h2 \geq 200$ mm かつ主筋のかぶり厚さを確保した寸法



(注) 1. $h2 \geq 200$ mm かつ主筋のかぶり厚さを確保した寸法
2. $h3 \geq 200$ mm かつ主筋のかぶり厚さを確保した寸法

2-4



(注) 1. 透気管と連通管に限り上下の配置は可とする。

■RC補強リスト

階	梁符号	B (mm)	D (mm)	スリーブ呼径 (mm)	補強筋種別	数量
1F	FG1(FG1A)	500	2000	100	H5	22
1F	FG1(FG1A)	500	2000	150	H6	24
1F	FG1(FG1A)	500	2000	300	H8	2
1F	FG2(FG2A)	600	2000	100	H5	14
1F	FG2(FG2A)	600	2000	150	H6	14
1F	FG2(FG2A)	600	2000	300	H8	2
1F	FG11(FG11B)	500	2000	100	H6	26
1F	FG11(FG11B)	500	2000	150	H6	6
1F	FG11(FG11B)	500	2000	300	H8	2
1F	FG12	500	2000	100	H5	5
1F	FG13(FG13A)	600	2000	100	H6	4
1F	FG13(FG13A)	600	2000	150	H6	4
1F	FG13(FG13A)	600	2000	300	H8	14
1F	FG14	500	2000	100	H6	9
1F	FG14	500	2000	150	H6	14
1F	FB1	400	2000	100	H5	39
1F	FB1	400	2000	150	H6	51
1F	FB2	400	2000	100	H5	3
1F	FB2	400	2000	150	H6	3
1F	B1	300	600	100	H2	3
1F	B1	300	600	150	H2	4
1F	B3	300	700	150	H5	2

階	梁符号	B (mm)	D (mm)	スリーブ呼径 (mm)	補強筋種別	数量
2F	G1(G1C)	400	750	200	H4	44
2F	G2	400	750	200	H6	5
2F	G11(G11C)	500	800	200	H5	5

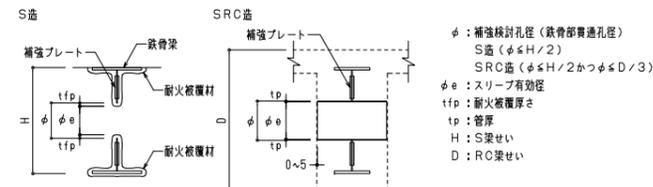
■人通孔補強リスト

階	梁符号	B (mm)	D (mm)	スリーブ呼径 (mm)	補強筋種別	数量
1F	FG1(FG1A)	500	2000	600	H9	6
1F	FG2(FG2A)	600	2000	600	H9	6
1F	FG11(FG11B)	500	2000	600	H9	4
1F	FG12	500	2000	600	H9	4
1F	FG13(FG13A)	600	2000	600	H9	6
1F	FG14	600	2000	600	H9	2
1F	FB1	400	2000	600	H9	16
1F	FB2	400	2000	600	H9	2

鉄骨造梁の梁貫通孔補強要領（鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨部共通）

1 梁貫通孔の補強（一般事項）

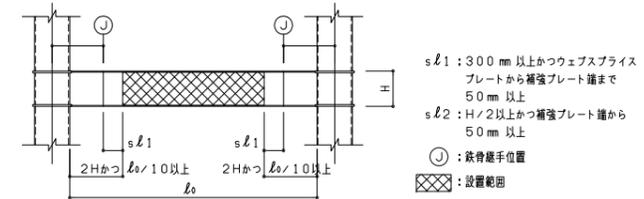
梁貫通孔の補強は下記による。
(a) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。



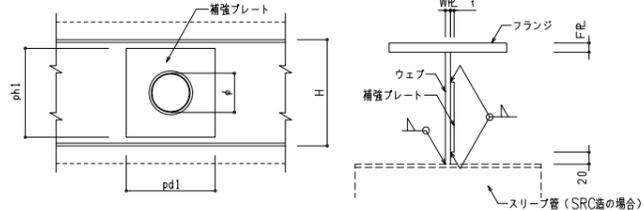
(b) スリーブ最大径は、S造 鉄骨梁せいのH/2以下、SRC造 鉄骨梁せいのH/2以下およびRC梁せいのD/3以下のうち小さい値とする。
(c) 孔の設置位置は、2-1 設置範囲 による。
(d) 孔中心間隔は、S造は平均 ϕ の2倍以上、SRC造は平均 ϕ の3倍以上とする。
(e) 施工者は、スリーブ径 ϕ とスリーブ有効径 ϕ との関係を確認し、質疑等が生じた場合は監理者と協議し、適切な径にしなければならぬ。
(f) tpf は、建築工事特記仕様書(2) に示された材料により決定する。
(g) 大臣認定を取得した梁貫通補強材を用いて貫通補強を行う場合は、設計者・監理者の承認を得ること。

2 補強要領（S・SRC造共）

2-1 設置範囲



2-2 補強要領



(注) 1. $ph1, pd1$ は、図示とする。
2. 補強プレート厚 $t \geq 16$ mm となる場合は、片面補強は行わず両面補強とする。

■S補強リスト

H (mm)	WR (mm)	FR (mm)	貫通孔径 (mm)	補強プレート $t \times ph1 \times pd1$	数量

参考

1 スリーブ径

(a) スリーブ管の外径および管厚（RC造）

ポイド			VP管			
呼径 (mm)	管厚 (mm)		呼径 (mm)	外径 (mm)	管厚 (mm)	近似内径 (mm)
50	2.0		13	18	2.2	13
75	2.5		16	22	2.7	16
90	3.0		20	26	2.7	20
100	3.0		25	32	3.1	25
125	3.0		30	38	3.1	31
150	3.5		40	48	3.6	40
175	3.5		50	60	4.1	51
200	4.0		65	76	4.1	67
250	4.5		75	89	5.5	77
300	5.5		100	114	6.6	100
350	6.0		125	140	7.0	125
400	6.5		150	165	8.9	146
450	7.0		200	216	9.2	196
500	7.5		250	267	9.2	247
600	8.0					

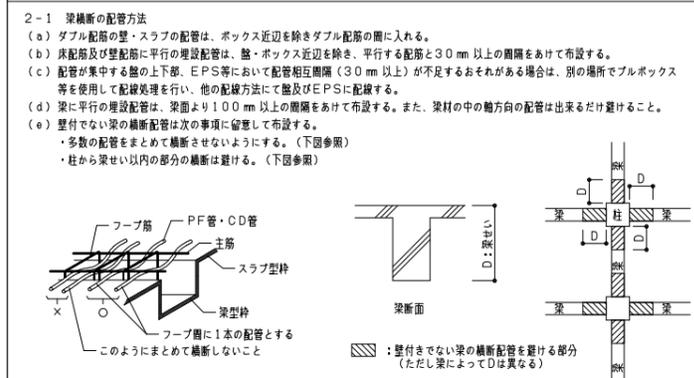
VU管				SU管			
呼径 (mm)	外径 (mm)	管厚 (mm)	近似内径 (mm)	呼径 (mm)	外径 (mm)	管厚 (mm)	近似内径 (mm)
40	48	1.8	44	25x28	28	1.5	25
50	60	1.8	56	32x35	35	1.5	32
65	76	2.2	71	50x54	54	2.0	50
75	89	2.7	83	63x68	68	2.5	63
100	114	3.1	107	75x80	80	2.5	75
125	140	4.1	131	100x106	106	2.5	100
150	165	5.1	154	125x134	134	3.0	125
200	216	6.5	202	LP150	156	3.0	150
250	267	7.8	250	157x165	165	4.5	157
300	318	9.2	298	206x216	216	5.0	206
350	370	10.5	347				
400	420	11.8	394				
450	470	13.2	441				
500	520	14.6	488				
600	630	17.8	591				

(b) スリーブ呼径および鋼管（SRC造）

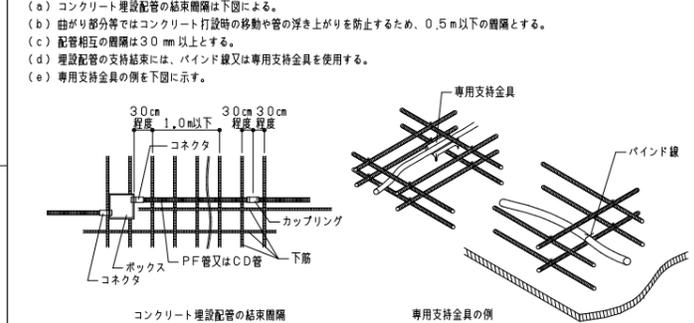
呼径 (mm)	鋼管 (mm)	鋼管有効径 (mm)
100	ϕ -114.3x3.2	107.9
130	ϕ -139.8x3.2	133.4
150	ϕ -165.2x3.8	157.6
200	ϕ -216.3x4.5	207.3
250	ϕ -267.4x6.0	255.4
300	ϕ -318.5x6.0	306.5
350	ϕ -355.6x6.4	342.8
400	ϕ -406.4x6.4	393.6
450	ϕ -457.2x6.4	444.4

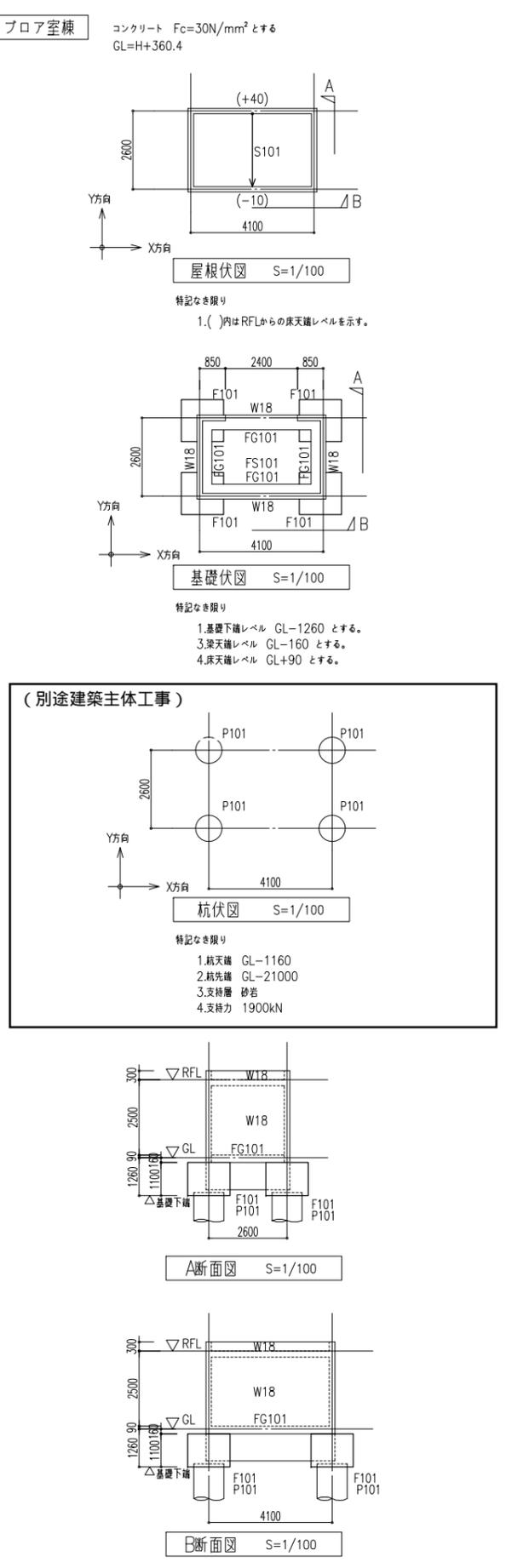
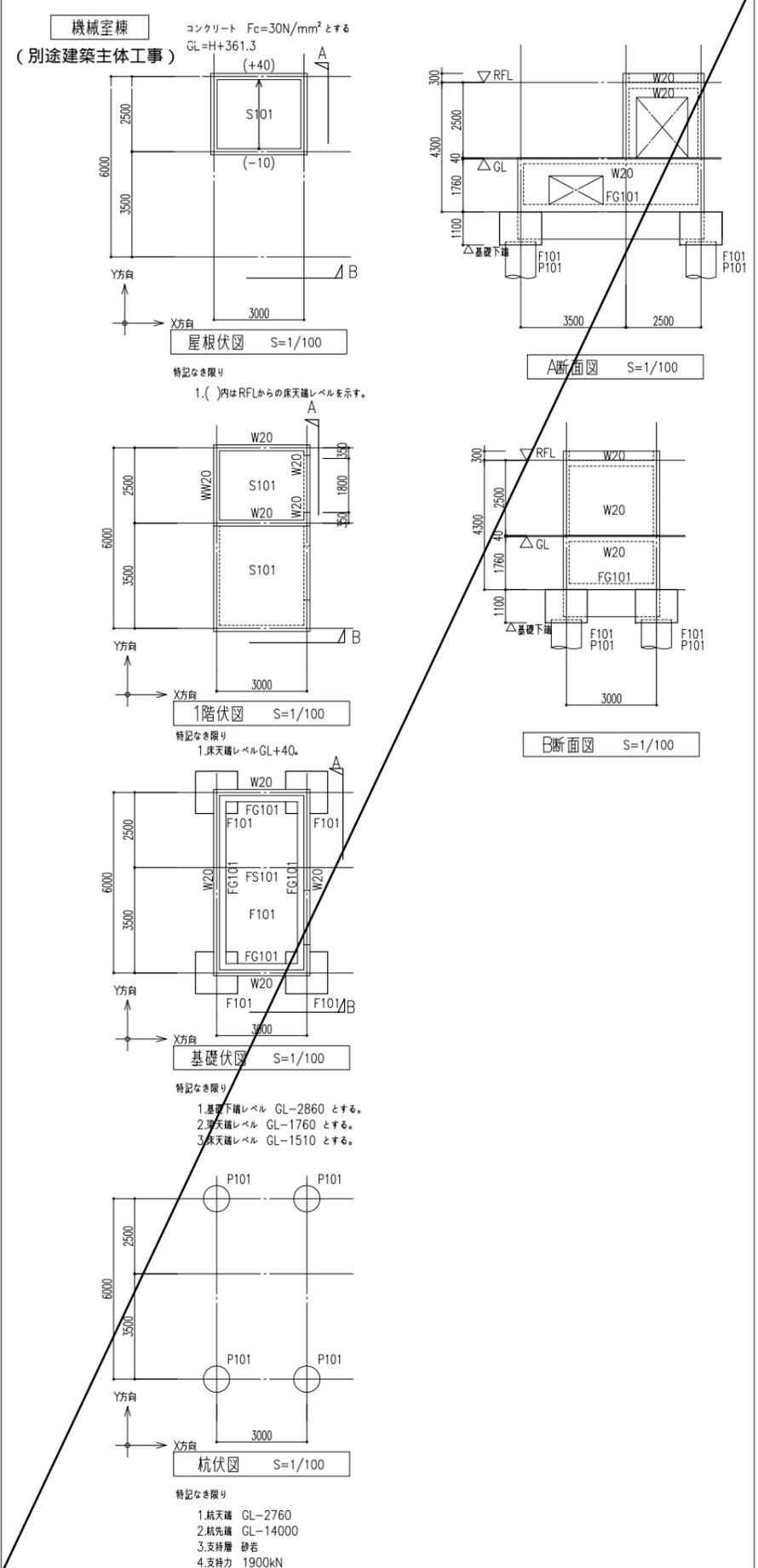
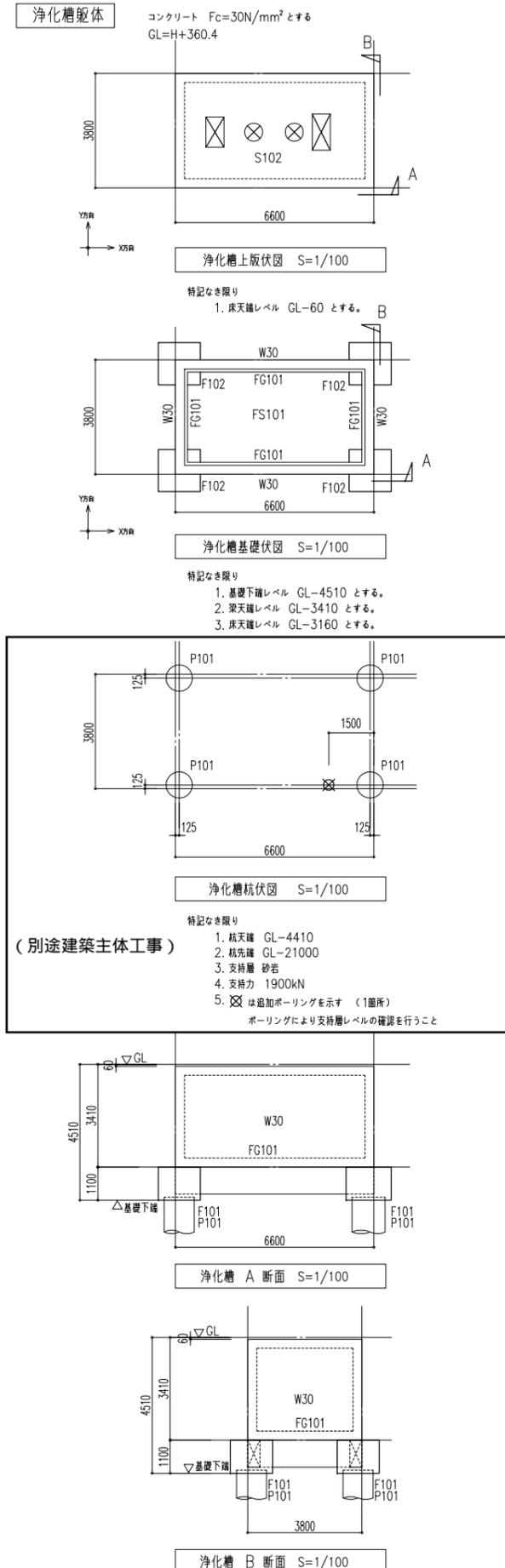
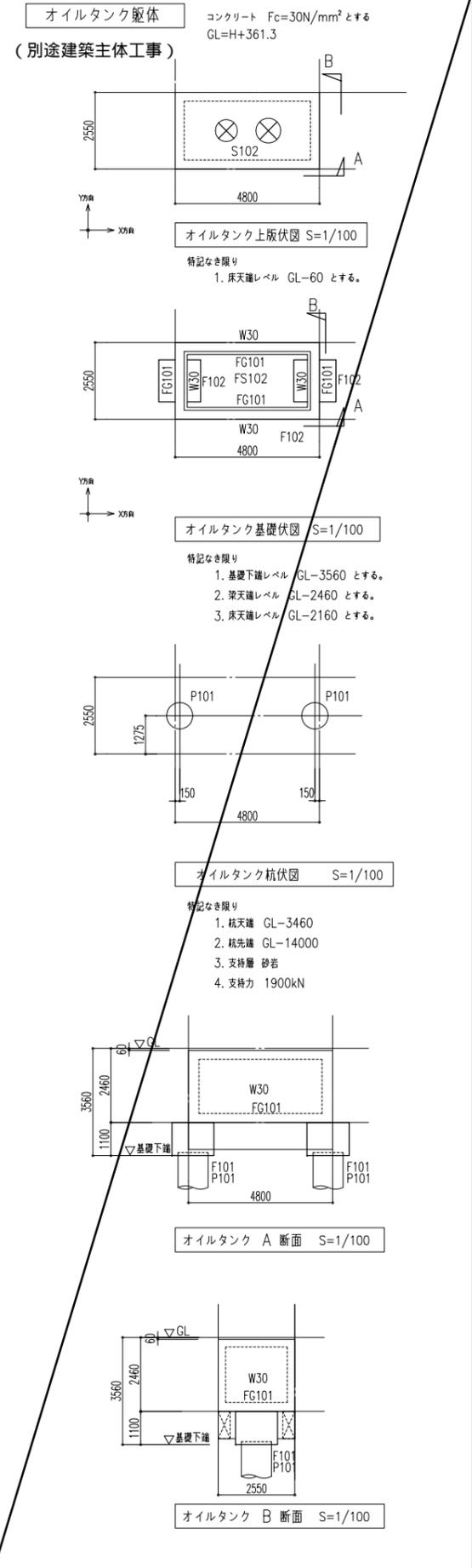
(注) 1. 鋼管材質はSTK400とする。

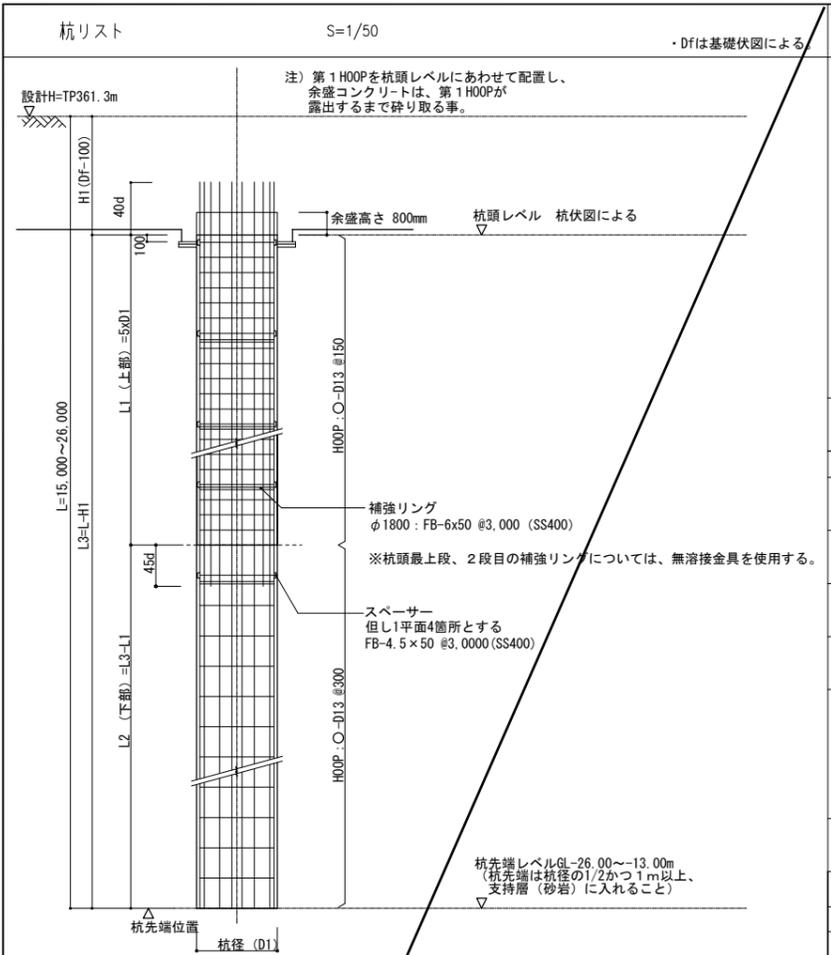
2 PF管及びCD管の配管基準図



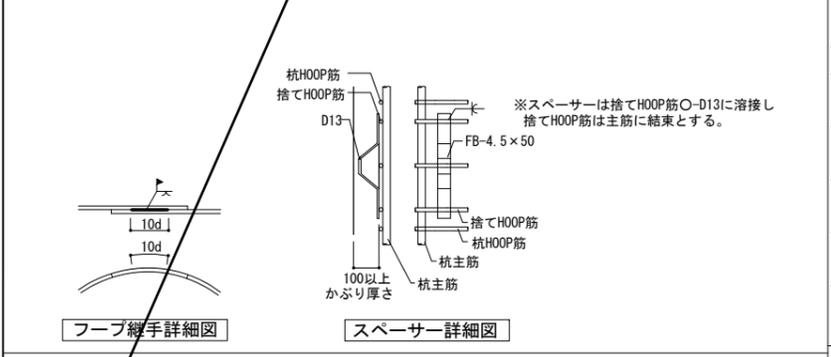
2-2 コンクリート埋設配管の配管支持



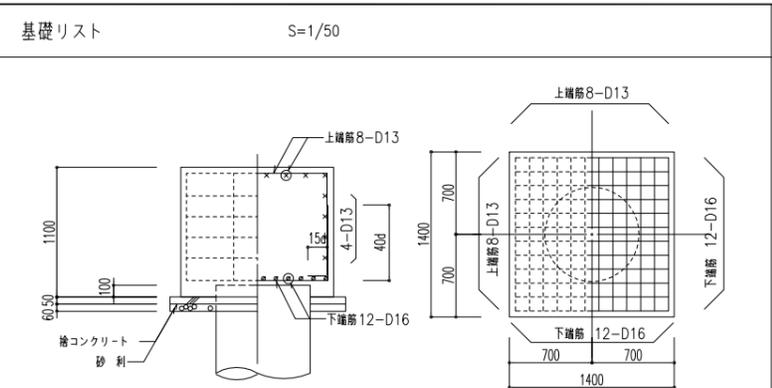




- 杭 特記事項 (場所打ちコンクリート杭)
- 工法 オールケーシング全周回転掘削工法
 - 材料 コンクリート $F_c = 30 \text{ N/mm}^2$ (強度の差を考慮した割り増し+3Nを加える)
スランブ = 21mm (高炉セメントB種)
鉄筋 SD345 (主筋) SD295B (SD345への変更は可とする) (HOO P筋)
 - 加工組立 継ぎ手 イ) 主筋 : 45d以上の重ね継ぎ手とし、結束線にて脱落等のないように結束する。
ロ) フープ : 溶接長10d以上のフレアグループア-溶接継ぎ手とし、主筋とフープの交差部の要所を0.8mm以上の鉄線で結束する。
かぶり厚 : フープ筋の最小かぶり厚さは100mmとし、加工に用いるかぶり厚さは150mmとする。
 - その他 その他の仕様は共通仕様書及び配筋基準図による。

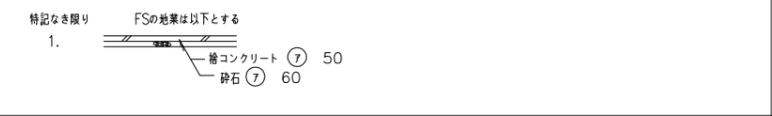


符 号	P101		
断面			
軸径	1000φ		
主筋	18-D22		
フープ	上部 ○-D13 @150		
	下部 ○-D13 @300		
支持力	1900 kN(長期)		



耐圧版リスト S=1/50

符号	スラブ厚 (t)	位置	短辺方向	長辺方向
FS101	250	上端筋	D13 @150	D13 @150
		下端筋	D13 @150	D13 @150
S101	200	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200
FS102	300	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200
S102	300	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200



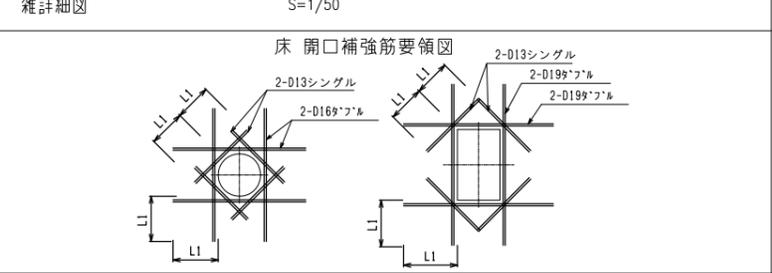
梁リスト S=1/50

符号	全断面	
断面		1. 幅止め筋 D10 @1,000以内 2. b x D表示及び地盤
b x D	400x900	
上端筋	3-D22	
下端筋	3-D22	
スターラップ	□-D13 @200	
農筋	4-D13	
備考		

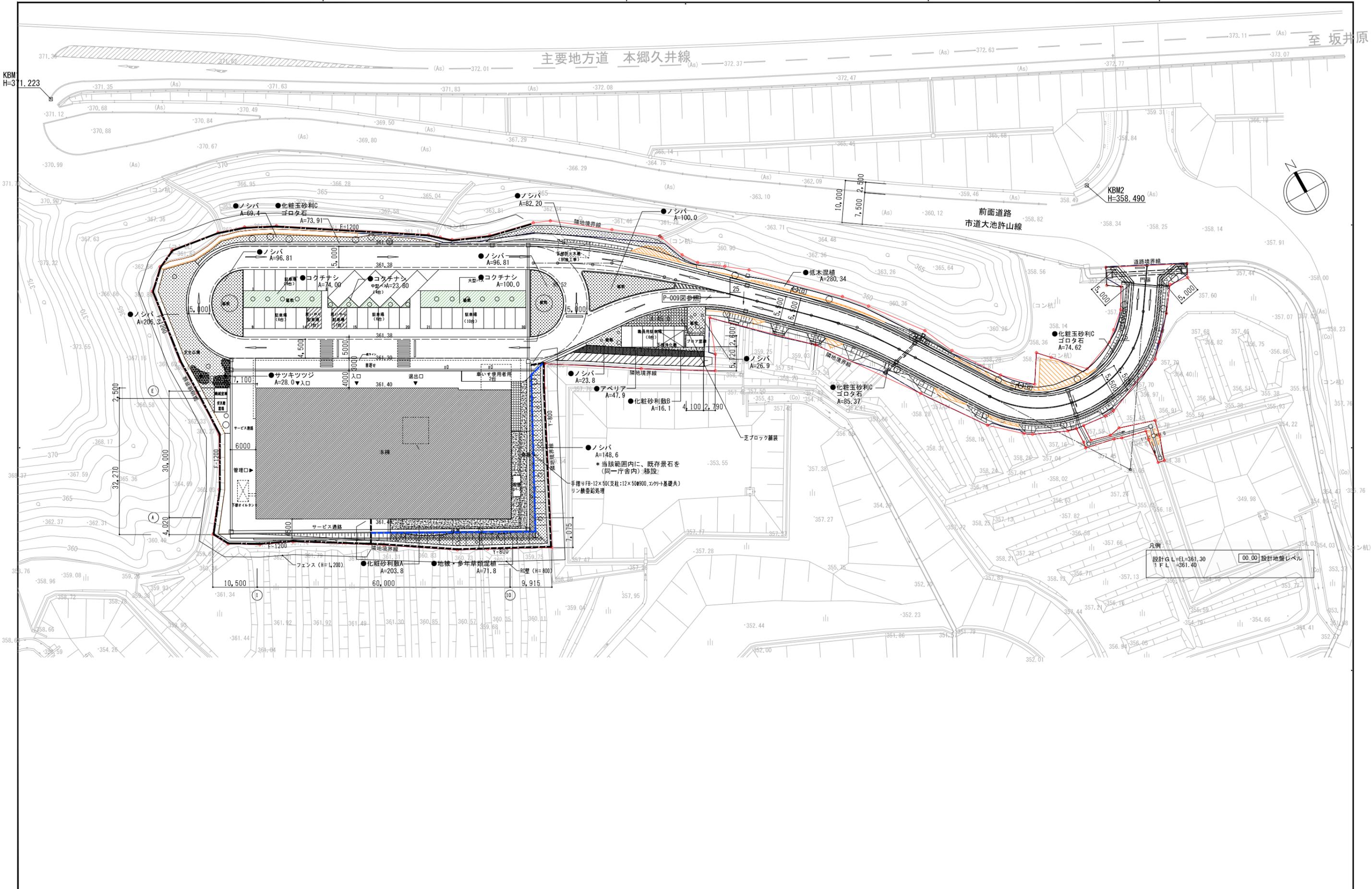
壁リスト S=1/50

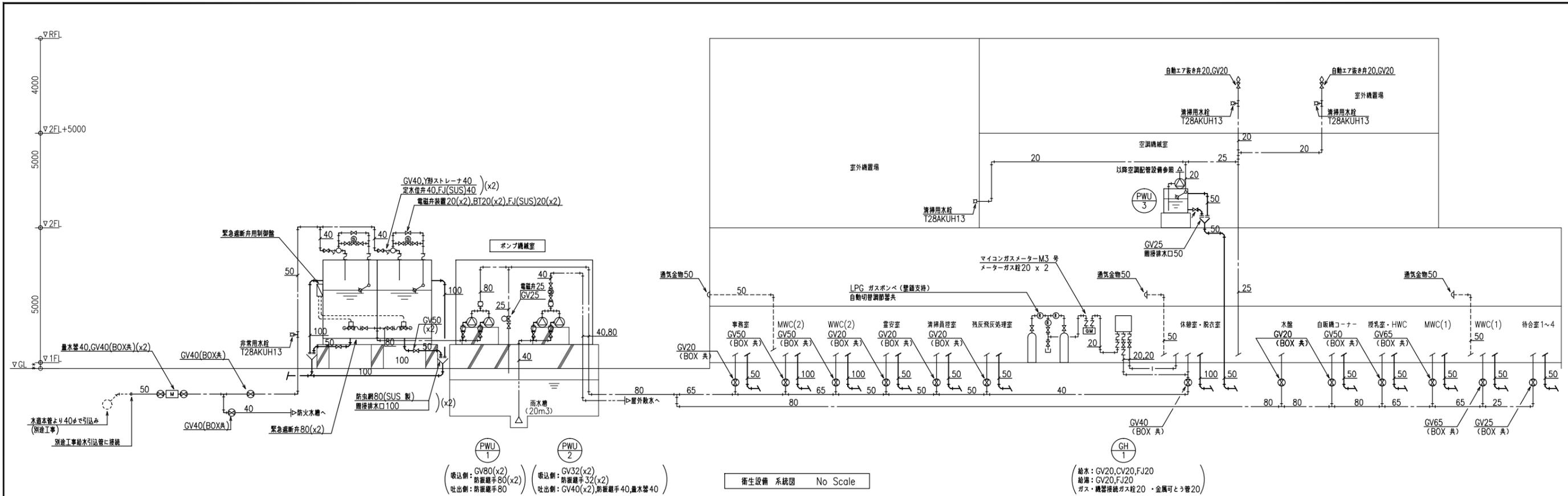
符号	壁厚 (t)	位置	たて筋	よこ筋
W18	180	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200
W20	200	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200
W25	250	上端筋	D13 @150	D13 @200
		下端筋	D13 @150	D13 @200
W30	300	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200

1. 幅止め筋 D10 @1,000以内



設計者	一級建築士 小林 直彦 第二種建築士 第25252号	一級建築士 構造設計一級建築士 第214892号 第二種建築士 第4259号	検査者	一級建築士 第25252号 小林 直彦	三原市新斎場建設工事 (外構工事)	設計番号	158913	図面番号	S - 041
オイルタンク、浄化槽、機械室棟、フロア室棟						縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	日付	2017.3.31
部材リスト						No.			





(吸込側: GV80(x2), 吐出側: 防振継手80(x2))
 (吸込側: GV32(x2), 吐出側: GV40(x2), 防振継手40, 止水器40)

衛生設備 系統図 No Scale

給水: GV20, CV20, FJ20
 給湯: GV20, FJ20
 ガス・機器接続ガス20・金属とろ管20

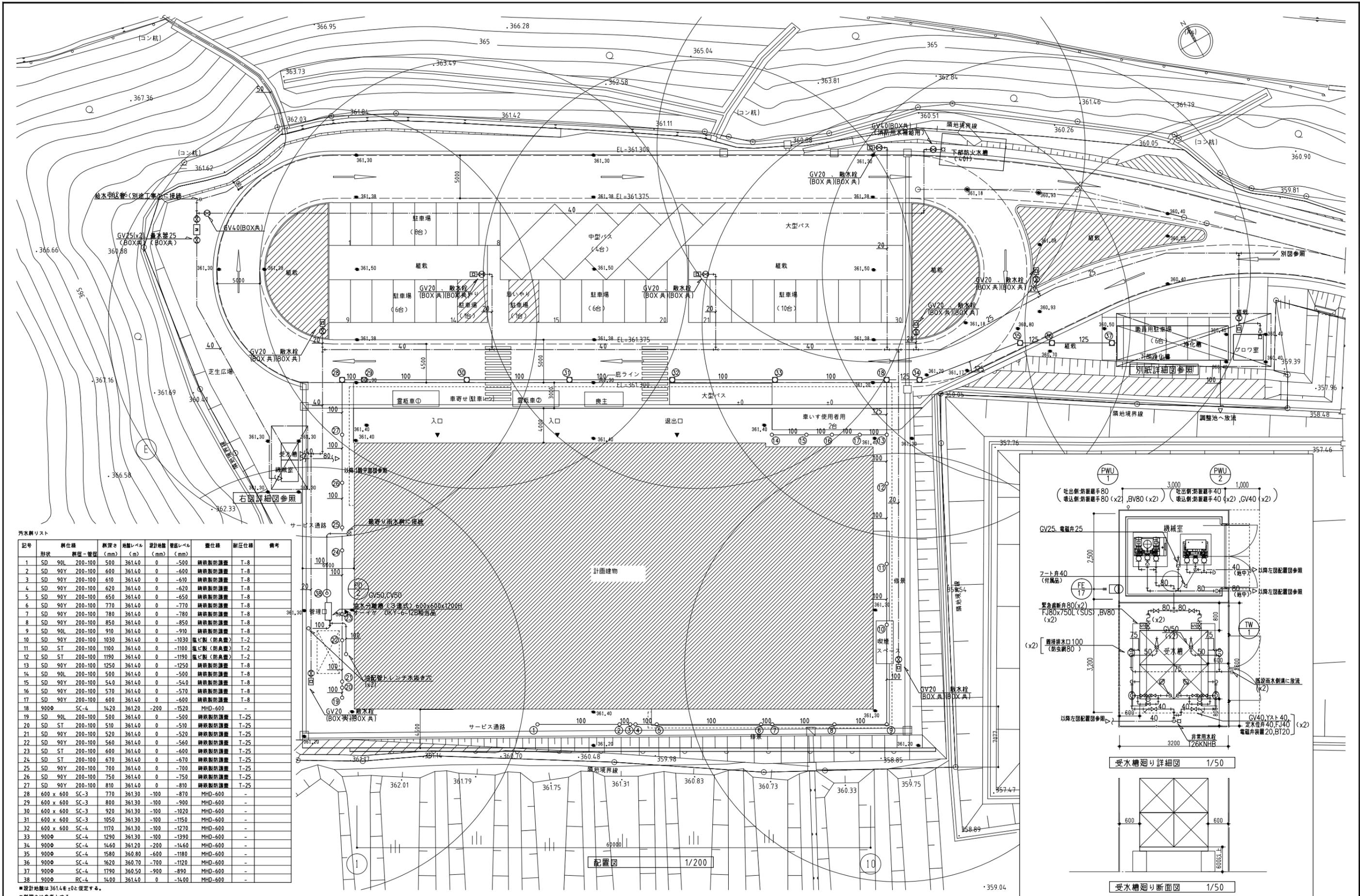
衛生器具附属品表

名称	品番	附属品	畜場																計							
			1階				2階				2階+5000				屋外											
			W	W	H	授	待	待	待	休	炉	事	M	W	電	清	熟	室	室	室	室	室	室	室	室	
洋風大便器	CFS494MNPNA	TCF5533AUP (ウォシュレット)、TH484V3 (ウォシュレット用止水栓)、YH700AD (紙巻器)	5	2						1			1	2												11
小便器	UFS900JC	T114CU2 (手すり)、YKH22 (フック)			4								2													6
洗面カウンター	MKWD	REAH03A1RS120A (電気温水器一体型自動水栓)、TLK06501J (水石けん) T6PM1 (排水金具)、M9P50A (2ヶ) (カウンター用ブラケット)、M268 (2ヶ) (カウンター用手すり)	3	3									2	2												10
壁掛洗面器	L250CM	REBS03H21 (電気温水器一体型混合水栓)、TLK02S01J (水石けん)、T6BMP (排水金具) TL347CU (止水栓)、TL250D (取付金具)													1	1										2
多目的トイレバック	XPDA5RS4111WWG (汚物流し有)	YMK51K (洗面器用化粧鏡)、YKH22 (フック)				1																				1
化粧鏡	EL80014		3	3						1			2	2												12
掃除流し	SK22A	TK22 (リムカバー)、T23AEQ20 (給水栓)、TN114 (給水ホース) T37SGEP (床排水金具)、T9R (バックハンガー)	1											1												2
シングルレバー混合水栓	TKGG31E															1										2
シングルレバー混合水栓	T330D																									5
熱湯用単水栓	T76D																									6
カップリング付散水栓・キー式	T28UH20																									1
カップリング付機水栓・キー式	T28AKUH13	キー式																								6
カップリング付散水栓・キー式	T28KUNH13	キー式 SUS製ボックス共																								13
ホーム水栓	T200SNR13																									1
便座クリーナー	OB-PHJ (サラヤ)		5	2	1						1			1	2											12
ハンドドライヤー	TYC420W		1	1										1	1											4
ベビーチェア	YKA16	YHP62017W2 (床固定用金具)、T110D45 (壁固定用金具)	1	1																						2
多目的シート	EW500S																									1
ベビーチェア	YKA15	YHP62017W2 (床固定用金具)、T110D45 (壁固定用金具)																								1
フィッティングボード (建築工事)	YKA41																									1
ユニットシャワー (建築工事)	JSV0812L	(建築工事)																								1
ミニキッチン (建築工事)		(建築工事)																								7

注) 衛生器具品番は、便宜上(株)東陶機器品番を使用する。大形化粧鏡、手すり、及び洗面器カウンターは、別途建築工事とする。



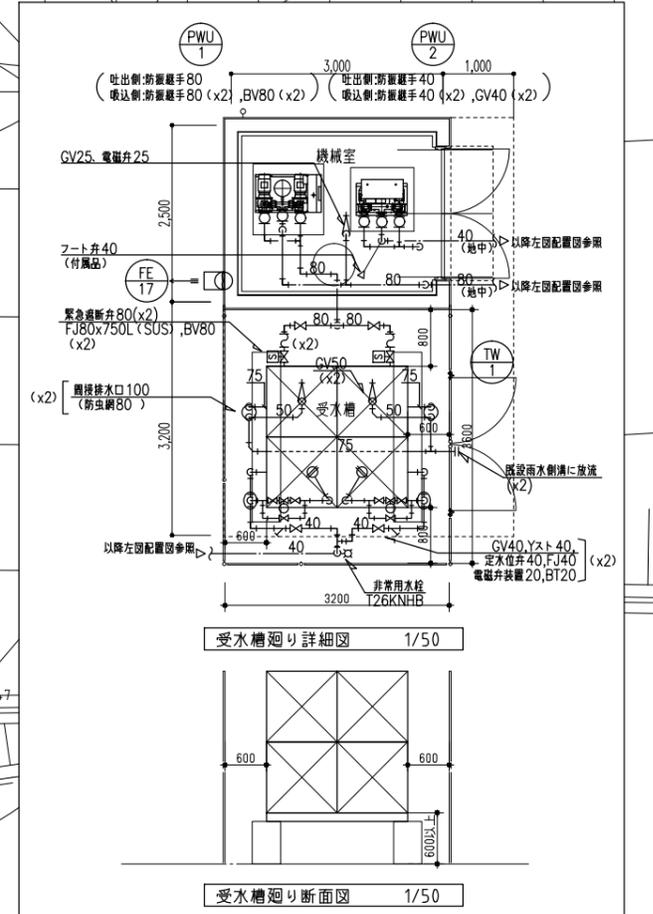
設計者		法適合確認		検査者		設計番号	図面番号
一級建築士 第291746号 藤原 壮一	一級建築士 第219102号 下野 日出幸					158913	P - 008
衛生設備 系統図、衛生器具附属品表						縮尺 1/100	日付 2011.11.22



汚水配列リスト

記号	形状	形状	管径	管深	管深	地盤レベル	管底レベル	設計地盤	管底レベル	蓋仕様	耐圧仕様	備考
1	SD	90L	200-100	500	361.40	0	-500	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
2	SD	90Y	200-100	600	361.40	0	-600	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
3	SD	90Y	200-100	610	361.40	0	-610	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
4	SD	90Y	200-100	620	361.40	0	-620	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
5	SD	90Y	200-100	650	361.40	0	-650	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
6	SD	90Y	200-100	770	361.40	0	-770	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
7	SD	90Y	200-100	780	361.40	0	-780	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
8	SD	90Y	200-100	850	361.40	0	-850	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
9	SD	90L	200-100	910	361.40	0	-910	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
10	SD	90Y	200-100	1030	361.40	0	-1030	鋼鉄製の舗装	T-2	鋼鉄製の舗装	T-2	
11	SD	ST	200-100	1100	361.40	0	-1100	鋼鉄製の舗装	T-2	鋼鉄製の舗装	T-2	
12	SD	ST	200-100	1190	361.40	0	-1190	鋼鉄製の舗装	T-2	鋼鉄製の舗装	T-2	
13	SD	90Y	200-100	1250	361.40	0	-1250	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
14	SD	90L	200-100	500	361.40	0	-500	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
15	SD	90Y	200-100	540	361.40	0	-540	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
16	SD	90Y	200-100	570	361.40	0	-570	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
17	SD	90Y	200-100	600	361.40	0	-600	鋼鉄製の舗装	T-8	鋼鉄製の舗装	T-8	
18	900Φ	SC-4	1420	361.20	-200	-1520	MHD-600	-	-	-	-	
19	SD	90L	200-100	500	361.40	0	-500	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
20	SD	ST	200-100	510	361.40	0	-510	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
21	SD	90Y	200-100	520	361.40	0	-520	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
22	SD	90Y	200-100	560	361.40	0	-560	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
23	SD	ST	200-100	600	361.40	0	-600	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
24	SD	ST	200-100	670	361.40	0	-670	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
25	SD	90Y	200-100	700	361.40	0	-700	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
26	SD	90Y	200-100	750	361.40	0	-750	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
27	SD	90Y	200-100	810	361.40	0	-810	鋼鉄製の舗装	T-25	鋼鉄製の舗装	T-25	
28	600 x 600	SC-3	770	361.30	-100	-870	MHD-600	-	-	-	-	
29	600 x 600	SC-3	800	361.30	-100	-900	MHD-600	-	-	-	-	
30	600 x 600	SC-3	920	361.30	-100	-1020	MHD-600	-	-	-	-	
31	600 x 600	SC-3	1050	361.30	-100	-1150	MHD-600	-	-	-	-	
32	600 x 600	SC-4	1170	361.30	-100	-1270	MHD-600	-	-	-	-	
33	900Φ	SC-4	1290	361.30	-100	-1390	MHD-600	-	-	-	-	
34	900Φ	SC-4	1460	361.20	-200	-1460	MHD-600	-	-	-	-	
35	900Φ	SC-4	1580	360.80	-600	-1180	MHD-600	-	-	-	-	
36	900Φ	SC-4	1620	360.70	-700	-1120	MHD-600	-	-	-	-	
37	900Φ	SC-4	1790	360.50	-900	-890	MHD-600	-	-	-	-	
38	900Φ	RC-4	1400	361.40	0	-1400	MHD-600	-	-	-	-	

*設計地盤は 361.4 を ±0 と仮定する。
*耐圧は参考とする。



設計者	法適合確認	検査者	設計番号	図面番号
一級建築士 第291746号 藤原 壮一	一級建築士 第219102号 下野 日出幸	高田 真司	158913	P - 009
三原市新三原畜場建設事業			縮尺	日付
衛生設備 配置図、受水槽回り詳細図			1:300	2011.03.21



参考数量書

工 事 名 称 三原市新斎場建設工事（外構工事）

工 事 場 所 三原市高坂町許山

[工 事 概 要]

用途,構造,面積

斎場棟：RC造2階建て・床面積2,306.00㎡
機械室棟：RC造・床面積7.50㎡
ブロー棟：RC造・床面積10.66㎡

工 事 範 囲

外構工事

別 途 工 事

建築主体工事，電気設備工事，空調換気設備工事，給排水衛生設備工事，火葬炉設備工事

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和2年9月30日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費	1	式		
契約保証費	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

外構工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
困障	1	式		
構内舗装	1	式		
屋外給排水	1	式		
植栽	1	式		
その他工作物	1	式		
既存改修	1	式		
計				

外構工事 細目別内訳

困障		困障				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
フェンス	H=1200 コンクリートブロック基礎 (G-015) 朝日スチール(株) UN-A1500L-40 同等品 (G-015)	197	m			
両開き門扉	W710×H900 現場打コンクリート基礎 (G-016)	1	か所			
門扉袖壁	W900×H850 現場打コンクリート (G-016)	2	か所			
擁壁	H=800 現場打コンクリート (G-015)	95.7	m			
手摺り	H=1200 スチール製 リン酸亜鉛処理 コンクリートブロック基礎	79.9	m			
フェンス	H=1200 コンクリートブロック基礎 (G-015) 朝日スチール(株) UN-A1500L-40 同等品 (G-015)	360	m			
フェンス	H=1200 コンクリートブロック基礎 (G-015) 朝日スチール(株) UN-A1500L-40 同等品 (G-015)	62	m			
防護柵工 Gr-C-B		14.2	m			
根切り	小規模土工	245	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	206	m ³			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m ³ 土砂 DID区間無し 19.0km以下	39	m ³			
建設発生土処分		39	m ³			
計						

外構工事 細目別内訳

構内舗装		構内舗装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	特記なき限り造成路盤面の地均し、締固めを含む					
直接仮設		3,880	m ²			
アスファルト舗装 (駐車場及び通路)	密粒度アスファルト 13mm T=50 路盤補修共 (G-015)	483	m ²			
本棟周囲 アスファルト舗装 (駐車場及び通路)	密粒度アスファルト 13mm T=50 路盤材 T=150 (G-015)	287	m ²			
アスファルト舗装 (進入路)	密粒度アスファルト 13mm T=50 路盤補修共 (G-015)	2,488	m ²			
本棟周囲 アスファルト舗装 (進入路)	密粒度アスファルト 13mm T=50 路盤材 T=100+100 (G-015)	189	m ²			
インターロッキング舗装 (一般部)	T=60 基準曲げ強度 3MPa 敷砂、目地砂共 路盤補修共 (G-015)	38.5	m ²			
インターロッキング舗装 (車両乗入対策部)	T=80 擬石平板 300角 基準曲げ強度 5MPa 不陸防止強化板、ずれ止め防止金具	156	m ²			
	敷砂、目地砂 排水性アスファルト T=60共 路盤補修共(G-015)					
本棟周囲 花崗岩舗装	花崗岩 700×700 T=30 J&P仕上 土間コンクリート T=200 路盤材 T=100 (G-015)	265	m ²			
縁石E-1 (車両耐圧)	地先境界ブロック W120×H120×L600 擬石 均しモルタル 1:3 T=15	182	m			
	基礎コンクリート FC18 S15 T=120 再生クラッシュラン RC-40 T=100 (G-015)					
縁石E-4	歩車道用縁石PC版 W150/170×H200×L600 均しモルタル 1:3 T=10	307	m			
	基礎コンクリート FC18 S15 T=120 再生クラッシュラン RC-40 T=100 (G-015)					
縁石E-4 曲部	歩車道用縁石PC版 W150/170×H200×L600 曲部 均しモルタル 1:3 T=10	3.6	m			

外構工事 細目別内訳

構内舗装		構内舗装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	基礎コンクリート FC18 S15 T=120 再生クラッシュラン RC-40 T=100 (G-015)					
縁石E-5 (車寄せ部)	花崗岩縁石 W150×H50 均しモルタル 1:3 T=30 基礎コンクリート FC18 S15 T=250 再生クラッシュラン RC-40 T=100 (G-015)	83	m			
車止め (一般車両用)	W600×D160×H120 モルタル充填、ボルト M8 L=100 2本 (G-015)	76	か所			
車止め (大型車両用)	W900×D180×H180 モルタル充填、ボルト M8 L=100 2本 (G-015)	10	か所			
情報障害対応床材	誘導用 300×300 金属鋲 ステンスHL+強化樹脂(イエロー) ノンスリップ(石・コンクリート用)	7	か所			
情報障害対応床材	注意喚起用 300×300 金属鋲 ステンスHL+強化樹脂(イエロー) ノンスリップ(石・コンクリート用)	8	か所			
敷地境界石標	B種 コンクリートブロック製	82	か所			
区画線	W=150 T=1.0 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 (G-015)	450	m			
区画線	W=450 T=1.0 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 (G-015)	77	m			
身障者用マーク	W1400×D1600 T=1.0 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 (G-015)	2	か所			
直進矢印	W450×L5000 T=1.0 白色 トラフィックペイント JIS K 5665 (G-015)	15	か所			
根切り	小規模土工 -	108	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	62.7	m ³			
すきとり	30cm程度 整地共	109	m ²			

外構工事 細目別内訳

屋外給排水		屋外排水				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
集水桝	W500×D500×H650 現場打コンクリート (G-017)	1	か所			
集水桝 グレーチング蓋	500角用 スチール製 T-25 細目 受枠共 (G-017)	1	か所			
集水桝	W600×D600×H600 現場打コンクリート (G-017)	1	か所			
集水桝	W600×D600×平均H1350 現場打コンクリート (G-017)	4	か所			
集水桝 グレーチング蓋	600角用 スチール製 T-25 細目 受枠共 (G-017)	5	か所			
集水桝	W700×D700×平均H1300 現場打コンクリート (G-017)	5	か所			
集水桝 グレーチング蓋	700角用 スチール製 T-25 細目 受枠共 (G-017)	5	か所			
PU桝	W300×D300×H600 コンクリート既製品	1	か所			
PU桝	W300×D300×H800 コンクリート既製品	2	か所			
PU桝 グレーチング蓋	300角用 スチール製 T-25 細目 受枠共	3	か所			
U字溝	W240×H240 コンクリート既製品 (G-017)	6	m			
U字溝 スリット蓋	W=60 ステンレス製 T-14 センタースリット 受枠共 カネワ VSMQ-0620 同等品 (G-017)	6	m			
FX側溝	PU-300×400 U型可変縦断 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	64	m			
FX側溝	PU-300×500 U型可変縦断 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	119	m			
FX側溝	PU-300×600 U型可変縦断 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	84	m			

屋外給排水		屋外排水				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
FX側溝	PU-300×700 U型可変縦断 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	32.8	m			
VS側溝(A)	VS-300×900 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	7.6	m			
VS側溝(B)	VS-300×900 片土圧 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	11.2	m			
VS側溝	VS-300×1100 片土圧 コンクリート既製品 側溝蓋付 (G-017)	5.4	m			
重圧管	φ 500 (G-017)	26.4	m			
排水管	HP200 φ (G-017)	3.6	m			
排水管	HP500 φ (G-017)	10	m			
排水管	VP125 φ	9.8	m			
排水管	VP150 φ	47.2	m			
排水管	VP200 φ	33	m			
排水管	VP250 φ	15.8	m			
根切り	小規模土工 -	525	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	357	m ³			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m ³ 土砂 DID区間無し 19.0km以下	168	m ³			
建設発生土処分		168	m ³			

外構工事 細目別内訳

植栽		植栽				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高木 ヒメズリハ株立	H7.0×W3.0 (四脚鳥居組合)	1	本			
高木 シマトリコ	H6.0×C0.4×W3.0 (二脚鳥居)	2	本			
高木 シマトリコ	H4.5×C0.3×W2.0 (二脚鳥居)	3	本			
高木 シカシ株立	H4.5×C0.25×W2.0 (二脚鳥居)	3	本			
高木 シカシ	H4.0×C0.21×W1.5 (二脚鳥居)	3	本			
高木 ヤマザクラ	H4.0×C0.21×W1.5 (二脚鳥居)	13	本			
高木 サトザクラ	H4.0×C0.21×W1.5 (二脚鳥居)	2	本			
高木 シカシ	H3.5×C0.18×W0.8 (二脚鳥居)	2	本			
高木 クハノキ	H3.5×C0.18×W0.8 (二脚鳥居)	2	本			
高木 シカシ	H3.0×C0.18×W0.6 (竹八掛支柱)	1	本			
高木 ソコ	H3.0×C0.18×W0.6 (竹八掛支柱)	18	本			
高木 イロハモジ株立	H3.0×C0.18×W0.6 (竹八掛支柱)	2	本			
高木 ソメイヨシノ	H3.0×C0.18×W0.6 (竹八掛支柱)	2	本			
高木 エコノキ	H3.0×C0.18×W0.6 (竹八掛支柱)	1	本			
中木 ソコ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	2	本			

植栽						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
中木 トキワマンサク	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	3	本			
中木 ヒイラギモクセイ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	3	本			
中木 ナンテン	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	1	本			
中木 イロハモジ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	1	本			
中木 ヒメシャラ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	3	本			
中木 ニシキギ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	1	本			
中木 シロヤマブキ	H2.0×W0.4 (竹一本支柱)	2	本			
中木 ベニカナメチ	H1.8×W0.4 (生垣支柱)	9	本			
四脚鳥居支柱		1	か所			
二脚鳥居支柱		30	か所			
竹八掛支柱		24	か所			
竹一本支柱		16	か所			
生垣支柱		5.4	m			
低木混植 トベラ	H0.5×W0.3 (20%) 4株/m2	225	株			
低木混植 シャリンハイ	H0.5×W0.3 (20%) 4株/m2	225	株			

植栽		植栽				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
低木混植 ヒトツツジ	H0.5×W0.3 (30%) 4株/m2	337	株			
低木混植 サツキツツジ	H0.3×W0.4 (30%) 6株/m2	506	株			
低木 単独植栽 アベリアエトワートコチャ ー	H0.4×W0.2 5株/m2	240	株			
低木 単独植栽 サツキツツジ	H0.3×W0.4 6株/m2	168	株			
地被類 コクチナン	H0.2(15.0vp) 9株/m2	1,780	pot			
地被類・宿根草混 植 タマリユウ	マット栽培品 (30%)	21.5	m ²			
地被類・宿根草混 植 ヤブラン	3芽立 10.5vp 36pot/m2 (15%)	388	pot			
地被類・宿根草混 植 コクマササ	3芽立 10.5vp 36pot/m2 (30%)	129	pot			
地被類・宿根草混 植 クサソテツ	1本立 12.0vp 25pot/m2 (10%)	180	pot			
地被類・宿根草混 植 キホウシ	10.5vp 25pot/m2 (10%)	180	pot			
地被類・宿根草混 植 シマススキ	15.0vp 16pot/m2 (5%)	57	pot			
張芝 ノシバ		723	m ²			
張芝 ノシバ		109	m ²			
その他 化粧砂利A		204	m ²			
その他 化粧砂利B		16.1	m ²			

植栽						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
その他 ゴタ石敷		234	m ²			
その他 化粧砂利敷部分防 草シート		454	m ²			
その他 化粧砂利敷部分見 切材	樹脂製エッジ	416	m			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=60以上75未満 1か所 (ヒメユスリハ)	3.7	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=35以上45未満 1.34m ³ ×2か所 (シマトネリコH6.0)	2.7	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=30以上35未満 0.76m ³ ×3か所 (シマトネリコH4.5)	2.3	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=25以上30未満 0.65m ³ ×3か所 (シカン株立)	2	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=20以上25未満 0.44m ³ ×18か所 (ヤマザクラ他5本)	7.9	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 高木 現地土改良	C=15以上20未満 0.27m ³ ×28か所 (H3.0~3.5)	7.6	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 中木 現地土改良	H=200以上250未満 0.133m ³ ×16か所 (H2.0)	2.1	m ³			
植栽基盤整備(坪 穴改良) 中木 現地土改良	H=150以上200未満 0.090m ³ ×9か所 (H1.8)	0.8	m ³			
植栽基盤整備(面 改良) 低木地被 植栽基盤面改良	現地土耕耘H400 バーク堆肥10%、パーライト10%混入	356	m ²			
植栽基盤整備(面 改良) 芝貼り部分客土	t150 購入土80% バーク堆肥10%、パーライト10%混入	723	m ²			
しがら工	擬木製土留 L=1500×D900×H600内外	1	か所			
しがら工	擬木製土留 L=1200×D900×H600内外	13	か所			

その他工作物		その他工作物				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
喫煙コーナー	W5000×D1000×H2000 現場打コンクリート基礎 (G-015)	1	か所			
分電盤基礎	W1000×D600×H500 現場打コンクリート基礎	1	か所			
照明支柱	W200×D200×H2750 現場打コンクリート基礎 (G-016)	1	か所			
0-1a 館名サイン	ステンレス切文字 5T ハイブレーション仕上 現場打コンクリート基礎 (G-022)	1	か所			
0-2 駐車場サイン	W450×D80×H1800 現場打コンクリート基礎 (G-022)	1	か所			
0-3 身障者用 駐車場サイン	W450×D80×H1800 現場打コンクリート基礎 (G-022)	1	か所			
0-4 徐行サイン	W450×D80×H1800 現場打コンクリート基礎 (G-022)	1	か所			
S-7 スタントサイン	W300×D33×H1200 本体 ステンレスPL 1.5T 焼付塗装仕上 表示 塩ビシート切文字貼	5	か所			
	ウェイト 鋼板 6T 低床重量用キャスター、ストップ付 (G-022)					
メモリアルサイン	(株) コトブキ メモリアル UC-782200F同 等品 材工・基礎・表示内容デザイン 共	1	か所			
景石移設	大小18個 三原市役所円一庁舎からの運搬含む	1	式			別紙 00-0072
根切り	小規模土工	37	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	27.7	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間無し 19.0km以下	9.3	m3			
建設発生土処分		9.3	m3			

その他工作物		ﾌﾞﾛｯ室棟		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0073
遣方	小規模	10.7	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0074
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	10.7	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0075
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	10.7	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0076
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	10.7	m ²			
計						

その他工作物		ﾌﾞﾛｯ室棟		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外部仕上足場		1	式			別紙 00-0077
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 RC造標準日数 修理費含む 12m未満 1階建 建築面積 300㎡	69.9	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積 300㎡	22.2	m			
計						
内部躯体足場		1	式			別紙 00-0078
内部躯体足場	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 平家用	10.7	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0079
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	10.7	㎡			
計						

その他工作物		ブロー室棟		コンクリート		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0084
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	14.1	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	8.7	m3			
計						
ポンプ圧送		1	式			別紙 00-0085
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	22.8	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0086
構造体強度補正	JIS A5308 FC=30 S15 +3N補正	14.1	m3			
構造体強度補正	JIS A5308 FC=30 S18 +3N補正	8.7	m3			
計						

その他工作物		浄化槽	コンクリート			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0089
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	19.8	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	23.6	m3			
計						
ポンプ圧送		1	式			別紙 00-0090
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	43.4	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0091
構造体強度補正	JIS A5308 FC=30 S15 +3N補正	19.8	m3			
構造体強度補正	JIS A5308 FC=30 S18 +3N補正	23.6	m3			
計						

その他工作物		その他工作物				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
景石移設	大小18個 三原市役所円一庁舎からの運搬含む	1	式			別紙 00-0072
(積み)	三原市役所円一庁舎作業					
景石積み	0.5t/個以下	4.5	t			
景石積み	1.0t/個以下	1.1	t			
景石積み	1.5t/個以下	3	t			
(運搬)	三原市役所円一庁舎～現場					
景石運搬費	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 7.0km以下	3.2	m3			
(据付)						
景石据付	0.5t/個以下	4.5	t			
景石据付	1.0t/個以下	1.1	t			
景石据付	1.5t/個以下	3	t			
計						

